

第七十六回帝國議會  
衆議院

# 蠶絲業統制法案委員會會議錄(速記)第七回

付託議案  
蠶絲業統制法案(政府提出)(第六  
三號)

## 會議

昭和十六年二月十八日(火曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋熊次郎君

理事小山邦太郎君 理事高橋圓三郎君

理事最上 政三君 理事森 幸太郎君

飯田 助夫君

小野 寅吉君

加藤 知正君

紅露 昭君

坂本宗太郎君

野溝 勝君

松岡 俊三君

芦田 均君

百瀬 渡君

山本 条吉君

渡邊玉三郎君

出席政府委員左ノ如シ

興亞院部長 宇佐美珍彦君

農林次官 井野 碩哉君

農林省蠶絲局長 吉田 清二君

商工省纖維局長 梶原 茂嘉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
蠶絲業統制法案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス、質疑ニ

入ルニ先ダチマシテ、一言委員長カラ希望ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、ソレハ質疑ヲ始メマシテカラ本日マデ五日ニナリマスガ、質疑者モ十三人ニナリマシテ、マダ十名バカリ残ツテ居ラレマスガ、成ベク皆

サンニ御質疑ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、御質疑ノ希望ハ御満足ノ行クヤウニ致シタイト思ヒマスガ、速記録ガ出來テ居リマセヌノデ、無理ナ註文カモ知レマセヌケレドモ、成ベク同ジ趣旨ノ質問ヲ繰返サナイヤウニ御注意ヲ願ツテ、簡潔ニ御願ヒヲ致シタイ、重大ナ問題デアリマスカラ、其ノ「ポイント」ニ觸レナケレバナラヌト云フコトトデ、ヤハリ同一ノ趣旨ヲ繰返スコトガ御發言ニ必要ダト云フコトハ重々考ヘテ居リマスガ、成ベク重複ヲ避ケルヤウニ御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、議事ノ進行ヲ圖リタイ、出來得ルナラバ本日中午ニ質疑ハ終了致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスルガ、又質疑ノ模様ニ依ツテハ委員長ノ考ヘ通りニハ參リマスマイト思ヒマス、理事一同ノ申合セモゴザイマスルノデ、此ノ議ヲ皆サンニ御願ヒヲ申上ゲマスルト共ニ、委員長ノ豫定ト云フヤウナモノヲ豫メ申上ゲテ、サウシテ議事ノ進行ニ付テ皆様ノ御協力ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス。

○加藤(知)委員 議事ノ進行ニ付テ——委員長ノ只今ノ希望ハ至極御尤モト考ヘマス、併シナガラ只今速記録ノ御話ガアリマシタガ、十四日ノ第四回ノ速記録ガ吾々ノ手ニ入ツタバカリデ、其ノ次ノモノハマダ手ニ入レルコトガ出來ナイ、此ノ速記録ヲ今少シク敏捷ニ吾々ノ手許ヘ配付スルヤウニ委員長カラ嚴重ニヤカマシク庶務課ノ方ヘ言ツテ貰ヒタイ、是ハ議事ノ進行上餘程必要

ナコトト思ヒマスノデ、其ノコトヲ一寸委員長ニ御希望申上ゲテ置キマス

○高橋委員長 諒承致シマシタ、實ハ其ノコトヲ昨日モ議院當局ニモ申シテ督促ヲシテ居リマスルシ、又政府當局ノ方カラモ議院當局ノ方ニ印刷ヲ促進スルヤウニト云フコトヲ申入レテ戴クヤウニ昨日註文ヲ申上ゲテ置キマシタ、尙ホ御趣旨ノコトハ重ネテ申傳ヘテ御趣意ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス——平野力三君

○平野(力)委員 私ハ第一ニ繭價ノ決定方法ニ付テ御伺ヒヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、此ノ法案ガ我が國ノ蠶絲業ノ劃期的ナル、法案トシテ上程ヲ致サレマシタコトニ付テハ、養蠶業ニ從事致ス者齊シク多大ノ關心ヲ持ツテ居ルコトハ言フマデモナイノデアリマスルガ、全國約二百萬戸ノ養蠶農民ガ此ノ法案ヲ拜見致シマシテ直チニ感ジマスル問題ハ、繭ノ値段ノ決定方法ハ、具體的ニ如何ナル方法ニ依ルノデアアルカト云フコトガ、頗ル重大問題トナルノデアリマス、法案ノ第七條ニ依リマスルト、此ノ決定方法ニ付テハ生産費ヲ基準トシ蠶絲ノ需給狀況、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ムト書イテアリマスルガ、洵ニ抽象的デアリマス、又蠶絲局長カラ本委員會ヲ通ジマシテ、此ノ問題ニ關シマシテ

員會ヲ通ジマシテ、此ノ問題ニ關シマシテモ生産費ヲ基準トシテ決定スルコト云フコトニ付テハ屢々御答辯ガアルノデアリマスガ、併シ抽象的ニ生産費ヲ基準ニスルト申シマシテモ、蠶絲ノ需給狀況、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ムト云フコトニナツテ參リマス、ソコニ問題ハ相當ニ複雑性ヲ帶ビルト云フコトハ言フマデモナイノデアリマス、本法案ガ養蠶農民ノ爲ニナルカナラナイカト云フヤウナ問題ニ付テモ、實ハ此ノ第七條ノ所謂繭價決定ノ方法ト云フモノガ基準ニナツテ、此ノ法案ト云フモノハ養蠶農家ヲ安定セシムルモノデアルト云フコトニナラザルヲ得ナイト考フルノデアリマスカラ、蠶絲局長ニ於カレマシテハ此ノ第七條ニ依ル所ノ繭價ノ決定ト云フ問題ニ付テ、此處ニ書イテアリマス法文ヲ今少シ具體的ニ解剖セラレマシテ、本案通過後ニ於ケル繭價ノ決定ト云フモノハ、斯様々ナル内容ニ於テ決定致シタイト云フコトヲ、具體的且ツ詳細ニ御説明アランコトヲ第一ニ希望スルノデアリマス

○吉田政府委員 繭ノ生産費ノ調ベニ付キマシテハ、此ノ法律制定——現在ニ於キマシテモ繭價安定施設法ニ依リマシテ必要ガアリマスルノデ、調査ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、大體四十四府縣ニ於キマシテ、是ハ北海道ト大阪ト沖繩縣トヲ除イテ居リマスルガ、其ノ他ノ各府縣ノ中庸養蠶家八百戸ヲ選ビマシテ、之ニ詳シク經費ノ支出ヲ記帳シテ貰ヒマス、サウシテソレヲ元ニシテ計算致シテ居ルノデゴザイマス、土地、資本、利子デアリマスルカ、或ハ小作料其ノ他肥料代デアリマスルカ、斯様ナ現金的ノ支出ヲ致シマシタモノ、其ノ他養蠶家ガ自分デ働キマシタモノヲ日傭勞賃ニ換算

致シマシタモノ、斯様ナ凡ユル細カイ項目ニ付キマシテソレヲ記帳サセマシテ、サウシテ收穫致シマシタ繭デ割リマシタ一貫目當リノ生産費ヲ大體出シテ居ルノデアリマス、ソレニ基キマシテソレガ一ツノ最モ基準的ナ參考ニナルカト思フノデアリマス、ソレニ基キマシテ或ハ他ノ農作物其ノ他トノ比較關係等ヲ色々調査致シマシタモノヲ作リマシテ、是等ヲ配合ハセマシタ上デ蠶絲委員會デ適當ニ決定シテ貰フ、斯ウ云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○平野(力)委員 大體サウ云フ意味ニ於テ了承シテモ宜イノデアリマスガ、ヤハリ法文ノ中ニ蠶絲ノ需給狀況「ト云フコトガ書イテアル、是ハ固ヨリ法文ヲ作ラレル時ニハ斯ウ御書キニナラナレバナラナイト云フ其ノ意味ニ私ハ了承スルノデアリマスガ、本委員會ヲ通ジテ屢、ヤハリ問題ニナツテ居リマス所ノ輸出生絲ノ問題デアリマス、結局養蠶農民カラ參リマスナラバ輸出ヲ自由ニ放任サレテ居リマシテモ、繭價ノ決定ト云フコトハ無關係デアアル、斯ウ云フ確證ヲ得テ置クコトガ法案ニ對スル賛否ヲ決定スル上ニ於テ相當重大ナルコトト思フノデアリマス、隨テ今少シ明確ナル御回答ヲ得テ置キタイト思ヒマス、結局此ノ法案ガ出來テ日本蠶絲統制會社ト云フモノガ茲ニ成立シマシタ時ニ、繭價ノ決定ニ當ツテハ養蠶農民ノ生産費ヲ割ツテ決定サレル如キコトハ絕對ナシ、言ヒ換ヘマスナラバ、絕對ニ養蠶農民ト云フモノハ、生産費ノ上ニ相當程度ノ利潤ヲ加ヘタ所ノ繭價ノ決定ト云フモノガ、此ノ法案ニ依ツテ願ヘルモノデアルト云フ保障ヲ得テ置キタイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ諄イヤウ

デアリマスケレドモ、更ニ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 今平野委員カラ仰セニナツタ通りニ考ヘテ居ルト云フコトヲハツキリ申上ゲテ置キマス

○平野(力)委員 大體其ノ點ハ安心致シタノデアリマスガ、ソコデ更ニ御伺ヒシテ置キタイノハ、法案ノ第八條ニ依リマス、蠶絲委員會ガ主務大臣ノ諮問ニ應ジテ決定ヲ致シマシタ其ノ價格ニ對シテ、ソレヲ基準トシテ此ノ會社ガ更ニ決定スル、斯ウ云フヤウニ七條、八條ノ關係ガナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ蠶絲委員會ノ決定致シマシタモノヲ蠶絲統制會社ガソレヲ基準トシテヤル場合ニ、其ノ内容ヲ變更スルト云フヤウナ憂ヒハナイデセウカ、是モ或ル意味ニ於テハ相當心配ニナルノデアリマスガ、第七條ト第八條ノ關係ヲ明確ニ致シテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 蠶絲委員會ニ於キマシテハ、例ヲ生絲ニ取リマスナラバ、生絲ハ品質ニ依リマシテ段階ガ幾ツニモ分レテ居リマスノデ、ソレデ各格ニ付キマシテ何圓何圓ト此ノ委員會デ決メルコトハ適當デハナイ、標準物ニ付キマシテ大體標準値ヲ決メテ、其ノ他ノ格ニ付キマシテハ、或ハソレ以上ノ格ソレ以下ノ格ト云フモノガアルノデアリマスカラ、其ノ間ノ謂ハバ格差ト申シマスガ、細カイ所ハ此ノ會社ニ於テ適當ニ格差ヲ決メマシテ、サウシテ主務大臣ニ認可ヲ申請スル、サウシテ能ク審査致シマシテ、其ノ格差ガ適當ナモノナリト認メマシタ際ニ認可スル、サウスルトソレニ依ツテ會社ガ買入レル、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス

○平野(力)委員 蠶絲委員會ノ構成ニ付テハ既ニ御答辯ガアツタコトト存ジテ居リマスガ、ソレニ付テ更ニ詳シク承リタイト思ヒマス、其ノ構成ノ内容トシテ養蠶農民ノ立場ヲ反映セシムベキ委員ノ選定ト云フコトハハドノ團體ヲ中心トシテヤルカ、又團體ヲ中心トセズシテ他ニ色々ナ方法ヲ考ヘテ居ルナラバソレヲ承リタイ、同時ニ此ノ委員會構成ノ養蠶家、製絲家、或ハ輸出商、斯ウ云フヤウナ業者別ニ考ヘマシタ場合ニ於ケル按分等ニ付テモ、何カ御腹案ガアリマスガ、其點ヲ承リタイ

○吉田政府委員 マダ具體的ニドノ團體ノ代表者ヲ委員ニスルトカ云ツタヤウナコトハ申上ゲル段階ニハ至ツテ居ラナイノデアリマスガ、但シ先般申シマシタヤウニ、養蠶、製絲ト云フ生産部面ニ極メテ利害關係ノ深い問題ガ澤山アルト思ヒマスノデ、此ノ方面ノ利益ヲ十分ニ代表シ得ル人ヲ成ベク多ク委員ニ入レル、斯ウ云フ考ヘ方デ此ノ委員會構成ヲ決メテ行ク、斯ウ云フ考ヘヲ申上ゲテ置キマス

○平野(力)委員 次ニ承リタイノハ、農林省ハ肥料ノ配給ニ關シマシテ、米麥重點主義ト云フモノヲ執ツテ參ツテ居ルコトハ昨年來吾々ノ能ク承知シテ居ル所デゴザイマスガ、今回ノヤウニ桑園ヲ相當ニ整理セラレテ、且ツ蠶絲業ニ對シテ是ダケノ統制ヲ加ベテ、基本方針ヲ立テラレル曉ニ於キマシテハ、苟クモ養蠶ヲヤツテ居リマス農民ニ對スル肥料ノ配給ト云フモノガ、昨年ノ如ク甚ダシク不圓滑デアリ、又昨年ノ如ク甚ダシク偏頗デアルト云フ場合ニ於キマシテハ、結局所定ノ八千万貫ト云フ能率ヲ舉ゲルコトモ困難デアルノミナラズ、又其ノ肥

料ノ配給ノ不圓滑カラ蠶作ニ對シテ非常ナル違作ヲ生ズルト云フコトモ相當考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスガ、蠶絲局長ハ農林省內ニ於ケル米麥重點主義ト云フ肥料ノ配給問題ニ對シテ、如何ナル御態度ヲ執ツテ居ラレルカ、又現在此ノ問題ニ付テドウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレルカ承ツテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 肥料ノ配給問題ニ付キマシテハ、今日ノ狀態ニ於キマシテハ何ト申シマシテモ食糧ノ問題ト云フコトガ如何ナル重要ナ問題ニモ先ンジテ重要デアルト考ヘルノデアリマス、最モ大事ナ問題ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ肥料ノ供給量デアリマスガ、是ハ農林省ニ於キマシテ非常ナル努力苦心ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ潤澤ト云フ程度ニ行キマセスコトハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀態ニ於テハ配給ヲ致シマスノニハドウシテモ茲ニ重點主義ト云フモノヲ採ラザルヲ得ナイ、斯様ナ關係カラ最モ大切ナ食糧品ノ生産方面ニ或ル程度ノ割合ヲ良クシテ配給スルト云フコトハ此ノ際ニムラ得ナイコトデアアル、斯様ニ考ヘラレマスノデ、私モ此ノ點ニムラ得ナイモノト考ヘテ、此ノ食糧重點主義デ配給致スコトニ同意ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、洵ニ已ムラ得ナイコトデアアルト思ツテ居リマス、今後ハ肥料ノ供給ヲ出來得ル限り増加致スコトニ努メナケレバナラストシ、又努メテ居ル次第デアリマス

○平野(力)委員 私ハ此ノ點ニ付テ少シ意見ガアルノデアリマスガ、養蠶ヲ單ナル副業トシテ立ツテ居リマサウナ地方ニ於テ、養蠶ニ對スル肥料ノ配給ガ米麥重點主義

ニナリマスコトニ付テハ、是ハ蠶絲局長ノ答辯ノヤウニ國策ノ上カラ是認致シテモ宜シイノデアリマスガ、養蠶業ヲ殆ド生命トシテ居リマス府縣ガ、御承知ノ通り我が國ニハ相當ニアル、山梨縣、長野縣、群馬縣等ヲ初メトシテ、約十府縣ニ於キマシテハ、其ノ養蠶業ノ盛衰ト云フモノガ、其ノ府縣ニ於キマスル所ノ經濟上ノ根本的ナル消長ヲ左右スルト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、而モ此ノ問題ハ單ニ米麥重點主義トカ、食糧問題トカ云フ見地ノミナラズ、是等ノ人達ノ生活ノ不安定ト云フコトハ、仍テ以テ我々國ノ農村ニ於ケル最大ナル不幸ヲ招來シ、延イテハ銃後ノ問題ニマデ相當影響ヲ及ボスコトニナルデアリマス、勿論私ハ此ノ米麥重點主義ト云フ大局ニ付テ吾々ハ反對ハ致シマセヌケレドモ、養蠶ヲ以テ生命トシテ居リマスル所ノ、是等ノ府縣ニ對スル肥料ノ配給方法ニ付テハ、更ニ一段ト蠶絲局ニ於キマシテ、農林省ノ肥料配給ノ係リノ方ト折衝セラレテ、是等ノ昭和十六年度ニ於ケル肥料ノ配給方法ニ付テ、或ル程度ノ御配慮ヲ願フテ然ルベキデハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマスルガ、之ニ對シテ蠶絲局長ハドウ云フ風ニ御考ヘデアリマスルカ承リタイ

○吉田政府委員 御話ニナリマシタヤウナ考ヘ方ヲ私自身モ持ツテ居ルノデアリマス、今日マデモサウ云フ風ナ特殊ノ府縣ト云ツタヤウナ所ニハ、無論此ノ原則ヲ變ヘルコトハ到底行カナイガ、出來得ル限りサウ云フヤウナ考ヘ方デ、融通ノ付ク限り融通ヲシテ行ツテ實ヒタイト云フコトハ申出テ居ルノデアリマシテ、肥料ノ配給ノ擔當者方面ニ於キマシテモ、十分其ノ點ハ諒承シテヤ

ツテ呉レルノデ、結果ハ思フヤウニ行カナカツタ點モアルカモ存ジマセヌガ、初メカラサウ云フ氣持デ居リ、今後トモ御説ノヤウナ考ヘ方デ、肥料ノ配給ニ付キマシテハ十分努力致シテ行ク考ヘデ居リマス

○平野(力)委員 次ニ第十九條ニ依リマスル所「桑園ヲ新設又ハ擴張セントスル者ニ對シ地方長官ノ許可ヲ受クベキコトヲ命ズルコトヲ得」ト云フ條項ガアリマス、政府カラ戴キマシタ要綱ニ依リマスルト、桑園許可制度ヲ設ケルコトガ書イテアルダケデアリマスルガ、此ノ桑園許可制度ト云フモノニ對シテ今少シ具體的ニ、ドウ云フヤウナ方法ヲ以テ此ノ桑園ノ許可制度ヲオヤリニナルノデアアルカ、承ツテ置キタイ

○吉田政府委員 大體現在ノ桑園ヲ基準ニ致シマシテ、今後桑園ヲ擴大スルト云フヤウナコトハ餘程慎重ニ考ヘテ行キタイ、是ハ先般モ申シマシタヤウニ、食糧ノ増產ト云フコトガ極メテ大事ナ點ニナツテ居ルノデアリマス、或ハ私ガ樂觀ニ過ギルカモ知レマセヌガ、先程御話ノ出マシタヤウニ、生産費ヲ基準ニシテ、之ヲ確保スル意味ニ於テ養蠶家ノ收入ヲ決定致シマシテ、ソレデ作ツタモノハ必ズ買フ、斯ウ云フヤウナコトニナリマスルト、非常ニ養蠶家ハ安定スルモノト想像サレルノデアリマス、左様ニ致シマスルト、或ハ今後最モ安心ナモノハ養蠶業ナリト言ツタヤウナコトニデモナリマシテ、桑園ガ漸次殖エテ行クト云フ傾向ニナリハシナイカ、ソレハ何モ悪いコトデナイノデアリマスルガ、唯食糧ノ増產ガ極メテ大事ナ際ニ、是ト相調和シナイヤウナ傾向ニデモナリハシナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、此ノ許可制度ハ要スルニ現狀

程度ヲ以テ養蠶ヲヤツテ行ク、寧ロ今後ノ繭織維ノ増產ハ、反當收量量ヲ多クシテ、出來得ル限り現在ノ面積ヲ以テ多クノモノヲ穫ル、斯ウ云フ方面ニ養蠶ノ經營ヲ進メテ行カセル、斯ウ云フ考ヘ方カラ、土地ノ問題ニ付キマシテハ現狀維持、隨ヒマシテ大體各府縣ニ於キマシテ現在ノ桑園ヲ登錄サセマシテ、臺帳ヲ作りマシテ、ソレニ基キマシテ、其ノ總面積ガ擴大シナイ範圍内ニ於テ、場所ヲ變ヘル、或ハ位置ヲ變ヘルト云フヤウナコトハ宜シイカト思フノデアリマス、知事ガ縣内ニ於テ或ル地方デ桑園ヲ廢メタ所ガアルトスレバ、他ノ地方ニ希望ガ出テ來タ場合ニ、其ノ限度ニ於テ之ヲ認メテ行ク、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、結論的ニハ現狀維持、斯ウ云フ制度ヲ立テ行キタイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

○平野(力)委員 許可制度ニサレタコトニ付テハ了承スルノデアリマスルガ、ソレデハ許可ヲスル、シナイト云フ時ニ、ドウ云フコトヲ以テ一體基準トスルカ、例ヘバ、君ハソレダケノ反別ヲヤツテ居レバモウ必要ハナイデヤナイカト云フコトヲ基準トシテ許可不許可ヲ決メルノデアアルカ、或ハ其ノ地方ニ於ケル所ノ養蠶ニ對スル適不適ト云フヤウナ問題ヲ基準トシテ決メルノデアアルカ、サウ云フ點ガ明確デナイト云フコトデアリマスナラバ、是ハ洵ニ混亂ニ陥ルト思フノデアリマスノデ、ソコヲ一ツ明確ニ願ツテ置キタイと思ヒマス

○吉田政府委員 桑園ヲ何反歩以上持ツテ居ル者ニハ認メナイトカ、此ノ地方、此ノ郡ハ養蠶ニ適シナイカラ桑園ヲヤリタイト思ツテモヤラセナイト云フヤウナコトハ、

極メテ大事ナ問題ト思ヒマスノデ、斯様ナ基準ノ下ニ許否ヲ決スルコトハ如何ナモノカト思ツテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ細カイ問題ニ付キマシテハ篤ト研究致シマシテ、其ノ許可ノ方針、標準ヲ決メタイト存ズルノデアリマスルガ、只今ノ所デハ先程申シマシタ程度ノコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、要スルニ全體的ニ桑園面積ガ擴大シテ食糧ノ生産確保ト云フコトニ迷惑ヲ掛ケルト申シマスルカ、矛盾ヲスルト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト云フ根本ノ考ヘ方デ居ルノデアリマス

○平野(力)委員 ソレカラ桑園ノ整理デアリマス、約六万町歩ヲ整理スルト云フ御話ヲ聽イテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ大體各縣別ニ割當テテドノ程度ノ數字ニスルト云フコトヲ御決定ニナツテ居ルノカ、私ノ意見ト致シマシテハ、養蠶ヲ主トシテ居リマスル府縣ノ桑園整理ト云フコトハ大體ニ於テ見合ハセル方針トシマシテ、養蠶ヲ主トシテ居ラザル、副業トシテ、養蠶ヲヤツテモヤラナクモ宜シイト云フヤウナ府縣ニ對シテハ、相當大膽ナル所ノ整理ヲ行フコトモ妥當デアラウト考ヘルノデアリマス、此ノ桑園整理ニ對シテ今回相當補助金ヲ御出シニナツテ段々ニオヤリニナルヤウデアリマスガ、此ノ具體的ナル縣別ノ割合デアルトカ、或ハ基本的ナ――只今申上ゲマシタヤウニ、養蠶ヲ主トスル縣ト、然ラザル縣トノ間ニ於テハ相當ノ差別ヲスルト云フヤウナ點ニ付テ、一定ノ方針ガアリマスルナラバ、承ツテ置キタイと思ヒマス

○吉田政府委員 食糧品ヘノ轉作ノ爲ニ、桑園ノ整理ヲスルト云フノデアリマスルガ、是ハ御承知ノ通り、蠶絲ノ縮小ト云フヤウ

ナ考ヘ方カラ發足シテ居ル方策デハナイノ  
デアリマス、食糧品ヲ増産確保シタイト  
云フ考ヘ方カラ出テ居ル點デアリマシテ、  
隨ヒマシテ問題ハ後作ニ果シテ適當ナリヤ  
否ヤ、桑園ノ面積ヲ是ダケ割イテ、或ハ陸  
稻ナリ或ハ大麥、裸麥、其ノ他食糧品ヲ生  
産サセルコトヲ目的トシテ、其ノ後作ガ十  
分ニ増産ノ成績ガ舉ガルヤウニト云フコト  
ヲ目途トシテ、今立テテ居ル關係デアリマ  
スルノデ、後作ニ不當ナ地方等ニ於キマ  
シテ、桑園ヲ無駄ニ提供サセルト云フヤウ  
ナコトハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、  
桑園面積ガ多クアツタト致シマシテモ、後  
作ノ生産上適當デナイ所ハ比較的少クスル、  
斯ウ云フ考ヘ方デ府縣ニ割當テテ行キタイ  
ト考ヘテ居リマス

○平野(力)委員 私ハ斯ウ云フ考ヘ方ヲ持  
ツテ居ルノデアリマス、養蠶ヲ生命トシテ  
居リマス地方ニ於テハ實ハ相當ニ飯米モ欲  
シイノデス、飯米モ欲シイノデアルカラ僅  
カナ地面デモアリマスレバ、其處ニ陸稻ヲ  
作ルナリ其ノ他米ヲ作リタイト云フ希望ヲ  
持ツテ居ルノデアリマスケレドモ、何シロ  
養蠶ヲ主トシテ居リマス地方ハ、日本ノ  
大局カラ見マシテ養蠶業ニ非常ニ適シタ地  
方デアアル、隨テソレ等ノ地方ニ於ケル桑園  
ヲ整理シテサウシテ養蠶業ヲ他ニ轉ズルト  
云フコトハ相當ニ困難デハナカラウカ、又  
農民ノ氣分ニハ割合ニ合致シナイ所ガアル、  
養蠶ヲ生命トシナイ地方ニ於テ副業的ニ行  
ツテ居リマス縣ノ情勢ヲ見ルト、ソレハ繭  
ノ値段ガ非常ニ宜シイ、或ハ養蠶ト云フモ  
ノハ相當ニ儲カルト云フヤウナ時ニ一時的  
ニ移轉シタ所ノ桑園ト云フモノガ非常ニ多  
イノデアリマスカラ、茲ニ桑園整理ト云フ

根本ノ問題ハ食糧問題ト不可分ノ問題デア  
ルコトハ、私ハ固ヨリ農村關係トシテ之ヲ  
能ク知ツテ居ルノデアリマスケレドモ、併  
シ根本基調トシテ日本ノ米ト云フモノハ何  
處カラ出來テモ數量ト云フ點ニ於テハ同ジ  
ナノデアリマスカラ、桑園ヲ整理シテ食糧  
ニ向ケルト云フ場合ニ、唯全國劃一的ニ何  
處ノ府縣デモ唯漫然ト整理ヲスルト云フヤ  
ウナ整理ノ仕方ハ當ヲ得テ居ナイ、ヤハリ  
養蠶ヲ生命トシテ養蠶ニ付テ非常ニ高度ナ  
能率ノ舉ゲラレル地方ニ於テハ益、養蠶業ヲ  
助長發達セシメル、サウデナクテ養蠶ヲヤ  
ツテモヤラナクテモ宜カツタヤウナ地方ニ  
於テハ養蠶ヲ止メサセテ別ノ食糧ノ方ニ移  
ス、斯ウ云フ根本的ノ考ヘ方ヲ蠶絲局長ニ  
持ツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、尙  
ホハツキリ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 先程御答ヘ申上ゲマシタ  
ヤウナ根本的ノ考ヘ方デ地方ヲ選ンデ居ル  
ノデアリマス、隨ヒマシテ今平野サンノ仰  
シヤツタヤウナ昔カラ他ニヤルベキ仕事ガ  
ナイ、所謂養蠶ニ頼ル外ナイト云ツタ地方  
モアラウト思ヒマスガ、隨テ斯様ナ處ニハ  
其ノ地方カラ桑園ヲ出サセテ食糧増産ヲ圖  
ラウトシテモ結果ハ舉ラナイモノトナルノ  
デアリマス、斯様ナ點ヲ考ヘ合ハセテ割當  
ヲ致シテ參リマスノデ、結果ニ於キマシテ  
ハ平野サンノ仰シヤツタ御意見ト同様ナコ  
トニナルモノト想像シテ居リマス

○平野(力)委員 次ニ御伺ヒシタイノハ、  
政府ニ於テハ農業保險ト云フモノヲ施行サ  
レテ一昨年来段々ヤツテ居ラレマス、農  
業保險ノ中ニ桑ガ入ツテ居ルコトモ承知シ  
テ居リマスガ、此ノ保險ヲ實施サレマシテ  
カラ今日マデ桑葉ノ保險トシテドノ程度ノ

面積、ドノ程度ノ内容ノモノガ此ノ保險ニ  
該當シテ養蠶農民ガ助カツテ居リマスガ、  
之ニ對スル過去ノ實績ノ内容ヲ御發表願ヒ  
タイ

○吉田政府委員 御答ヘ致シマス、大體十  
四年度ニ於テ四万九千四百三十八圓デ、十  
五年度ニ於テ八万七千三百六十七圓ノ  
桑園ニ對スル保險金ヲ渡シテ居ルヤウニ記  
憶シテ居リマス、是ハ十五年度ニ於テハ霜  
害等ガ非常ニ多クアツタ爲ニ之ニ對スル保  
險金ガ相當出テ居ルノデアリマス

○平野(力)委員 私ハ大體農業保險デ桑ノ  
保險ヲ始メタケレドモ大シテ實績ガ舉ツテ  
居ラヌヤウニ見テ居リマス、大體農業保險  
ノ審議ノ際ニ於テモ吾々屢々論ジタノデアリ  
マスガ、此ノ保險ハ極メテ試驗的ナモノデ  
アリ、且又農業保險ナルモノガ我が國ニ於  
テ施行サレテ居ルケレドモ、是ハ政府トシ  
テ拂ツテ居ル犧牲ガ極メテ少イノデアリマ  
スカラ、桑ノミナラズ米麥等ニ付テモ其ノ  
實績ガ舉ツテ居ラヌノデアリマス、是ニ於  
テ本法案ガ施行サレテ愈、我が國ノ養蠶業ガ  
一貫的ニ統制サレテ參ツタ時ニ特ニ問題ガ  
起リマスルノハ、一體繭ノ値段ハ或ル程度  
ニ安定セラレマシタケレドモ、今度出來ル  
新シイ日本蠶絲統制株式會社ハ、養蠶ノ被  
害ガ起ツタ場合ニ、從來ノ特約組合等ガヤ  
ツテ居タヤウニヤルノカドウカ、又從來  
ノ特約組合ガヤツテ居ル内容ニ付テモ隨分  
不滿ナ點ガ相當アルノデアリマスカラ、我  
ガ國ノ養蠶業ニ對スル根本的ナル政府ノ政  
策ガ樹立セラレルト共ニ、此ノ養蠶保險ニ  
對シテモ政府ト致シマシテハ根本的ニ御考  
ヘヲナサル必要ガアルト思フノデアリマス、  
此ノ農業保險中桑葉ニ對スル保險ト云フ範

圍ヲ出テ、養蠶其ノモノニ對スル保險ト云  
フコトマデ此ノ問題ヲ押進メラレルダケノ  
考ヘ方ガ政府ニ御用意アルカドウカ、若シ  
政府ニ於テソレダケノコトモ考ヘガナイト  
スルナラバ、今度新タニ出來ル統制會社ハ  
此ノ養蠶農民ノ違作ノ場合ニ於テハ、ドウ  
云フ對策ヲ以テ養蠶農民ノ希望ヲ満足サセ  
ントスルカ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイト思  
ヒマス、尙ホ加ヘテ申上ゲマスルナラバ、  
從來養蠶ニ對シテ違作ガアリマシテモ、ソ  
レハ色々ナ關係ニ於テ農林省ニ陳情ヲ致シ  
マシタリ、或ハ農民自ラノ方ニ於キマシテ  
モ、蠶種其ノ他ノ關係ニ於テ大體ハ之ヲ諦  
メテ參ツタノデアリマスケレドモ、今回ノ  
ヤウニ此ノ會社ガ統制ヲ致シマシテ、蠶種  
ノ配給カラ其ノ他一切ヤルト云フコトニナ  
リマス、斯ウ云フ違作ガ起リマシタ場合ニ、  
養蠶農民ト致シマシテハ一體ドウスレバ宜  
イノカ、斯ウ云フ問題ガ直チニ起ツテ參リ  
マスシ、殊ニ其ノ違作ノ程度ニ依リマシテ  
モ、所ニ依リマスト週期的ニ相當根本的ナル  
違作ヲ生ズルノデアリマシテ、斯様ナ場  
合ニ於キマシテハ、全ク生活ノ根本ニ觸レ  
タヤウナ重大問題ガ從來モ起ツタコトガア  
リマスガ、從來ハ政府ニ陳情ヲ致シマシテ  
政府ノ持米、所謂飯米ノ貸下ヲ願ツタリシ  
テ一時ヲ打開致シマシタガ、今回ハ最早飯  
米ノ貸下ナドト云フコトハ當局ニ於テ中々  
困難デアルト云フコトハ言フマデモナイト  
思ヒマスカラ、養蠶農民ト致シマシテ此ノ  
法案ヲ出シテ貰フコトハ全ク有難イケレド  
モ、斯ウ云フヤウナ問題ニ對シテ政府ハ如  
何ナル處置ヲ執ルカト云フコトヲ本當ニ聽  
カントシテ居ルノデアリマスカラ、何卒蠶  
絲局長ニ於カレマシテハ此ノ點ニ付テ詳細

此ノ農業保險中桑葉ニ對スル保險ト云フ範

丁寧ニ安心ノ出來ルヤウナ御答辯ヲ得タイ  
ト思ヒマス

### ○吉田政府委員

此ノ會社が出來マシタ曉  
ニ於キマシテハ、今後養蠶方面ニ於ケル各  
種ノ災害ニ對シマシテ之ヲ救済スルト申ス  
カ、サウ云フ考ヘ方ノ下ニ適當ナ制度ヲ設  
ケテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘ方持ツテ居ル  
ノデアリマス、違作ト申シマシテモ原因ハ  
色々ゴザイマス、飼育ニ不注意ノ爲ニ起キ  
タト云フヤウナ場合モアルカト思ヒマスガ、  
或ハ天候其ノ他ノ關係カラ桑園ニ非常ナ災  
害ガアツタ、桑園ニ對スル惡イ影響カラ作  
柄ガ惡クナル、蠶種ノ方ニ原因ガアツテ其  
ノ結果作柄ガ惡クナル、違作ガ生ズルト  
云フ場合ガアルト思フノデアリマス、是等ノ  
場合ヲ能ク吟味致シマシテ、ソレハ天災  
其ノ他蠶種ノ過失カラ參リマシタ養蠶家ノ  
思ハザル損害ト云フモノニ對シマシテハ、  
出來得ル限りニ對シ、救済スルト言ヒマス  
カ、適當ナ對策ヲ立テテ行キタイト思ヒマ  
ス、保險ト云フヤウナ御話モ出マシタガ、  
違作保險ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、  
無論研究シナケレバナラヌト思フノデアリ  
マスガ、中々保險ト云フコトニ付キマシテ  
ハ、理論ト云ヒ、技術ト云ヒ、非常ニ難カ  
シイ問題デアリマス、サウ云フコトモ一ツ  
ノ行キ方デアリマスガ、私共ト致シマシテ  
ハ、此ノ會社ニ於テ適當ニ、救済施設、所  
謂災害救済施設ト云ツタヤウナ考ヘ方デ、  
今後養蠶方面ノ思ハザル損害ニ對シテ對策  
ヲ立テサセルト云フ氣持ヲ持ツテ居ルノデ  
アリマス

### ○平野(力)委員

大體蠶絲局長ノ御答辯ヘ、  
心持ノ上ニ於テハ、成ベク吾々ノ希望ヲ容  
レラレルヤウナ答辯ガアリマシタノデ、其

ノ點ハ了スルノデアリマスガ、實際問題  
トシテ、違作ガアツタ場合ニ、是ハ當然起  
リ得ル問題デアリマスカラ、折返シ承ツテ  
置クノデアリマスガ、要約シテ問ヒマスコ  
トハ、農業保險ノ中ニ養蠶違作保險ヲ入レ  
ルコトガ出來ルカドウカ、是ハ「フランス」  
等ニ於テハ相當ニ研究致サレテ居ルト云フ  
コトモ聞イテ居ルノデアリマスガ、農林省  
ハ農業保險ニ對シテハ、相當ナ人ヲ海外ニ  
派遣セラレテ研究サシタ筈デアリマスガ、  
養蠶保險ト云フモノニ付テ、大體御研究ガ  
出來テ居ルカドウカ、是ガ一點、若シ養蠶  
保險ト云フモノヲ農業保險ノ中ニ加ヘルコ  
トガ出來ナイト云フノデアアルナラバ、今回  
出來ル日本蠶絲統制會社ハ、養蠶ニ違作ノ  
アツタ場合ニ於テ、具體的ニドウ云フヤウ  
ナ態度ヲ以テ之ニ對應セントスルカ、之ヲ  
一ツハツキリ承リタイ

### ○吉田政府委員

養蠶ノ違作ト云フコトニ  
付キマシテハ、色々ト原因ガアルト思フノ  
デアリマシテ、所謂違作ト云フコトヲ保險  
ノ對象ニ致シマスコトハ、餘程慎重ニ研究  
ヲ要スル問題ト思フノデアリマス、ト申シ  
マスノハ、或ハ所謂道德的危險ト申シマス  
カ、保險金欲シサニ特ニ注意シナイト云ツ  
タヤウナコトヲヤリマシテモ中々分ラナイ、  
惡イ事ヲスルコトバカリ申ス譯デハアリマ  
セヌガ、中々此ノ違作ト云フコトヲ保險事故  
トシテ組立テルト云フコトハ困難ト思フノデ  
アリマス、現在ノ保險ニ於キマシテハ桑園ニ對  
スル災害ハ保險ニ入ルコトニナツテ居リマ  
ス、作柄ニ付キマシテハ是ハ保險ト云フコト  
ハ非常ニ仕組ガ困難デハナカラウカ、斯様ニ  
考ヘテ居ルノデアリマス、但シ今モ申シマシ  
タヤウニ、無論惡イコトヲヤツテ違作ニナ

ル場合ハ極メテ稀レデアリマシテ、已ムヲ  
得ナイ場合ダト思フノデアリマシテ、洵ニ  
氣ノ毒ナ場合ガ多イト思ヒマスノデ、斯  
様ナ場合ニ對シテノ救済ト云フ制度ハ此ノ  
會社ニ於テ出來得ル限リヤル、斯ウ云フヤ  
ウナ考ヘ方デ適當ナル方策ヲ立テテ行キタ  
イト考ヘマス、蠶種ノ問題カラ起キテ參リ  
マス違作ト云フコトモ、是ハ相當考ヘナケ  
レバナラスノデアリマス、今考ヘテ居リマ  
スコトハ蠶種ノ方面ニ於キマシテ、其ノ  
蠶種ニ基イテノ作柄ノ惡カツタモノニ對ス  
ル一定ノ補償ト言ツタヤウナ考ヘ方ノ支出  
ヲサセタイ、ソレニハ蠶種ノ團體等ニ於キ  
マシテ、一定ノ違作積立制度式ナルモノヲ  
作ラセテ置キマシテ、能ク違作ノ場合ノ原  
因ヲ取調ベマシテ、ソレガ蠶種ニ原因シテ  
居ルコトガ認メラレマシタ場合ニ於テ、其  
ノ金ヲ出ス、斯ウ云フヤウナコトハ普段カ  
ラ立テテ置クコトガ適當デハナイカト考ヘ  
マスノデ、其ノ點ハ今研究致シテ居ルノデ  
アリマス、其ノ他ノ場合ニ於キマシテモ出  
來得ル限リ此ノ會社ガ救済致シテ行ク、斯  
ウ云フ考ヘ方デ適當ナ施設ヲ講ジテ行キタ  
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス  
○平野(力)委員 大體蠶絲局長ノ仰シヤイ  
マシタ言葉ノ中ニ、農民ガ故意ニ云々ト云  
フ言葉ガアリマシタガ、ソレハ大體御取消  
ニナツタヤウデアリマスガ、恐ラクサウ云  
フコトハ考ヘル必要ハナイト思ヒマス、極  
メテ善意ニ養蠶ヲヤツテ不作ニナツタ、是  
ハ天候ノ關係、或ハ其ノ他ノ關係ニ於テ十  
分アリ得ルノデアリマスガ、最近私共ノ一  
番違作ニ對シテ考ヘサセラレタ問題ハ、天  
候ノ問題ハ萬已ムヲ得ナイト致シマシテモ、  
肥料ノ甚ダシキ配給ノ不足カラ、桑葉ノ榮

養ガ足ラナイ關係上、ソレガ養蠶ニ及ボシ  
テ違作ニナツタ、斯ウ云フコトハ齊シク養  
蠶農民ガ絶叫スルコトデアリマシテ、是ハ  
言換ヘマスナラバ、決シテ農民ノ罪デハナ  
クシテ、政府ノ肥料配給ノ圓滑ヲ缺イテ居  
ルト云フコトニアルノデアリマス、隨テ肥  
料ノ配給ノ足ラザル場合ニ於ケル所謂養蠶  
ノ不作ヲ農民ニノミ負ハシムルコトハ、洵  
ニ是ハ養蠶農家ハ不安定ノ甚ダシイモノデ  
アルト考ヘマス、ソレカラ只今仰シヤイマ  
シタヤウニ、蠶種ノ配給ハ從來ニ於キマシ  
テモ相當ニ綿密ニ研究ヲサレテ居リマスケ  
レドモ、斯ウ云フ統制會社ガ一手デ蠶種ノ  
配給ヲスルコトニナリマスナラバ、ドウシ  
テモ茲ニ蠶種ノ配給ニ對シテ手ノ届カナイ  
點ガヤハリ出來テ參リマス、又假ニ善意ニ  
蠶種ガ配給サレテ居リマシテモ、違作ガア  
リマシタ場合、農民ノ心理カラ言ヘバヤハ  
リ蠶種ガ惡カツタノダト云フ考ヘ方カラ救  
済運動ヲ起シマス、其ノ時ハ、從來ナラバ  
特約組合或ハ其ノ他ノ關係ニ於キマシテ、  
其ノ方法ヲ考ヘタノデアリマスガ、今回ハ  
ドウシテモ此ノ蠶絲統制會社ニ對シテ其ノ  
違作ヲドウスルカト云フ運動ガ起ツテ參リ  
マス、是ハ蠶絲局長ハ只今言葉ノ上ニ於テ  
ハ非常ニ善意ニ考ヘル、又ソレニ對シテ相  
當ナル對策ヲ立テルト仰シヤイマシタガ、  
斯ウ云フ會社ガ出來タ時ニ考ヘマスコト  
ハ、サウ云フヤウナコトハ可ナリ後廻シニ  
ナツテ、農民ニ對スル違作ノ救済ト云フコ  
トハ、實際ニ違作ガ起リ、相當ノ騒ギガ起  
ツテ、ソレカラ順次徐々ニ考ヘルト云フコ  
トニナルノガ通例デアリマスノデ、ドウカ  
此ノ際蠶絲局長ニ申上ゲテ置キタイコト

ハ、此ノ劃期的ナ會社ヲ立テラレタ其ノ劈頭ニ於テ、何ト云フモ、生絲、養蠶業ト云フモノハ、繭ノ百姓ガ作ツテ、ソレガ根本ニナツテ成立ツテ居ルノデアツテ、而モ其ノ個々ノ百姓ト云フモノハ、極メテ零細ナル土地ニ桑ヲ植エ、其處ニ極メテ苦心ヲ拂ヒ養蠶ヲヤツテ居ル、此ノ順良ナル農民デアリマスカラ、是等ノ諸君ニ此ノ法案ニ對スル安定感ト云フモノガナケレバ、結局ハ此ノ法案ニ對シテ國策ノ線ニ沿フコトニハ參ラヌノデアリマスカラ、問題ハ洵ニ簡單ノヤウナ議論ト思ハレマスカモ知レマセヌガ、實ハ頗ル重大ナル問題デアリマスカラ、此ノ大日本蠶絲統制會社ノ創立ニ當ツテ、養蠶ノ違作ニ對シテ此ノ會社ハドウ云フ具體的ナル救済方法ヲ考ヘルカ、斯ウ云フコトヲ會社創立ノ當初ニ當ツテ十分ナル御研究ヲ遂ゲラルルト云フコトヲ、私ハ特ニ此ノ際ニハ希望トシテ申上ゲテ置キマス

ソコデ次ニ根本問題ニ付テ少シ御伺ヒヲ致シタイノデアリマスガ、我が國ノ蠶絲業ト云フモノヲ大觀シテ見マス、何ト云ヒマシテモ、所謂生産費——肥料ト努力、是ガ現在ノ情勢ニ於キマシテハ非常ニ掛ル、隨テ私ハ此ノ席上ニ於テ一貫目ノ繭ヲ作ルニ當ツテ、一體桑葉ノ代金ガ幾ラ、或ハ勞働賃金ヲ幾ラニ換算シテ決定サレルカト云フ具體問題ニ向ツテ尙ホ當局ガ發表ヲセラシムルナラバ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソレト同時ニ根本問題トシテ生産費ヲ低下セシメルト云フコトニ對シテハ、其ノ生産費ノ基調ニナツテ居リマス肥料ト小作料問題ニ及ンデ考ヘナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、隨テ今日政府ノ執ツテ居ラレマス所ノ増産政策等ニ付テハ、ヤハ

リ依然トシテ補助政策デアルトカ、或ハ其ノ他田ノ耕地ヲ多ク殖ヤストカ云フヤウナ問題ガ常ニ考ヘラレテ居ツテ、生産ノ根本問題ニナリマス所ノ小作料デアルトカ、肥料問題等ニナリマス、其ノ大事ナ部面ハ案外之ヲ閑却シテ置イテ、増産政策ヲ提唱サレルノハ、農業政策上ノ根本問題トシテ洵ニ遺憾ニ思フノデアリマス、蠶絲局長ハ將來ノ我が國ノ養蠶業ニ對シテ極力繭ノ生産費ヲ安クシテ、サウシテ一方ハ養蠶農家ヲ安定セシメ、一方ハ我が國ノ蠶絲業ノ堅實ナル發展ヲ圖ツテ、サウシテ養蠶業ヲ我が國ノ磐石ノ基礎タル産業ニスルト云フ考ヘニ向ツテ、此ノ肥料政策ト小作料ノ問題ニ關シテドウ云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレカ、是等ヲ相當ニ安クシテ繭ノ生産費ヲ低下セシメテ、我が國ノ蠶絲業ト云フモノヲ、或ハ支那ニ、或ハ其ノ他ノ地方ニ壓迫セラレナイダケノ確固タル方針ヲ御立デニナル御意見ヲ持ツテ居ラレルナラバ、一ツ御伺ヒ致シマス

○井野政府委員 只今平野君ノ御尋ネノ點ハ、肥料竝ニ小作關係ノ根本問題ニ付テノ御尋ネデアリマスカラ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、繭ノ生産費ヲ出來ルダケ安クシテ行クト云フコトハ、是ハ吾々多年努力モ致シテ居リマスコトデアリマスシ、又念願モ致シテ居ル點デアリマシテ、今後ト雖モ指導ヲ加ヘ、又品種ノ改良其ノ他色々ノ點カラモ生産費ヲ安クスルト云フコトハ、是非共努メナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ關聯致シマシテ肥料問題モ生産費ノ大キナ要素ヲ成スノデアリマスカラ、政府トシテハ出來ルダケ低廉ナル肥料ヲ豊富ニ供給致シタイト云フ氣持デ努力ヲ

致シテ居リマス、併シ御承知ノヤウニ現在ノ實情ニ於テハ海外カラ入リマス色々ノ資源ニ不足ガアリ、又國內ノ肥料ノ生産力モ、電力、石炭、資材等ノ關係カラ非常ニ困難デアル事情ハ度々豫算總會ニ於テモ大臣カラ申上ゲテ居ルヤウナ次第デ、現在ハ肥料問題ニ對シテハ政府トシテハ出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ居リマスガ、此ノ程度ヨリ已ムヲ得ナイト云フ實情デアリマスガ、將來ニ向ツテハ此ノ問題モ出來ルダケ努力ヲ致シマシテ増産ニ努メルト同時ニ、又肥料自體ノ生産費モ低下セシメルヤウニ導イテ參リマシテ、農村ニ供給スル肥料ヲ安ク致スコトニハ、努力致シテ參ラナケレバナラスト思フノデアリマス、又小作料ノ問題ニ付キマシテモ、農林省トシテハ農地調整法ヲ出シマシテ以來、小作問題ニ付テハ非常ナ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、現在小作料ノ點ニ付キマシテモ、或ハ小作料統制令其ノ他色々ノ手段ヲ以テ此ノ問題ノ解決ニ當ツテ居リマス、併シ適正小作料ノ問題ニ付テモ相當ニ考慮ヲシナケレバナラスト考ヘテ、農林省ハ此ノ方面ニモ現在研究ヲ加ヘテ居ルヤウナ譯デ、小作料ノ適正ヲ得ルト云フコトガ増産竝ニ生産費ヲ低下セシムル上ニ相當ニ大キナ問題デアリマスルカラ、サウ云フ點ハ十分ニ考慮シテ繭ノ生産費低下ニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○平野(力)委員 此ノ際興亞院ノ宇佐美部長ニ一ツ承ツテ置キタイノデアリマスガ、今議論ヲシテ居リマスヤウニ我が國ノ養蠶業ガ其ノ生産費ノ上ニ於テ比較的高價ナラザルヲ得ナイ一ツノ宿命ヲ持ツテ參ツテ居リマス、然ルニ支那ノ養蠶業ハ洵ニ原始的デ、其ノ製品ノ上ニ於テハ我が國ニ劣ルト

雖モ、養蠶業ノ根本ヲ考ヘル時ニハ將來ノ支那ノ蠶絲業ハ洵ニ重大ナル發展ヲ遂ゲテ、我が國ノ蠶絲業ガ之ニ相當ノ壓迫ヲ受ケル、是ハ苟モ蠶絲業界ニ於ケル定説デアリマス、ソコデ此ノ前モ宇佐美部長カラ色ト御答辯ガアツタノデゴザイマスルガ、華中蠶絲ノ生命トスル問題ガ甚ダシク不明瞭デアリマスルノデ、此ノ際一ツ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、華中蠶絲ハ我が日本ノ養蠶業ト支那ノ養蠶業ト睨ミ合ハセテ見デ、ソコニ矛盾ヲ孕ンデ居ル重大ナル問題ニ對シテ今後如何ナル方法ヲ以テ善處セントシテ居ルカト云フ根本ノ態度ヲ伺ツテ見タイノデアリマス、興亞院ニ於キマシテハ華中蠶絲ガ日本ノ養蠶業ト支那ノ養蠶業ヲ睨ミ合ハセテ、茲ニ如何ナル調和ヲ圖リ、將來如何ナル對策ヲ以テ日支ノ養蠶業ガ兩立スル堅實ナル發展ヲ圖ツテ行カレカ、ドレダケノ抱負ト御考ヘヲ持ツテ居ルカ、是ハ單ニ輸出貿易ノ問題ノミナラズ根本的ニ支那ノ養蠶業ト日本ノ養蠶業ヲ通ジテ見タ所ノ重大問題デアリマス、何ダカ私ガ此ノ前ノ御答辯ヲ聽イテ居リマスルト、是等ノ點ニ付テハ其ノ場當リノヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居ラレルト云フヤウニ感ジテ、大變心配シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ際一ツ明確ナル御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス

○宇佐美政府委員 御答ヘ致シマス、華中蠶絲ハ只今御話ノヤウニ支那ノ蠶絲業ガ日本ノ蠶絲業ニ對スル重大ナル影響ヲ持ツテ居リマスシ、又支那ノ農民ニ對スル重要性ト云フモノモアリマスルノデ、此ノ間ニ於テ兩者ノ調整ヲ適當ニ實現スルコトガ出來ルヤウナ機關ニシタイト云フ氣持ヲ以テ出

來タモノデアリマスルガ、實際ニ於キマシ  
テハマダ完全ナ支那蠶絲業ノ把握ト云フ所  
マデハ行ツテ居ラナイト思フデアリマス、  
併シ華中蠶絲會社ニ依リマシテ支那ノ蠶絲  
業ヲ出來ルダケ把握シテ、ソレニ依ツテ事實  
上日本ノ蠶絲業ノ關係ヲ適當ニ調整シテ行  
ケルヤウニシタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル  
譯デアリマス、斯ウ云フ趣旨ニ於キマシテ  
ヤツテ居ルコトモアル譯デアリマス、併シ  
ナガラ只今申上ゲマシタヤウニ完全ニト云  
フ狀況ニハ中々參ツテ居ラナイデアリマ  
ス、今後ノ問題ニ付キマシテハ吾々ノ方デ  
モ色々研究致シテ居リマシテ、或ハ技術  
的ノ方法ニ依リ日支間ノ調整ト云フヤウナ  
コトモ出來ルノデハナカラウカト云フヤウ  
ナ研究モ致シテ居ル次第デアリマス、併シ  
結局日支ノ調整ハ此ノ前モ申上ゲマシタヤ  
ウニ、何等カノ一般のナ日支間ノ取極メニ  
依ルト云フコトデナケレバナラヌダラウト  
思ヒマシテ、サウ云フ研究モ致シテ居ル譯  
デアリマス、華中蠶絲ト云フヤウナモノモ  
今日ニ於キマシテハソレガ完全ニハ行カナ  
イカモ知レマセヌガ、サウ云フ目的ヲ達ス  
ル一ツノ機關トシテ使ツテ居ル譯デアリマ  
ス、隨テ現在ニ於キマシテモ既ニサウ云フ  
意味ニ於キマシテ事實上ニ可ナリ完全デハ  
ナイニシテモ、或ル程度ノ支那ノ蠶絲業ノ  
調整ニ相當役立ツテ居ルト私共ハ考ヘテ居  
ル次第デアリマス

○平野(力)委員 ドウモハツキリシマセヌ  
ガ、難カシイ問題デアラウトハ想像スルノ  
デス、併シ私ハ興亞院トシテノ御答辯ヲ此  
ノ前聞イテモ洵ニ不安心デアツタノデ、折返  
シ、其ノ心配ノ餘リ承ルノデアリマスガ、  
大體支那ノ蠶絲業ト日本ノ蠶絲業ヲ如何ニ

調和セシムルカト云フ、根本問題ニ對スル  
具體的ノ見解ト云フモノガアツテ宜シト  
思フ、日支提携ト申シマシテモ、斯ウ云フ  
ヤウナ經濟上ノ問題、相當ニ根本的ナル問  
題ガ定マツテ居ラヌノデハ、如何ニ興亞院  
ガ日支提携ヲ主張致サレマシテモ、ソレハ  
根柢ノ上ニ於テ破綻ヲ來スノデアリマス、  
固ヨリ支那ノ蠶絲業ト日本ノ蠶絲業ヲ如何  
ニ調和スルカト云フコトハ、困難中ノ困難  
ナル事業デアラウト私ハ推測スルノデアリ  
マスルガ、併シ苟クモ華中蠶絲ガ創立セラ  
レマシテサウシテ相當ノ力ヲ以テ日夜活動  
シテ居ラレマスル限リ、興亞院トシテハ今  
少シク明確ニ日支ノ蠶絲業ト云フモノニ對  
シテ、大體斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ツテ、  
此ノ問題ハ斯ウ云フ風ナ考ヘヲ以テ善處シ  
テ行キタイト云フ御發表ヲ願ハナケレバ、  
只今ノ御答辯ダケデハ洵ニドウモ不安心デ  
アルノデアリマスガ、尙ホモウ少シ丁寧ナ  
御發表ヲ願ヘバ結構デアリマス

○宇佐美政府委員 結局ニ於キマシテ今日  
ノ様子ハサウハツキリト、是ハ斯ウシテ、ア  
レハアスルト云フヤウニ明確ニ申上ゲルヤ  
ウナ狀態デナイト思フデアリマス、何ト申  
シマシテモ今日戰爭ガ行ハレテ居ルノデア  
リマシテ、治安ノ狀況モマダ決シテ完全ニ  
ハ至ツテ居ラナイト云フヤウナ所ニ於キマ  
シテ、支那ノ蠶絲業ヲ斯ウスル、アスル  
ト云フコトヲ的確ニ申上ゲルコトハ中々困  
難デアリマス、結局先程申上ゲマシタヤウ  
ナ漠然トシタコトニ相成ルノデアリマスル  
ガ、併シ其ノ情勢ニ依リマシテ、ヤハリ先  
程申シマシタヤウニ日支ノ輸出ニ付キマシ  
テ、輸出制限ヲ致スト申シマスルカ、輸出  
ニ付テノ可ナリ廣汎ナ實際上ノ取極メヲス

ルト云フコトガ必要ニナツテ來ルダラウト  
考ヘルノデアリマスルガ、今日ノ所ハサウ  
云フ所マデマダ進ンデ居リマセヌ、併シ吾  
等トシテハサウ云フ風ニ行ク外ナカラウト  
云フ考ヘデ研究ヲ致シテ居ル次第デゴザイ  
マス

○森(幸)委員 一寸關聯シテ……此ノ支那  
蠶絲業ニ付テ御尋ネ致シマシテモ、或ハ適當  
ナ御答辯ヲ得ラレナイカモ知レマセヌカラ  
希望ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマスルガ、  
今興亞院カラノ御説明デハ支那ノ蠶絲業ニ  
對シテ殆ド研究モ重ネテ居ラナケレバ、何  
等ノ方針モ持ツテ居ラレナイヤウニ承ルノ  
デアリマス、支那ノ蠶絲業ノ興ツタコトハ、  
蔣介石ガ日本ヲ苛メテヤラウト云フコトノ  
一ツノ大キナル手段アルノデアリマス、  
日本ノ唯一ノ外貨獲得ノ蠶絲業ノ得意デア  
ル「アメリカ」ヲ乘リ取ツテヤラウ、是ガ蔣  
介石ノ抗日排日ノ一ツノ政策ニ使ハレタ問  
題アルノデアリマス、所ガ此ノ事變デ中  
支ノ蠶絲業中心地ガ打壞サレテシマヒマシ  
テ、其ノ後一時のナ停頓ヲ致シテ居ル支那  
ノ蠶絲業ガ、必ズヤ更ニ偉大ナ力ヲ以テ復興  
スルニ違ヒナイ、斯ウ云フコトデ茲ニ何等  
カ考ヘナケレバナラヌト云フノガ、華中蠶  
絲ヲ創立シタ所以デアリマス、所ガ新政權  
ガ出來マシテモ尙且ツ華中蠶絲ノ支那大陸  
ニ於ケル霸權ト云フモノハ、十分ノ三シカ手  
ニ握ルコトハ出來ナイ、殊ニ無錫常州地方、  
アノ地方ノ浙江財閥ノ持ツテ居ル蠶絲業ノ  
區域ハ、尙ホ汪政權ノ手ニモ屬シナケレバ、  
華中蠶絲ノ配下ニモ屬シナイ、斯ウ云フ立  
場ニ居ルノデアリマス、所ガ事變直後此ノ  
蠶絲業ガ根本的ニ破壞サレタ、其ノ後宣撫  
ノ上カラ或ル程度之ヲ復興シナケレバナラヌ

ト云フノデ、蠶絲業ガ復興シテ參リマシ  
テ、サウシテ今日ノ狀況ヲ見マシタ所ガ、  
段々ト爲替關係デ、輸出ガ有利ニアリマス  
爲ニ、六万俵、七万俵ト云フヤウナ輸出ノ  
數量ヲ見ルヤウニナツタノデアリマス、  
一方「アメリカ」ノ日本ニ對スル敵性ノ爲ニ  
日本ノ輸出ガ減退ヲシタ結果ガ、支那生絲  
ガ「アメリカ」ニ出向イテ行ク、斯ウ云フ結  
果ヲ見テ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シ  
テ此ノ儘拾テ置イテハナラヌト云フノデ、  
今或ル操作ガ行ハレテ居ルノデアリマス、  
是ハ發表ガ出來ナイ或ル操作ガ、或ル大キ  
ナ力ニ依ツテナサレテ居ルノデアリマス、  
殊ニ支那ノ絲ハ——是ハ我が國カラハ餘リ  
大キク言ヘナイデスケレドモ、特殊ノ良イ  
性質ヲ持ツテ居ル、殊ニ今日支那大陸ノ狀  
況ヲ聞イテ見マシテモ、何ヲ作ルヨリモ蠶  
ヲ飼フト云フコトガ一番彼等ノ收入ガ多イ、  
食糧ガ足ラヌノデ米ヲ作レ、麥ヲ作レト宣  
傳シマシテモ、ソナナモノハ作ラナイデ蠶  
ヲ飼フト云フコトガ、一番彼等ノ收入ヲ増  
スト云フ產業ニナツテ居ルノデアリマスカラ、  
支那ノ蠶絲業ノ將來性ニ對シマシテハ日本  
ハ重大ナル關心ヲ持タナケレバナラヌノデ  
アリマス、聞ク所ニ依リマスレバ日本ガ新  
政權ト平和交渉、經濟交渉ヲスル場合ニ於  
テ、鐵道ノ權利トカ、軍ノ駐屯權トカ、色  
色ナ條件ガ掲ゲラレテアリマスガ、此ノ日  
本ノ蠶絲業ニ對シテ最モ重大ナル相手國デ  
アル支那ノ蠶絲ト云フコトニ付テハ、一ツ  
モ諒ツテナイト云フコトヲ聞イテ居ル、水  
産ハ入ツテ居ルノデアリマススケレドモ蠶ト  
云フコトハナイ「其ノ他」ヲ中ニ包含サレテ  
居ルト云フヤウニ聞イテ居ル、是デハ二百  
萬ノ養蠶家ノ立場、或ハ今日マデ長イ間日

本ガ蠶絲業國トシテ外貨獲得ヲナシテ來タ  
蠶絲業ニ對シテ、今支那大陸ニ於テ新シク  
芽ヲ出サントシテ居ルノデアリカラ、茲ニ  
兩國ガ何トカ協調シナケレバ、日本ノ蠶絲  
業ハ將來立ツ瀕ガナイ、此見地カラ日支ノ  
結束一元化ヲ圖リ、支那モ或ル程度ノ結束  
出來ルヤウニ、日支協調シテ行カナケレバ  
ナラス、之ヲ吾々ハ叫ンデ來タノデアリマ  
ス、偶、茲ニ一元統制會社案ガ出來テ、茲ニ  
一元統制ヲサレルト云フコトハ、洵ニ吾々  
ノ今マデ考ヘテ來タコトト合致スル政策ト  
シテ、此ノ案ノ成立ヲ翹望スル次第デアリ  
マスガ、サウ云フ立場カラ吾々ハ先日來茲  
ニ叫ンデ居ルコトハ、日本モ綺麗ニ一元化  
ニ統制シ、支那モ統制ノ出來ルヤウニシテ、  
日支協調シテ此ノ東亞ノ共榮圈ヲ作ツテ、サ  
ウシテ「アメリカ」ガ絹絲ヲ欲シケレバ賣  
ツテヤラウ、日本ト支那ガ手ヲ握ツタナラ  
バ世界ノ生絲生産ノ霸權ガ握レルノデアリ  
マス、ソレデ吾々ハ日本政府ガ新支那政府  
ト經濟協調ヲサレル上ニ於テハ、此ノ傳統的  
ノ長イ歴史ヲ有スル日本ノ蠶絲業ニ對シテ、  
サウシテ幾ラデモ盛ンニナル所ノ支那ノ蠶  
絲業ニ對シテモ、相當ナル統制ガ出來ルヤ  
ウニ、手ヲ握レルヤウニ、支那ト日本ノ協  
調ト云フコトヲ大ニ翹望シテ已マナイモノ  
デアリマス、興亞院ノ責任デハアリマスマ  
イ、日本政府ガ新政府ニ對スル經濟協定ノ  
其ノ條項ノ中ニ、蠶絲業ト云フモノヲ「其ノ  
他」ト云フ中ニ包含サレテ居ルヲ噂ヲ聞キ  
マシテ、餘リニ日本ノ原始産業ヲ理解サレナ  
イ經濟協調ノ條件デアアルコトヲ吾々ハ遺  
憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、ドウカ一ツ  
過去ヲ追ツテモ仕方ガナイノデアリマスカ  
ラ、我が日本ノ蠶絲業ガ「アメリカ」ニ對シテ、

同様な態度デ進マナケレバナラスヤウナ立  
場ニアルノデアリマスガ、支那ノ蠶絲業モ  
決シテ油斷ガナラナイノデアリマス、生産  
費ノ安イコト、サウシテ品質ノ或ル點ニ於  
テ優レテ居ルコトカラ考ヘマシテモ、吾々ハ  
現在ノ如ク支那ノ蠶絲業ヲ無統制ノ儘ニ置  
クコトハ出來ナイ、斯様ニ考ヘルノデアリ  
マス、興亞院トシテハサウ云フ方面ニ責任  
ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマスカラ、ド  
ウカ十分一ツ研究ヲシテ戴キタイト云フコ  
トヲ私ハ此ノ機會ニ御願ヒスル次第デアリ  
マス  
○加藤(知)委員 ソレニ關聯シテ一ツ伺ヒ  
タイト思ヒマス、日支蠶絲業ノ關係ハ只今  
森委員カラ御述べニナリマシタ通りデ、  
吾々モサウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、「イ  
タリア」ノ蠶絲業ニ付テハ、ドウ云フ風ニ  
考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ、一寸此ノ  
際御尋ネシテ見タイト思ヒマス、數量其ノ  
他ノ關係カラ云ツテ、「イタリア」ハ日  
本、支那ノ比デハアリマセヌガ、併シナガ  
ラ御存ジノ通り屢、日伊蠶絲同盟ト云フコ  
トヲ日本ヘ申込シテ來タ事實ノアルコトハ  
御承知ノ通りデアアル、今日日本ハ斯ウ云フヤ  
ウナ事變中デアリ、「ヨーロッパ」モ戰爭中  
デアリマスカラ、サウ云フヤウナ問題ハア  
リマスマイガ、併シナガラ總て是ガ平和ニナ  
リマスレバ、必ズヤ其ノ問題ハ起キテ來ル  
コトト思フノデアリマス、サウ云フコトニ  
付テ政府當局ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレ  
ルカ、又サウ云フヤウナ問題ガ起キタ場合  
ニハ如何ナル御用意ガアルカ、若シ無ケレ  
バ無イデ、今カラ用意シテ置ク必要ガアル  
ノデハナイカ、斯ウ云フヤウニモ考ヘラレ  
ルノデアリマスガ、之ニ付テノ政府當局ノ

御所見ノアル所ヲ伺ツテ置キタイ、ドウカ  
次官カラ一ツ御答ヘヲ願ヒタイ、尙ホ興亞  
院ノ方カラモ御答ヘヲ願ヒタイ  
○井野政府委員 「イタリア」トノ問題ハ興  
亞院ノ問題デハナイト思ヒマスカラ、御答  
ヘヲ御求メニナルコトハ少シ御無理ト思ヒ  
マスノデ、私が代ツテ御答ヘ申上ゲマス  
「イタリア」絲ノ問題ハ今回ノ事變前カラ  
日本ノ生絲ニ對スル一ツノ競争ノナ立場ニア  
リマスノデ、吾々トシテモ色々其ノ點ニ對スル  
對策モ講ジテ參ツタノデアリマスケレドモ、  
現在ニ於テハ「イタリア」絲ハ御承知ノ通り戰  
争ノ關係デ殆ド外ニ出ナイノデ、今ソレニ  
對シテ何等ノ工作モ施シテ居リマセヌ、併  
シ今ノ加藤サンノ御話ハ、將來此ノ事變ガ  
戰ツテ、ドン／＼輸出ガ出來ルヤウニナツ  
タ時ノ策ハドウカ、斯ウ云フ御尋ネデアリ  
マスガ我が國ノ輸出生絲ト云フモノガ今後  
若シモ平和ニナリマシタ際ニ、ドウ云フ風  
ニ出テ行カト云フコトニ付テノ見透シハ、  
吾々ハヤハリ事變前ニ戻ルモノト考ヘテ居  
リマス、「アメリカ」ノ「ナイロン」人絹等ノ  
進出ハアリマシテモ、ヤハリ日本ノ生絲ノ  
良イ特長ハアリマスカラ、其ノ輸出ニ付テ  
ハ事變前ノ狀態ニ戻ル、斯ウ云フ風ニ考ヘ  
テ居リマス、隨テ品質ヲ良ク致シ、値段ヲ  
高く致シマセヌケレバ「イタリア」ノ絲ニ對  
シテモ對抗ハ十分ニ出來ルノデゴザイマス、  
御存ジノ通り「イタリア」ノ生絲ハ非常ニ生産  
費ガ高イノデゴザイマスカラ、國家ガソレ  
ニ對シテ補償ヲシテマデ輸出獎勵ニ當ツテ  
居ル彼ノ實情カラ見レバ、日本ノ生絲ガ侵  
サレルト云フ心配ハナイ、サウ云フコトヲ  
考ヘルト、今日カラ「イタリア」政府ニ對シ、  
或ハ其ノ他ノ方面ニ對シテ對策ヲ講ズルト

云フ必要ハ、今ノ所ハ感じテ居リマセヌ  
ガ、又事態ノ推移ヲ見マシテ等處致シタイ  
ト考ヘテ居リマス  
○加藤(知)委員 興亞院ト申上ゲマシタノ  
ハ、企畫院ト云フ氣持デアリマシタ、是ハ  
訂正シテ置キマス、ソレカラ今ノ次官ノ御  
答ヘノ通り「イタリア」ノ蠶絲業ハ數量カラ  
云ヒマシテモ、殆ド問題デモナイヤウデア  
リマスガ、併シナガラ「イタリア」ノ政府當  
局竝ニ民間有志ノ人達ハ此ノ日伊蠶絲業ノ  
提携ト云フコトニ付テハ、非常ニ熱意ヲ持  
ツテ居ル、吾々ガ向フニ行ツタ際ニ向フノ  
人ハ非常ニ其ノ事ヲ主張シテ居ツタ譯デア  
リマス、將來ハ必ズサウ云フ問題ガ出テ來  
ルニ違ヒナイト思ヒマスカラ、斯ウ云フコ  
トニ付テモ我が國トシテハ日獨伊三國同盟  
ナドノ出來マシタ結果、之ニ考ヘラ及ボシ  
豫メ其ノ御用意ガアツテ然ルベシト考ヘマ  
スカラ、其ノ點ニ付テ御意見ノアル所ヲ伺  
ツタノデアリマス  
○平野(力)委員 次ニ御伺ヒシタイノデア  
リマスガ、是モ既ニ一應ノ御答辯ハアツタ  
ヤウデアリマスガ、尙ホ不明瞭ノ點ガアル  
ノデアリマス、此ノ會社ハ農村カラ繭ヲ買  
ヒマシタ場合ニ、其ノ代金ノ支拂方法ト云  
フモノハ直チニ現金デ拂ハレルノカ、或ハ  
相當ノ期限ノ間、何カ適當ナ方法ヲ考ヘテ  
延バシテ置クノカ、是ガ洵ニ不明瞭デアッ  
テ心配ヲシテ居ルノデアリマス、既ニ他ノ  
委員カラ申上ゲマシタヤウニ農民ハ肥料  
ハ現金デ買ハナケレバナラスガ、米トカ繭  
トカ云フモノハ斯ウ云フ會社ガ出來、政府  
ノ統制ガ出來テ供出致シマシテモ、現金ハ  
中々手ニ入ラナイ、是ハ今日農村ヘ行キマ  
スナラバ、農民ノ齊シク吾々ニ對シテ不滿

ヲ言フ所デアリマスカラ、此ノ會社ガ出來テ價值ガ安定シテ洵ニ結構デアルガ、皆テ繭ノ代金ヲ貰フ時ニナルト、中々簡單ニハ參ラスト云フコトニナリマス、ヤハリ此ノ法案ニ對シテ相當ナル疑問ヲ持チマスノデ、農民カラ買上ゲマシタ繭ニ對シテハ、此ノ會社ハ其ノ代金支拂方法ハ如何ナル方法ヲ執ルカ、之ヲ一ツ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 繭代金ノ支拂ニ付キマシテハ無論現金デ拂フ考ヘデ居リマス、ソレカラ時期ニ付キマシテハ現在ノ繭ノ販賣ノ場合ニ於テ代金ヲ獲得致シマスヨリモ、成ベク速カニ致シタイ、斯ウ云フ考ヘナノデアリマシテ、新タニ此ノ會社ガ買ヒマシテモ現在製絲家ガ買ツテ居ルノト比ベテ大シテ變ラナイト思ヒマス、代金ハ現在製絲家ガ拂ツテ居ル方法ニ依リマシテ支拂ツテ行キマシテ、出來得ル限リソレ以上ニ時期モ早メタイト思ツテ居リマスガ、是ハ檢定ト云フコトガアリマスノデ、其ノ檢定ガ終了致サナケレバ滿額ヲ支拂フト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、現在デモ組合製絲等ニ於テハ其ノ大多數ノモノハ拂ツテ置イテ、後デ精算ヲスルト云ツタヤウナコトニナツテ居ルトモ聞イテ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ大事ナ問題デアリマスカラ、無論現狀ヨリモ惡クナラヌヤウニ極力努メテ參ル考ヘデアリマス

○平野(力)委員 其ノ次ハ色々問題ニナツテ居リマスノ念ノ爲ニ承ルノデアリマスガ、輸出生絲ガ相當ナ價值デ賣レタ、或ハ其ノ反動トシテ相當下ツタ、斯ウ云フ場合ニ如何ナルコトガアツテモ、其ノ事ハ農民カラ買上ゲル繭ト云フモノニ對シテハ何等

ノ變動ナシ、是ハ全クサウ信ジテ宜シウゴザイマスカ

○吉田政府委員 私共ハ確カニサウ云フ風ニナルト見テ居ルノデアリマス、又此ノ間カラ申シマスルヤウニ、繭値ト云フモノハ絲值カラ割出シテ作ル値デ買フノデハナイ、先程モ申上ゲマシタガ生産費カラ積ミ上ゲタ値段決メタ其ノ値段デ買フノデアリマス、ソレカラ作ツタ絲ノ値ガ後ニ至ツテ高ク賣レルカ、安ク賣レルカト云フコトニハ絶對關係ガナイ、全ク此ノ方面トハ絶緣シタ形ニ於テ繭價ハ決マリ、其ノ賣行ト云フモノガ定マルノデアリマス

○平野(力)委員 只今ノ御答辯ハツキリ一ツ信ジテ置キマス

次ニ商工省ノ纖維局長及ビ蠶絲局長カラ御答辯ヲ願ヒタイノハ、問題ニナツテ居リマス輸出生絲ト云フモノハ、從來ノ貿易商ニ一任シテヤラセル方ガ生絲ガ餘計賣レルカ、或ハ此ノ統制會社ガ直接輸出ヲヤルコトノ方ガ餘計ニ賣レルカ、而モ餘計高ク有利ニ賣レルカ、是ガ議論ノ焦點デアリマスルガ、蠶絲局長並ニ纖維局長ハ、此ノ輸出生絲ニ關シテハ從來ノ輸出商ニヤラスコトノ方ガ高ク且ツ有利ニ賣レルト云フ絶對ノ御自信ヲ持ツテ居ラレルカドウカ、明言ヲ願ツテ置キタイノデアリマス

○吉田政府委員 此ノ間カラ度々申シマスルヤウニ、非常ニ供給量ヲ少クシテ參リマスル場合ニハ、コツチガ決メタ値段通りニ賣レテ行クト云フコトハ考ヘラレマスルガ、輸出ノ方モ出來ルダケ出シタイ、斯ウ云フ考ヘ方デ參リマスルト、一本値ト云フコトニ致シマスルト、其ノ一本値ノ維持ガ困難デアルト云フヤウナコトニナリハシナイカト云

フ心配ヲ申シテ居ルノデアリマシテ、其ノ一本値決メタモノガ段々後退スルト云フコトニナリマスレバ數量ハ別問題ト致シマシテモ、外貨獲得ノ上カラ申シマシテモ不利デアル、且又度々下ルト云フヤウナコトニナリマスルト、安定デヤナク、不安定ニナル、斯ウ云フコトガ懸念サレルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ數量ノ問題デアリマスルガ、要ルダケノモノハ必ズ向フデ買フダラウカラ、數量ニハ大シテ變化ガナイデヤナイカ、斯ウ云フ見方モ一應出來ルカト思フノデアリマス、併シナガラ現在ノヤウニ多少ノ可動性ノアル生物ノヤウナ形ニナツテ居ル安定ト云フコトニ致シマスルト、同ジ數量ガ出ルニ致シマシテモ敏活ニ速カニ向フ方ニ取引ガ行ハレテ行ク、斯ウ云フ風ニ固ク私共ハ信ジテ居ルノデアリマス

○梶原政府委員 大體今蠶絲局長ノ言ハレタト同様ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、理論的ニ申シマスレバ、ドチラノ方ガヨリ澤山而モ有利ニ出シ得ルカ、直チニ結論ヲ付ケルコトガ困難カト思フノデアリマス、唯現實ノ問題トシテ色々考ヘテ見マスルト、國內ニ於キマシテモ非常ニ大キナ統制ヲ而モ短イ期間ニ完成シテ行カケレバナラナイ事態ニ在ル、同時ニ非常ニ大キナ部門デアリマスル輸出ノ方面モ此ノ際併セテヤルト云フコトニ相成ツテ來マスルト、理論的ノ問題ヲ離レマシテ、現實ニ色々困難、支障ガ豫想サレル譯デアリマス、隨ヒマシテ現在ノ事情カラ色々考ヘ合ハセマスルト、輸出ノ部門ニ於キマシテハ蠶絲局長ノ言ハレタヤウナ建テ方ニスル方ガ安全性ガアリ得ル形デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○平野(力)委員 私ハ今マデ理論ヤ色々ナ細カイ御説明ハ萬々承ツテ分ツテ居ルノデス、最後ニ承ツテ置キタイ點ハ、現在ノ此ノ政府提出ノ原案デオヤリニナツタ方ガ、輸出ノ絲ヲ高クヨリ多ク賣リ得ルノダト云フ自信ト信念ヲ持ツテ居ルカ、持ツテ居ラスカ、此ノ事ヲハツキリ一ツ御考ヘヲ聽キタイ、ソレハ實際問題トシテハ加藤委員ナドカラモ屢、御議論ガアツタヤウニ「アメリカ」ノ人ガ斯ウ言ツテ居ル、アア言ツテ居ルト云フヤウナ議論ハ或ル意味ニ於テ水掛ケ論デアル、ソレデ原案ヲ御出シニナツタ政府トシテハ、其ノ點ハ大丈夫ナンド、其ノ方ガ有利ナンドト云フ信念ガアルカナイカト云フ御發表ガナケレバ、結局本案ニ對シテ贊否ヲ決メル場合ニ容易ニ決マラス、此ノ中ニサウ云フコトニ專門的ナ特別ナ意見ヲ持ツテ居ラレル人モアリマセウガ、實際問題トシテ當局ノ信念ト肚ト見透シタガ問題ニナルノデアリマス、隨テ蠶絲局長、次官カラモ亦纖維局長カラモ原案ノ方ガ有利デアルト云フ言葉ガ得ラレルカドウカ、是ナンデス

○吉田政府委員 私ハ現在ノ政府ガ提出致シマシタ案デ進ミマスコトガ最モ宜シイ、斯ウ確信ヲ持ツテ居ル者デアリマス

○井野政府委員 私共此ノ案ヲ立テマス時ニ、是ハ最モ專門家ノ蠶絲局長並ニ貿易局長官デアル石黒君ノ意見ヲ色々聞キマシテ斯ウ云ツタ進ミ方ヲ取ツタノデアリマス、是ガドツチガ宜イカト云フ確信ノ問題ノ御質問デアリマスガ、現在ノ實情ヲ一ツ能ク考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、現在「アメリカ」ニ於ケル色々ノ實情ガ「ナイロン」或ハ人絹ノ進出ガ中々鋭ク出テ來

テ居ルト云フ場合、生絲ヲ賣リ弘メルニ付テハ成ベクヤハリ從來ノ行キ方ヲ能ク檢討シテ、此ノ行キ方ニ依ラセルコトノ方ガドチラカト云フト有利ニ捌キ得テ居ルノデアリマス、今ココ直グ之ヲ根本的ニ變ヘテシマフト云フコトニナルト「アメリカ」ノ狀勢ガ平時デアリマスレバソレモ亦或ハ研究スル餘地ガアルト思ヒマスガ、併シ事態ガ斯ウ云フヤウニ迫ツテ居ル時デアリマス、餘リ其處ニ手ヲ多ク付ケルト云フコトハ結局好マシイ結果ニナラナイノデハナカラウカ、デアアルカラ暫ク此ノ情勢ヲ見テ行クコトノ方ガ宜イノデアツテ、理論ニ於テ色々御議論ガアルガ、結局斯ウ云フ方向ヘ進ンデ行ク方ガ宜イノデハナイカト云フコトカラ、私ハ茲ニ結論ヲ付ケタノデアリマス

○梶原政府委員 先程申上ゲマシタ通りデアリマシテ、自信トカ或ハ確信ト言ハレル譯デアリマスケレドモ、結局之ヲヤツテ行ク上ニ於テ、現實色々豫想サレル困難ガ考ヘ得ル、色々支障ガ豫想サレル得ルノデアリマス、原案デ行キマスレバサウ云フ缺陷ハ少クトモナイノデアリマス、旁、原案デ行クコトガ現在ノ狀態ヲ以テ致シマスレバ好マシイ結果ヲ來シ得ル、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○平野(力)委員 此ノ問題ハ當局ノ答辯ガ餘リ複雑デナイ方ガ宜シイノデ、大體原案ノ方ガ絶對自信ガアル、斯ウ云フ御答辯ガアツタモノト解釋シテ進ミマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

次ニ甚ダ細カイ問題ニナルノデスガ、一寸纖維局長ニ伺ヒタイ、近時地方ニ於ケル農村ノ半農半工ト申シマスカ、傍ラ百姓ヲヤツテ居リマシテ機械ノ機械ヲ一臺ニ臺位持

ツテヤツテ居ル所謂小機業家ト云フモノガアリマシテ、之ニ對シテ生産統制上ノ命令ヲサレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、最近商工省カラ地方ヘ参リマシテ、是等ノ小サイ機業者ニ向ツテ之ヲ有限會社ト云フモノデ統制シナケレバ最早商賣ガヤレナクナルノダト云フ風ナ意味ノ演説ヲ商工省ノ或ル方々ガヤツテ居ル、斯ウ云フ内容ガアルノデアリマスガ是ハ言フマデモナク百姓ヲヤツテ傍ラ一臺ニ臺ノ機械ヲ持ツテ機屋ヲヤツテ居ル人ハ其ノ農業デ餘ツタ勞力デソレダケノコトヲヤツテ居ルノデ、是ガ會社等ニナルナラバ、サウ云フ勞力トナリマシテ、之ヲ斯ウ云フ有限會社等ニ直チニ統制サレルト云フコトガ國家的ニ見テ甚ダシク穩當デナイト云フコトガ地方ノ實情トシテ認マラレルノデアリマスガ、此ノ有限會社ニ代ル方法トシテハ小組合ヲ以テオヤリニナルト云フコトデアリマスナラバ、是等ノ點ハ相當緩和サレルト云フコトニナリマシテ、地方ニ於キマシテハ小組合ヲ以テ統制ヲシヨウト云フ意見ガ相當アルノデアリマス、併シ之ニ對スル有限會社ガ是ナリヤ、或ハ小組合ガ是デアアルカト云フ問題ハ未ダ明確ニナツテ居ラナイノデアリマスガ、此ノ際出來マスルナラバ、之ニ對シテ如何ナル方法ヲ御執リニナルコトガ宜シイカト云フコトヲ一ツ明確ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○梶原政府委員 御話ノ中小企業ノ問題デアリマスガ、段々原料絲等ノ供給ガ逼迫シテ参リマスニ連レテ、其ノ配給ヲ圓滑ニ適正ニヤツテ行キタイト云フコトト、出來上リマスモノニ付テ指定生産ト申シマスルカ、

全體ノ需給カラ割出シタ製品ヲ造ツテ貰フト云フ趣旨デ、此ノ兩者ガ皆行キマス爲ニ、成ベクバラ／＼ニ行カズニ纏マル所ハ纏メテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨デ地方ニ御願ヒ致シテ居ル譯デアリマス、御話ノ有限會社、是モ所ニ依リマシテハサウ云フ行キ方ヲ取ルコトガ相當效果ヲ擧ゲルト云フ所モアルノデアリマス、又有限會社ト云フ形ヲ取り得ナイヤウナ實情ニアル所デハ、御話ノ工業小組合ニ依ツテ其ノ目的ヲ達シテ行クト云フノデモ結構デアリマス、商工省ト致シマシテハ斯ウ云フ形デナクチャナラスト云フ指示ハ致シテ居ラナイノデアリマシテ、其ノ地方ニ於キマスル實情、其ノ企業ノ是マデノ實體ト云フモノニ適應シタ形ヲ選ンデ行キヤウニト云フコトデ來テ居ルノデアリマス、殊ニ企業ノ小サイ機械ニナリマスルト、御説ノ如ク家内工業ト申シマスカ、副業ニヤツテ居ルモノガ多イノデアリマス、ソレ等ニ付キマシテハ寧ろ有限會社ト云フ形ヨリモ、工業小組合ノ形ノ方ガ實體的ニ見テモ好マシイト云フ考ヘノ下ニ、工業小組合ノ形ヲ選ブ方ガ適當デアルト云フ趣旨ノ指示ヲ致シテ居ル譯デアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平野(力)委員 是ハ相當ノ有限會社デナケレバモウヤツテ行ケナイノダト云フ演説ヲハツキリサレタトハ無論私共ハ信ジテハ居リマセス、併シナガラ御話ノ向キト云フモノガ大體サウ云フモノヲ強制サルル意思ヲ以テ話サレルモノデスカラ非常ニ動搖ヲ與ヘテ居リマスノデ、特ニ此ノ點ニ付テハ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

最後ニモウ一點デゴザイマス、是モ既ニ御答辯ガアリマシタコトデ洵ニ恐縮スルノ

デアリマスガ、玉蘭、中下繭ト云フモノハ此ノ會社デハ扱ハナイ、大體斯ウ云フ御答辯ガゴザイマシタ、ソコデ然ラバ、ソレハ相當永久ニ互ツテ玉蘭、中下繭ト云フモノハ統制會社カラ除外サレルノデアアルカ、是ハ一時的ナ問題デアアルカ、ソコヲ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○吉田政府委員 出來得ルコトナラバ、理想トシテハ此ノ間申シマシタヤウニ、總テノ繭ヲ統制シテ公正ニ配給スルト云フコトガ適當デアルト云フ根本的ノ考ヘハ私共持ツテ居ルノデアリマス、併シ此ノ會社ノ大綱ノ所ハ上繭、生絲ト云フ所ニアルノデアリマスシ、且又若シ中下繭等ヲ除外致シテ置キマシタ結果トシテ、或ハ上繭ヲ取扱ツテ居ル方面ニ中下繭ガ皆集マルト云フヤウナコトニデモナリマスルト、却テ弊害ガアル、ト申シマスノハ金ノアル方ニ行ツテシマフ、今日中下繭ハ中小製絲家ノ繰絲原料トシテ、先ヅ小サナ所ヘ廻ツテ居ルモノト私共ハ想像シテ居リマス、ソレガソツチヘ流レナイデ、統制會社デ統制シナカツタ結果トシテ大製絲ノ方ニ行ク、大製絲ノ方ハ上繭ガ少クナツタ結果トシテサウ云フモノヲ買漁ル、斯ウ云フヤウナコトニナリマス、ト、中小製絲ノ方デハ非常ニ困ルコトニナリマス、サウ云フコトニナリマス、會社ノ方デハ寧ろ一手ニ配給スル、斯ウ云フコトニセザルヲ得ナイヤウナコトニナリハシナイカ、斯ウ云フコトニナラナケレバ、寧ろ私ハ統制シナイ方ガ宜イカト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニアリマシテモ、配給ノ方ノ割當ハ會社ノ方デヤリマスガ、集荷ノ方ハ無論從來通り續ケテヤルノデアリマス、唯サウ云フ懸念ガアルノデアリマス、サウ

云ツタコトニ依リマシテ統制ノ結果弱イ製  
絲家ノ方ニ原料ガ廻ラスト云フヤウナコト  
ニナラナイヤウニト云フコトヲ念願致シテ  
居ルノデアリマス

○平野(力)委員 サウスルト集荷ノ方ハ可  
ナリ永久的ニヤラス、斯ウ解釋シテ宜シウ  
ゴザイマスカ

○吉田政府委員 集荷ノ方ハ永久ニ考ヘテ  
居ルノデアリマス、唯薩ヲ會社ニ集メテ配  
給スルト云フコトニシナイデ會社外ニ置ク、  
斯ウ云フコトガ宜シイカト思フノデス、併  
シサウヤリマススト金ノアル方デ買漁ツテシ  
マツテ、商人ノ手カラ大製絲ノ方ノ手ニ皆  
集マルト云フコトニナツテ、現在ニ於テハ  
サウ云フモノガ小サナ製絲家ニ廻ツテ居ツ  
タノガ廻ラヌヤウニナルノデヤナイカ、斯  
ウ云フコトガ起リハシナイカト云フ心配ヲ  
持ツテ居リマス、ソレヲ防グニハドウシテ  
モ會社ニ一旦集メマシテ、會社デ公平ニ分  
ケテヤルト云フヤウナコトモ考ヘザルヲ得  
ナイヤウナコトニナリハシナイカ、斯ウ思  
ツテ居ルノデアリマス、ソレダケノ懸念ガ  
アルノデアリマス

○平野(力)委員 ソレニシテモ現在ノ斯ウ  
云フ業者ハ非常ニ複雑ニナツテ居ルヤウデ  
アリマスカラ、假ニ會社ガ今御扱ヒニナラ  
ヌトシテモ、會社ニ何等カノ命令ヲ發シテ  
一ツノ組合ヲ作ルトカ、何等他ノ方法ヲ執  
ラレル御意思ガアルカドウカ、扱ハナイト  
スレバ唯現狀ノ儘デ放任シテ置クト云フコ  
トニナルノデアリマスカ

○吉田政府委員 會社ニ集荷致サナイデ  
モ、大體其ノ賣場所ト云フモノ、配給ト云  
フモノニ付キマシテハ指圖ヲスル、要スル  
ニ先程申シマシヤウナ心配ノ結果ガ餘リ

起キナイヤウニ配給ニ付テ指圖ヲスルト云  
ツタヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス  
○平野(力)委員 大體ニデ私ノ質問ハ終リ  
マスガ、最後ニ一ツ興亞院ノ方ニ希望ヲ申  
上ゲマス、先程私ガ伺ツタコトニ對シテノ  
御答辯ガ餘リ明確デナカツタコトニ付テハ  
問題ガ問題デスカラ諒承スルノデアリマス、  
併シ例ヘバ華中蠶絲ガ支那ノ蠶蠶業ニ付テ  
ハ斯ウ云フ指導方針ヲ以テ是ダケ良ク指導  
シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトガアレバソ  
レハヤハリ御發表ニナツテ然ルベキダト思  
ヒマス、又支那ノ蠶蠶業ガ斯ウ云フ風ニ發  
展スル爲ニハ日本ノ蠶蠶業ノ程度ヲ斯ウ云  
フ風ニシテ、相當ニ生産費ヲ下ゲルダケノ  
考ヲ持タナイト日本ノ蠶蠶業ト支那ノ蠶蠶  
業ハ併立シナイ、カルガ故ニ華中蠶絲ノ使  
命ハ斯ウ云フコトデアル、ト云フコトニ付  
テハ、興亞院ト致シマシテハ一ツ適當ノ機  
會ニ吾々ニモウ少シ安心ヲ與ヘラレルヤウ  
ナ答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是  
ハ私ハ只今其ノ答辯ハ要求致シマセスガ、  
ヤハリ何トナク日本ノ蠶蠶業ト支那ノ蠶蠶  
業ト云フモノニ付テハ吾々ノ頭ニ一抹ノ不  
安ガ殘ツテ居ルノデアリマスカラ、若シ出  
來ルナラバ適當ノ機會ニ興亞院トシテ、支  
那ノ蠶蠶業ト日本ノ蠶蠶業ノ根本對策ニ付  
テ華中蠶絲ハ是レノ方針デアルト云フ  
コトヲ此ノ委員會ニ御發表願ヘレバ幸ヒダ  
ト思ヒマス、私ノ質問ハ大體之ヲ以テ今日  
ハ終リマス

○高橋委員長 小野寅吉君

○小野(寅)委員 私ハ乾繭組合ノコトニ付  
キマシテ極ク簡單ニ二三御尋ネ致シタイト  
思ヒマス、本統制法案ガ成立致シマス、  
乾繭組合トノ關係ガ如何ニナルノデアリマス

カ、御意見ヲ承リタイト思ヒマス  
○吉田政府委員 此ノ會社ハ蠶蠶家カラ買  
ヒマシテ、之ヲ製絲家ニ配給致スノデアリ  
マスガ、其ノ間ニ於キマシテ繭ヲ乾燥シテ  
行ク部分モ相當アルト思ヒマス、又生デ製  
絲家ニ直チニ移スト云フ場合モアルト思フ  
ノデアリマシテ、現在乾繭組合ノ「メン  
バート」シテ一箇所ニ集メテ乾燥シテ販賣シ  
テ居ルヤウナ蠶蠶家ノ繭ハ、現在通り乾繭  
組合ノ場所ニ集荷シテ、其處デ乾燥加工サ  
レテ、會社ノ方デ買取ル、斯ウ云フコトニ  
ナルト思フノデアリマスガ、要スルニ此ノ  
會社デ此ノ設備等ヲ或ハ買取致シマススト  
カ、或ハ借受ケテ致シマスストカ、現在乾繭  
組合ノヤツテ居ルヤウナコトヲ會社ノ直營  
デ原則トシテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ考  
ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス

○小野(寅)委員 能ク分リマシタガ、將來  
乾繭組合ヲ買收スルト云フ御意思ハナイノ  
デアリマスカ、今ハツキリシマセスガ、ド  
ウ云フ御考ヘデアルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタ  
イ

○吉田政府委員 買收ヲ致スモノモアリマ  
セウシ、ソレカラ賃借リヲ致シマシテ、乾  
燥致シマス場合モアリマセウシ、此ノ間ド  
ナタカノ御話ニモアリマシタガ、一定ノ料  
金デ委託デ乾燥サセルト云フヤウナ場合モ  
ドウカト云フヤウナ御話デゴザイマシタ  
ガ、是モ私一ツノ方法トシテ考ヘテ宜イノ  
デヤナイカト思ツテ居ルノデアリマス

○小野(寅)委員 能ク分リマシタガ、私は  
ハ希望トシテ申上ゲテ置キマスガ、申スマ  
デモナク乾繭組合ハ、蠶蠶、製絲ナドト違  
ヒマシテ、中途カラ起ツタモノデゴザイマ  
ス、蠶蠶家ト製絲家ト繭ノ賣買ニ付キマシ  
テ、非常ナ摩擦ヲ續ケテ居リマシテ、ソレ  
ヲ緩和スル爲ニ、政府ハ特別ノ獎勵ヲ以テ  
マシテ、大正十二三年頃乾繭組合ヲ強制的  
ニ御獎勵ニナツタノデアリマス、私ナドモ  
ソレカラ經營致シテ居リマスガ、此ノ乾繭  
組合ナルモノハ、俗ニ言フ、元カ損カト云フ  
ヤウナコトデ、蠶蠶家ノ爲ニ犧牲ニナツ  
テヤツテ居ルモノデアリマシテ、營利的  
ナ組合ニナツテ居ラスノデアリマス、爾來  
今日ニマデ至リマシテ、相當蠶蠶家ノ爲ニ  
ハ、盡シ金融カラ、蠶蠶家ニ必要ナ物品ノ買  
入カラ、又乾繭檢定ヲ致シテ、繭ノ販賣ニ  
付テモ責任ヲ以テ販賣ヲ致シ、相當大キナ  
事業ヲ致シテ、少クモ十萬圓、十五萬圓、  
二十萬圓ト云フヤウナ固定資本ヤ何カノ負  
債ガ皆殘ツテ居ル、是ハ皆役員ガ個人保證  
ヲシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ大責任  
ガアルノデアリマシテ、政府トシテモ亦特  
ニ獎勵ヲシタノデアリマスガ、此ノ會社ガ  
出來マス、モウ使命ヲ果シテ、何モ用ガ  
ナクナルノデアリマスカラ、唯請負ヲシテ  
繭ノ乾燥ヲシテ行クト云フ位ノコトデハ立  
行カナイノデアリマス、是ハドウシテモ買  
收ヲ御願ヒスルヨリ外ニ途ハナイ、サウセナ  
ツタナラバ、非常ナ摩擦ガ起キルノデアリ  
マス、ナゼナラバ、今ノ乾繭組合ノ乾繭費  
ガ如何様ニナツテ居ルカト云ヘバ、非常ニ  
高イノデアリマス、百匁ニ付テ一錢八厘カ  
ラ二錢モ取ツテ居ルノデアリマス、其ノ高  
イモノハ即チ蠶蠶家ノ負擔デアリマス、養  
蠶家ハ是ハ唯一ノ武器デアリマスカラ、ソ  
レヲ忍ンデ乾繭費ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、  
其ノ爲ニ立ツテ居ル組合デゴザイマスカラ、  
今回ノヤウニ統制會社ガ出來マス、中々  
料金ノ協調ハ困難デアルト思ヒマス、今マ

第六類第二十號 蠶絲業統制法案委員會議錄 第七回 昭和十六年二月十八日

一四五

デノヤウニ養蠶家ガ特ニ犧牲ニナツテ居ルヤウナ譯ニハ行クマイ、非常ナ摩擦ガ起ルト思ヒマス、又一番困ツタコトニ斯ウ云フコトガ一ツアリマス、今マデノ製絲家ハ皆乾繭機ヲ持ツテ居ルノデアリマス、持ツテ居ルナラバソレデ乾繭シテ宜シイヤウデアリマスガ、繭ノ賣買ニ付テ却テ摩擦ガアル爲ニ、ソコデ乾繭組合ヲ獎勵シテヤラシテ居ルノデアリマス、所ガ先日ノ局長ノ御答辯ニ依リマス、生繭ノ販賣ヲシテヤルト云フコトデアリマスガ、サウスルト乾繭組合ハ廢業ニナツテ、何モ用ハナクナル、乾繭組合ハ色々ト言ハレテ居リマスガ、私ハ不思議ニ思フノデアリマス、乾繭組合ハ、ソレヲ研究シタラ恐レベキコトニナルト思フノデアリマス、ソレデ能ク政府ノ方デモ一ツ御考慮願ヒマシテ、是非ハ買収シテ戴キタイ、ソレヨリ外ニ途ハナイト思フ、中ニハ非常ニ缺損ヲシテ負債ヲ持ツテ居ルモノモアル、是ハ何トカ整理シナケレバナラスガ、兎ニ角普通ノモノハ皆買収致スガ宜カラウト思フ、大正十二三年カラ昭和ニ掛ケテ起ツタ乾繭組合ハ洵ニ迷惑デアアル、政府カラ設計ヲ示シテ、アノ大キナ鐵筋「コンクリート」ノ倉庫ヲ拵ヘサセタガ、アノ倉庫ハ繭ノ貯蓄以外ニ何モ用ヲナサナイ、ソレヨリモ土藏ノモノノ方ガ却テ繭ノ貯藏ニモ能ク耐ヘ得ルト云フノデ、皆米繭倉庫用ミタヤウナモノヲ持ツテ居リマスガ、ソレナラバ金高ニシテ十分ノ一モ掛ラナイデ出來ル、固定資本モ掛ラナイト云フ非常ニ便利ニナツテ居ル、所ガ一方ノ乾繭倉庫ノ方ハ政府カラ示シテ設計通りヤラナケレバ補助ヲヤラナイト云フノデ、強制的ニアンナ建築ヲシタノデアリマス、ソレガ今日若シ

乾繭ト云フコトヲヤラサスト云フコトニナツタラ、ソレハモウ何ノ用モナサナイ、洵ニ困ツタ倉庫デアリマス、ソレデハ一ツドウシテモ買収スルコトニ御努力ヲ願ヒタイト思フ、ソレヨリ外ニ途ガアリマセヌ、又乾繭ノ取引デモ、繭ガ良イノ惡イノト云フコトデ百匁ニ付テ十錢位モ價格ガ違ツテ來ル、是ハ餘程重大デアアル、ソレヲヤツテ居リマスガ、是ハ請負仕事ノヤウニナリマスト、必ズ又非常ナ紛議ガ起ルダラウト思フ、ソコデ請負ト云フコトニナリマス、是ハ中々容易ナラスコトニナルト思ヒマ、斯ウ云フヤウナコトヲ色々考ヘテ見マスト、是ハ買収シテ貰フノガ一番宜シイト思フ、サウシナイト統制會社ト云フモノモ鞏固ニナルマイト思フ、ドウカ此ノ點能ク御考ヘ願ヒタイ、斯ウ云フ希望デアリマス

次ニ蠶種ニ付テ伺ヒタイノデスガ、私ハ蠶種モ經營シテ居リマスガ、此ノ會社デ蠶種ヲ皆ソレノ配合スルコトニナリマセウガ、蠶種ヲ製造致シマスノニ、私共ノ方デハ賣リ先ノナイモノハ拵ヘサヤウニシテ居リマスガ、段々御話ヲ承リマス、仲買人ガドウノ斯ウノト言ツテ、賣場モナイノニ註文シタリシテ非常ナ餘剩蠶種ガ出來テ居ル、私ノ考ヘル所デハ今全國ニ餘剩蠶種ガ二割ドコロデハナイ、三割モ、時ニ依ツテハ四割位モアルト思フ、而モサウ云フ蠶種ヲ拵ヘマスト、半額ノ金額モ手許ニ入ラスカラ、粗製濫造ヲスルト云フコトニナル、コンナ仲買人ガ中間ニアルト云フコトハ實ニ不都合千萬デアアル、ソナ賣場ノナイヤウナモノヲ粗製濫造シテ居ツテモ、ソレヲ權利ダト言ハレルノト餘分ナモノハ製造セスト云フ者ノ權利トハ非常ニ違フ、ソコラハ能ク御考

ヘヲ願ツテ、調査ヲ精密ニシテ戴カストドウモ大變ナ問題ダト思フ、之ニ對シテ何カ御考ヘガゴザイマスレバ、御答辯願ヒマス

○吉田政府委員 蠶種ノ製造實績ニ付キマシテ、只今小野サンノ御述べニナリマシタヤウナコトハ、細カク實情ヲ調べマストアルコトト想像致シマス、併シ此ノ割當ヲ決メマス方式ニ付キマシテハ、各團體等デ十分研究ヲシテ貰ヒ、智慧ヲ借りテ公正ナル割當方式ヲ定メマシテ、今小野サンノ仰シヤツタヤウナ不公平ナコトニナラヌヤウニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、此ノ點ハ何時モ申シマスヤウニ、役所ノ者ダケデ考ヘマシテモ中々實情ニ合ハヌモノガ相當多ウゴザイマスノデ、斯ウ云フ實際問題ニ付キマシテハ、團體其ノ他其ノ道ノ權威者、經驗者、實際家ノ十分ナル意見ヲ主トシテ參酌スル必要ガアラウト考ヘ居リマス

○小野(實)委員 今ノ全國ノ乾繭機ノ設備デ、會社ニナリマシテモ差支ヘナイソデゴザイマスガ、新タニ据付ケナケレバナラス所ガアルノデアリマスガ、一寸ソレヲ伺ヒタイ

○吉田政府委員 乾燥及ビ貯藏ノ設備ハ、現在ソレノ或ハ乾繭組合或ハ製絲家、或ハ市場等ニ散在致シテ居リマスモノヲ總動員致シマスレバヤツテ行ケルモノト思ツテ居リマス

○小野(實)委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○高橋委員長 羽田君

○羽田委員 私數點ニ互リマシテ、要點ヲ擧ゲテ御質問シタイト思ヒマス、先ヅ第一點ハ、養蠶農家ト致シマシテハ日米關係ノ逼迫セル情勢、又桑園ノ整理、或ハ蠶絲統

制會社ヘノ切替ノ最近ノ實情ト云フモノハ、所謂過渡期ノ惱ミト言ヒマスガ、非常ナ不安ナ狀況ニアルト思フノデアリマス、併シナガラ數日來ノ政府ノ方針ヲ御聽キシマスト、養蠶農家トシテ重要ナル繭ノ値段ハ、要スルニ絲ノ値段デ左右サレナイデ、生産費其ノ他ノ積上ダタモノヲ基準トシテ繭値段ヲ決メルト云フ御話デゴザイマスガ、蠶絲委員會ニ依ツテドウセ今年ノ繭ノ生産費モ決マルノデアリマセウケレドモ、ヤハリ農家ノ一番簡明直載ニ分ルコトハ、一體今年ノ繭ノ値段ハ一貫目幾ラカト云フコトデ、是ガ此ノ動搖セル農家ヲ安定セシメル一番大キナ「スローガン」ダト思ヒマスガ、一體今年ハ一貫目ドウノ位ノ見當ニナリマスカ

○吉田政府委員 本年ノ繭價ガ幾ラカト云フ具體的ノ數字ニ付キマシテハ無論私共マダ御答ヘ出來得ル段階ニ至ツテナイノデアリマス、先程申シマシタヤウナ方式ニ依リマシテ十分ニ生産費ノ基本支出ヲ能ク調査致シマシテ、色々「フアクター」モ考慮ニ入レマシテ實ハ蠶絲委員會デ御決定ヲ願ヒマシテ、ソレデ決メテ參ルノデアリマス、但シ是ハ初メノ年ニハドレダケニナルカト云フコトハ問題デアリマセウガ、爾後ハ殆ド、社會情勢、物價其ノ他ノ關係ガ著シク變ラザル限リソレガ續イテ行クモノト思ヒマスノデ、爾後ノ年カラハ大體ソレデ見當ノ付クモノ、斯様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○羽田委員 吉田蠶絲局長ハ長野縣ノ岡谷ニ先達テ參ラレテ、一貫目七、八圓位ノ所ダラウト云フコトヲ公開ノ席デ言明サレテ居リマスルガ、ソレハ勿論正式ニ委員會ニ於キマシテ精密ナ調査ヲ致シマシテ、肥料

ノ問題、桑園ノ小作料、或ハ土地ノ利子、蠶具、勞銀、或ハ消耗品其ノ他經濟事情等ヲ斟酌シナケレバ、此ノ値段ハ正式ニハ出マセヌデセウガ、此ノ間言ハレマシタ一貫目七、八圓ト云フヤウナ見當ニ心得テ宜イデセウカ

○吉田政府委員 私岡谷デ七、八圓ト云フコトヲ申シタカドウカハツキリハ覺エテ居リマセヌ、申サナイトモ申サレマセヌケレドモ、從來七、八圓程度ナラ宜シイト云フヤウナ聲ハ方々カラ聽イテ居ルノデアリマサガ、私岡谷デサウ云フコトヲ申シタカドウカハ一向記憶ハ致シテ居リマセヌガ、何レニ致シマシテモ今七圓トカ八圓トカ云フヤウナ具體的ノ數字ニ付キマシテ何モ決定的ナ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、其ノコトヲハツキリ申上ゲテ置キマス

○羽田委員 岡谷デ申サレタコトハ事實デアリマシテ、長野縣デハ其ノコトヲ言ツテ居リマス、七圓ナラ七圓、八圓ナラ八圓ト云フコトヲ見當トシテ全國ノ農家ガ心得テ置イデ宜イコトデスカラ、農家ヲ安定セシメル意味ニ於テ一ツ御伺ヒシテ置キマス

○吉田政府委員 只今モ申シマス通りニ價格ノ問題ハ精密ナル基礎材料ヲ基準ニ致シマシテ、諮ルベキ機關ニ諮ツテ決定サレルノデアリマシテ、事前ニ於テ吾々ガ幾ラダト云フヤウナ見當ヲ——具體的ナ數字ヲ申上ゲルコトハ其ノ段階ニ到達シテ居ナイノミナラズ、適當デナイト思ヒマスカラ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○羽田委員 ソレデハ其ノ問題ハ今其ノ時期デナイト言ハレマスシ、當局ノ立場トシテハ無理モナイト思ヒマスカラ、是レ以上ハ申シマセヌ

次ニ私ハ今回ノ蠶絲統制ガ實施セラレマスコトニナリマス、先ヅ第一ニハ養蠶方面ニ於キマシテハドウシテモ羊毛代用ノ繭ヲ作ラセルト云フコトニナリマス、ドウシテモ養蠶技術員ナリ或ハ養蠶ノ指導員ト云フヤウナモノヲ充實ラシテ、實際ニ第一線ニ立ツテ農家ヲ指導スル必要ガアルト思フノデアリマス、然ルニ全國ノ養蠶町村ノ中デ技術員乃至指導員ヲ持ツテ居リマサルモノハ、僅カニ其ノ三分ノ一ニ過ギナイヤウナ實情ニアルト思フノデアリマス、農林省ト致シマシテハ此ノ法案ヲ實施スル上ニ付キマシテ、更ニ是等ノ現在ナイ所ノ町村ニ對シテ之ヲ増員スル意見ヲ持ツテ居ラルカドウカ、之ヲ先ヅ御尋ネ致シテ置キタイ

○吉田政府委員 今後此ノ制度ガ出來テ參リマスルト、養蠶ノ對策ト云フモノハ餘程飼育ノ指導ト云フコトニ、最モ力ヲ入レルベキ狀態ニ相成ツテ參ルモノト想像致シテ居ルノデアリマス、隨テ現在指導員或ハ指導員ノ數ノ問題、斯ウ云フ點ニ付テ吾々モ、尙ホ遺憾ノ點ガ多アルト存ジテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今後ハ此ノ會社モ餘程此ノ點ニ思ヒヲ致シ、又力ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、今後ハ此ノ會社ガ養蠶方面ニ對シマシテノ指導ト云フコトニ相當力ヲ入レル、隨テ斯様ナ施設モ會社トシテ講ジテ行クト云フコトニ致ス、實行ノ方法ト致シマシテハ養蠶ノ團體等トモ連繫ヲ取リマシテ、指導ニ遺憾ノナイヤウニシテ行クト云フコトガ極メテ大事デアルト思ツテ居ルノデアリマス

○羽田委員 只今ノ御話ニ依リマスルト、此ノ會社ガ是等ノ指導員ノ費用ヲ出スト云フ意味デアリマス、或ハ國ガ、之ヲ計上スルト云フ意味デアリマス

○吉田政府委員 私ハ出來得ル限り此ノ會社デ出ス方ガ極メテ宜シイノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 諒承致シマシタ、次ニハ現在ノ指導員諸君、或ハ技術員ノ俸給ノ問題デアリマスルガ、現在大體四十五圓ヲ標準ト致シマシテ、其ノ三分ノ一ヲ國家ガ持チ、府縣ガ三分ノ一ヲ持チ、又直接利益ヲ受ケル農家ニ於テ三分ノ一ヲ負擔スルト云フヤウナ標準ニナツテ居ルノデアリマスルガ、今日ノ物價、勞銀ノ關係カラ申シマシテモ、日傭ニ傭ハレル勞働者ノ方ガ三圓モ四圓モ賃金ヲ取ルニモ拘ラズ、此ノ指導者ノ方ニ於テ四十五圓デアアルト云フコトハ如何ニモ薄給デアツテ、是等ノ技術員指導員ニナリ手ガ少イ、デアリマスカラ是等ノ生活ヲ安定スル爲ニ相當ノ國家ノ補助ヲ増額スル必要ガアラウト思フノデアリマスルガ、斯ウ云フ點ニ付テノ政府ノ御意思ハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 指導員ノ現在ノ待遇ニ付キマシテ遺憾ノ點ガアルコトハ御説ノ通りト思ツテ居リマス、斯ウ云ツタ問題ハ今後指導網ガ段々改善サレテ行キマスニ付キマシテ、斯様ナ點モ併セテ改善シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス

○羽田委員 今回ノ統制ニ依リマシテ、蠶種カラ養蠶、製絲、販賣マデ一貫シタ統制ガ行ハレルコトニナツタノデアリマスルガ、斯ウシタ一貫統制ガ行ハレル際ニ於キマシテ、産業組合ノ製絲ト云フモノヲ何故是カラ除外シテ居ルカト云フコトヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○吉田政府委員 御承知ノ通り、産業組合製絲ト云フモノハ養蠶家ガ自分デ生産致シマシタ繭ヲ自分等仲間デ繰絲製絲設備ヲ共同ニ致シマシテ、自己ノ生産シタルモノヲ製絲加工致シマシテ絲ニシテ賣ル、斯ウ云フ組織デアアルノデアリマシテ、産業組合ノ製絲ト致シマシテ自分ノ作ツタ繭ヲ賣ル、サウシテ他カラ繭ヲ買入レテ之ヲ繰絲スルト云フコトハ産業組合デハ法制上出來ナイコトニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、斯ウ云フ事實ニ今日ハナツテ居ル、ソコデ此ノ會社ガ出來マシテ養蠶家ノ作ツタ繭ヲ原則的ニ買入レル、斯ウ云フ建前ヲ取ツテ居ルノデアリマスルガ、斯様ナ産業組合、要スルニ自己ノ作ツタモノヲ自己ノ設備デ繰絲ニマデシテ賣ル、斯ウ云フ現在ノ設備ガアル以上ハ是ハ此ノ儘ニ認メテ置イテ決シテ根本的ニ矛盾スルモノデハナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘマシテ、産業組合製絲ヘノ供繭ト云フモノニ付キマシテハ、會社デ一旦買ツテ、サウシテ之ヲ更ニ其ノ産業組合ニ賣ルト云フヤウナ手續ヲ執ル必要ハナカラウ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○羽田委員 一體組合製絲ト云フモノガ何故出來タカト云フコトヲモツト考ヘ、根本的ナル蠶絲ノ改革ヲシヨウト云フ際デアリマスルカラ、モウ一回更ニ深く最初ニ戻ツテ考ヘル必要ガアルノデヤナイカト思フ、今マデノ企業的ナ營利的ナ製絲業ニ對シマシテ、此ノ不利益ヲ弱イ養蠶農家ガ自ラノ力ニ依ツテ「カバ」シヨウ、克服シヨウ、斯ウ云フ所ニ産業組合製絲ト云フモノガ出來タト思フノデアリマス、然ルニ今國策トシテ此ノ一貫セル統制ヲ行フ所ノ會社ガ出來ルト斯ウ云フコトニナリマスレバ、是ハ

第六類第二十號 蠶絲業統制法案委員會會議錄 第七回 昭和十六年二月十八日

當然蠶ノ發展のノ解消ヲ組合製絲トシテハ  
ヤツテ、此ノ國策會社ノ中ニ統合シテ參ラ  
ナケレバナラヌト、斯ウ云フ私ハ信念ヲ持  
ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デ  
アリマスカ

○吉田政府委員 産業組合製絲ノ發生ノ原  
因、沿革等ニ付キマシテハ仰セノ通りデア  
リマシテ、非常ニ絲値が高イノニ繭價が其  
ノ割ニ高クナイト云フヤウナ不合理ガ會テ  
アリマシタ實情カラ、自然斯ウ云フモノガ  
發生致シテ參ツタコトハ其ノ通りデアリマ  
ス、今日此ノ制度ガ出來マシテ、今後ハ繭  
價モ適正ニ、絲値モ適正ニナルト云フヤウ  
ナコトニナツテ、其ノ間合理的ニ總テガ參  
ルト云フコトニナリマスレバ、先程申上ゲ  
マシタヤウナ理由カラ、所謂其ノ存在ノ意  
義ガ餘程變ツテ來ルモノト考ヘマス、隨ヒ  
マシテ今後ハ斯様ナ考ヘ方カラドシ、組  
合製絲ガ出來テ行クト云フヤウナコトハ是  
ハ餘リ考ヘテ居ラスノデアリマスガ、少ク  
トモ出來上ツテ居ル現在ノ組合製絲ノ意義  
ガ比較的ナクナツタコト云フダケノ理由デ、  
何モ此ノ制度トハ矛盾衝突ヲ來サナイ、此  
ノ際發展の解消トハ申シマスモノノ、急ニ  
止メサセルトカ、廢止スルト云フヤウナコ  
トモ適當デナカラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノ  
デアリマシテ、サウ云フ意味デ現在ノ産業  
組合製絲ヲ其ノ儘、有リノ儘ニ置イテ是認  
シテ行クト申シマスガ、認メテ行クト斯ウ  
云フ態度ヲ執ツテ居ルノデアリマス

○羽田委員 一體此ノ法案ヲ立案スルニ當  
ツテ、蠶絲當局トシテハ産業組合製絲ノ問  
題ニ付テ根本的ニ御考ヘニナツタノデスカ、  
其ノ點ヲ伺ヒタイ

○吉田政府委員 能ク考ヘタノデアリマス、

此ノ問題ニ付キマシテ一番難カシイ問題ハ、  
供繭ト云フコトガ果シテ正確ニ行クダラウ  
カドウダラウカト云フ問題デアリマス、繭  
値ノ所デ一旦仕切ラナイト云フコトニ致シ  
マシテ、絲値ノ所デ仕切ルト申シマスガ、  
絲値ノ所デ仕切ルトコトニナルト、營業製絲  
ト組合製絲トノ間ニ、供繭ノ價值ノ均衡ヲ  
失スルヤウナコトニナリハシナイカト云ツ  
タヤウナ議論ガアルノデアリマスガ、供繭  
ノ問題ニ付キマシテハ無論組合製絲ニモ依リマス  
ガ、ガツチリ固マツテ居ル所ハ極メテ明確  
デアリマスルシ、胡麻鹽のニナツテ居ルヤウ  
ナ所ハ、何レハ養蠶團體デ、其ノ管下ニ於  
テ生産サレタ繭ヲ繙メルノデアリマスカラ、  
ソコデ繙メマシテ其ノ中カラ大體從來ノ供  
繭ノ實績ヲ調ベマシテ、ソレダケノモノヲ  
其ノ組合ニ對シテ分ケテ、他ヲ養蠶團體デ  
集荷シテ會社ニ送ル、斯ウ云フヤウナ方法  
ヲ講ジマスレバ、實行ハサマデ困難デナイ  
デハナカラウカト云フ風ニ考ヘマシテ、サウ  
云フ風ニシタラ宜カラウト考ヘテ居ルノデ  
アリマス、ソレカラ價值ノ問題デ不均衡ニ  
ナリハシナイカト云フ議論ガアリマスガ、  
私ハ理論ノ上ニ於テハ不均衡ニナルトハ考  
ヘテ居リマセヌ、併シ實際問題トシテ若シ  
不均衡ト云フコトニナリマスレバ、コソノ  
所デ調節ヲ取ル、所謂買ツテ賣ルト云フ形  
式張ツタ形ハ取ラナイニシテモ、或ル程度  
ソコヘ揃ヘルダケノ何等カノ方策ヲ執ル、  
斯ウ云フコトヲ致シマスレバ敢テ營業製絲  
ト組合製絲トノ間ニ不均衡ハナクナルコト  
ト思ヒマス、サウ云フ點ヲ實行致シマスレ  
バ宜カラウト考ヘマシタノデ先程申シマシ  
タヤウナ考ヘヲ入レタ譯デアリマス

○羽田委員 現状ハソレデ宜シイトシテ、

將來一體産業組合製絲ト云フモノニ對シテ  
一貫統制ノ強化ト云フ建前カラ行クト、輸  
出絲ノ統制トカ或ハ自由主義トカ云フ問題  
ヨリモ、國內ノ問題デスカラ簡單ニ片付ク  
問題デアリ、又組合製絲ニ——サウ云フ點  
ニ付テハ色々御苦心モアリマスガ、寧ロ  
組合製絲ト云フモノハ、ヤハリ國策ノ中ニ  
一貫シテ統合シテ行クト云フ方法ノ方ガ折  
角此ノ案ヲ出シタ以上ハ行クベキ途デハナ  
イト思フノデアリマスガ、將來ニ對シテハ  
ドウ云フ方針、ドウ云フ考ヘ方デ進マレル  
積リデゴザイマスカ

○吉田政府委員 私共ノ産業組合製絲ニ付  
キマシテ現在考ヘテ居リマスコトハ今申シ  
マシタ通りデ、ソレ以上ノコトハ考ヘテ居リ  
マセヌ、併シ實際上今後ノ結果ヲ見マシテ  
更ニ適當ニ或ハ解消サセルトカ改組サセル  
トカ云フコトガ宜シイト云フ情勢ガハツキ  
リ致シマスレバ、其ノ時ニ今後ノ方策ヲ立  
テルモ遅クハナイ、現在考ヘテ居ル通りヤ  
ツテ見テ、是ハ寧ロ改組サセルトカ或ハ株  
式會社ニスル方ガモツト宜シイ、營業製絲  
ニスル方ガモツト宜シイト云フ實情ニナツ  
テ參リマシタ際ニハ、又研究致シマシテ次  
ノ方策ヲ立テルモ宜シイカト思フノデアリ  
マスガ、今次ノ方策ヲ斯様々々ニ考ヘテ居  
ル、過渡的ノ問題トシテ認メテ居ルノダト  
云フ意味デハゴザイマセヌコトヲ申上ゲマ  
ス

○小山(邦)委員 關聯質問デ一寸伺ヒタ  
イ、産業組合ハ其ノ儘存續シテ置クト云フ局  
長ノ御説明デ分ツタ譯デアリマスガ、其ノ結  
果産業組合ニ關係ヲセザル養蠶家ト、産業  
組合ニ關係ヲシテ居ル養蠶家トガ受入レル  
繭代金ニ於テ相違ヲ生ズルト云フヤウナコ

トガ出來マスルト、是ハ等シク蠶絲業ヲ通  
ジテ各ノ養蠶家ノ生産費ニ若干ノ利潤ヲ加  
ヘタル程度ヲ以テ満足シテ働イデ居ルノニ  
其處ニ差ガ生ジテ來テ、或ル時ハ産業組合  
ニ屬シテ居リマスル養蠶家ノ製絲致シマシ  
タ生絲ガ、今日政府ノ計畫サレテ居ルヤウ  
ニ、輸出部門ニ參ツタトシテ、其ノ輸出ハ  
極メテ狭イ範圍デハアルケレドモ、自由ヲ  
認メラレテ居リマスカラ、高ク賣レタ場合  
ニハ普通ノ養蠶家ヨリ配分ガ多クナリハシ  
ナイカ、逆ニ又安く賣レタ場合ニハ普通ノ  
養蠶家ノ受クル所ヨリモ其ノ配分金ガ少ク  
ナルト云フヤウナコトニナツテハ、同ジ養  
蠶家ノ間ニ二様ノ取扱ヒニナル、而モ受ク  
ル所ノ實益ガ違フト云フコトハ統制ヲ案ス  
ヤウナ虞レガ其處カラ出テ來ハシナイカト  
思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○吉田政府委員 先程モ申シマスルヤウニ  
養蠶家ノ繭ヲ會社ガ買ツテ、原價ニ或ル程  
度ノ經費ヲ掛ケテ營業製絲ニヤル、ソレヲ  
元ニシテ營業製絲ガ挽ク、要スルニソコニ  
會社ガ或ル程度乾燥或ハ輸送等ノ多少ノ經  
費ヲ加算シタルモノデ營業製絲ニヤル、一  
方ハソレヲ一貫スル、但シ組合製絲ニ致シ  
マシタ所デ乾燥モシナケレバナラズ、貯藏  
モシナケレバナラヌノデアリマシテ、必ズ  
シモ其ノ間非常ナ不均衡ヲ生ズルモノトハ  
理窟ノ上ニ於テ私ハ考ヘテ居ラスノデアリ  
マス、デスカラ實際問題トシテハ此ノ間ニ  
於テ配分ヲ受ケマス繭代ニサマデ不均衡ノ  
起ルコトハアルマイト思ヒマス、又組合製  
絲ノ方ニ於テ非常ニ經營ノ合理化ヲヤツテ  
「コスト」ノ引下ヲヤツタ爲ニサウ云フコトカ  
ラ來ル配分金ガ多イト云フコトハ、是ハ或  
ル程度アルカト思ヒマスガ、斯様ナ場合ニ

於キマシテモ範棒ニ組合製絲ノ方ノ配分金ガ多イト云フコトデアリマスレバ、ソレハ其ノ程度ニ止メサセテ置イテ、組合ニ於テ其ノ他ノ積立ヲスルト云フヤウナ方法モアラウカト思ヒマス、要スルニ隣リノ養蠶家ト向ヘノ養蠶家デ爾代ガ非常ニ違フト云フヤウナコトカラ、兎角ノ混亂ヲ起スヤウナコトハサセナイヤウニスル方法ハ自ラ立チ得ルモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○野溝委員 關聯シテ……サウ云フ風ニ簡單ニ考ヘテモ私ハ困ルト思フ、例ヘバ養蠶實行組合ノ組合員デモ組合製絲ニ入ツテ全額協定ニナル、或ハ半額、七割協定サレルト云フ組合員ガアリ、又組合製絲ノ組合員デナイ人モアル、サウ云フ工合ニ入組ンデ居ルモノヲドウ云フヤウニ扱フカ、サウ云フツノ問題ト、今一ツハ斯ウ云フコトガ重大デハアリマセヌカ、ソレハ生産費ノ問題デス、政府デハ全國的ニ各製絲家ノ生産費ナドヲ調ベル場合ガアルガ、斯ウ云フ時ニナルト組合製絲ノ方ハ七月勘定ニナツテ居ツテ假渡金デアル、片方ハ其ノ場ノデヤツテシマフト云フコトニナルト、政府ノ方デ生産費調ナドハ中々複雑デ困ル、特ニ生産費ノ内容ナドニ付キマシテハ組合製絲ノ方ハ副蠶絲ヲ生産費ノ中ヘ入レナイ、個人製絲ノ方ハ副蠶絲ヲ生産費ノ中ヘ入レテ置クト云フヤウナ色々複雑ナ事情ガ出テ來マシテ、實際産業組合ノ問題ガ今回ノ蠶絲統制法ノ掣肘ヲ別ニシタト云フヤウナコトガ私ハ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、私ハ今此處デ其ノコトヲ兎ヤスク言フ譯デアリマセヌガ、羽田君ヤ小山君ノ質問ノ意圖ハ今更自由主義、組合主義ト云フ點ニコダハラズ、全體主義ト云ヒマスカ、公民經濟主

義ト云フカ、ソレハドウデモ宜イガ、斯ウ云フ所ニ歸一スル建前ノ法案ニマデ持込ム考ヘガアリヤ否ヤト云フ、此ノ點ニ對シテハ今ノヤウナ色々事情ヲ斟酌シテ、將來ハソレ等モ此ノ蠶絲統制ノ中ニ歸一サセル積リダト云フ所ノ御意見サハ發表サレバ宜イ、何モ輸出業者ヲ恐レルコトハナイ、片倉、那是、鐘紡ノヤウナ大製絲財閥ヲ恐レルコトハナイ、産業組合「コンツエルン」ノヤウナモノヲ恐レル必要モナイ、アナタガ誠意ヲ披瀝シテ呉レサヘスレバ直グ片付イテシマフ、アナタノ將來ノ希望ナリ、考ヘ方ナリ言ツテ不サレバ宜イ、コダハル必要ハナイ、ドウカソレダケ御答辯ヲ戴キタイ

○吉田政府委員 組合製絲ヲ如何ニ取扱フカト云フ問題ニ付キマシテハ、先程申シマシタ考ヘ方デ現状ノ儘デ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、ソレヲヤリマシテ非常ニ色々何カ是正スル所ガアレバ是正スル、或ハ迫モ是正ノ途ハナイ、寧ろ改組スルニ如カズト云フコトニナリマスレバ、其ノ時ニハ又サウ云フモノニ合フヤウニ變ヘテ宜イト思フノデアリマスガ、今日現在ノ組合製絲ヲ是ハ時代ニ合ハナイコトニナツテ居ルカラ、此ノ際既ニ出來上ツタモノマデモ解消シテシマフト云フ方策ヲ執ル必要ハナイト考ヘマスルガ故ニ、先程來申シマシタヤウナ考ヘ方ヲ決メテ居ルノデアアル、斯ウ申上ゲテ居ルノデアリマス

○野溝委員 入り混ンデ居ルヤウナ實行組合ハドウ云フヤウニスルノデスカ

○吉田政府委員 爾ノ集荷ニ付キマシテハ、原則トシテ其ノ區域ノ養蠶團體ガ集荷シテ會社ニ持ツテ來ル、斯ウ云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ際ニ何々郡ニ何何組合ガアツタ、其ノ「メンバー」ノ人達カラノ爾ハドレダケノモノガ年々其ノ組合ニ行ツテ居タカト云フ實績ハ分リマスカラ、ソレダケノモノヲ纏メテアトデ養蠶團體ガ世話ヲシテ持ツテ來レバ宜イデハナイカ、是ハ實行問題トシテハ非常ニ面倒ナモノニナルカモ知レナイガ、サウ云フヤウナ方法ガ立チ得ナイモノカドウカ、是ガ絕對ニ出來ナイモノデアルトスルナラバ、左様ナ組合ニ付テハ餘程其ノ「メンバー」ニ付キマシテハツキリ決メテ掛ルカ、サモナケレバ他ノ方法ニ依ルヨリ方法ガナイカト思ヒマス、併シ原則的ニハサウ云フコトデ大多數ノ者ハヤツテ行ケルノデハナイカト云フ見透シヲ取ツテ居ル譯デアリマス

○森(幸)委員 今小山委員ノ質問ニ付テノ當局ノ御説明デスガ、餘ツタヲ積立テ置イテモ宜イト云フヤウナコトヲ御考ヘニナツテ居ルヤウデスガ、組合製絲ハサウ云フヤウナ積立ヲサセナイノデス、年々供繭ガ違ツテ來ル場合ガアリマスシ、積立テタ其ノ金ヲドウ云フ風ニ將來配分スルトカ、使用スルト云フ權利義務ノ關係ガアルノデ、組合製絲ノ中ニハサウ云フ積立ハサセナイコトニナツテ居ル譯デス、申上ゲルマデモナク、組合製絲ハ營利製絲ノ餘リニ横暴ナコトヲヤツタコトニ對シテノ對策上出來タモノデアリマシテ、今日斯ウ云フ風ナ一元統制ニナリマスレバ、産業組合製絲ト云フモノノ存在ノ意義ハ自ラ消滅シテ居ルト思フノデアリマス、併シ現在ノ形ヲ餘リ無理ニ壞ハサナイト云フ農林當局ノ總テニ對スル親切心ト云フカ、優シイ心構ヘデ、行ケルダケ活カシテ行カウ、斯ウ

云フ御考ヘノヤウニ伺フノデスガ、實際問題トシテ今野溝君ノ言ハレマシタ通り、組合製絲ニ供繭シマシタ所ノ配分清算ハ翌年ノ五月カラ七月ニ延ビマス、所ガ一元化シタ統制會社ニ繭ヲ供繭シマシタ者ハ、繭ノ檢定成績ガ分レバ直グ繭ノ清算ガ完結スル譯デス、現在ノ養蠶農家トシテハ少々高イ安イヨリモ早ク清算ヲ見タイト云フノガ通有性デアリマス、サウスルト産業組合製絲ニ加盟シテ居リマス養蠶家デモ、自然ニ産業組合ニ供繭セズシテ、統制會社ノ方ニ繭ヲ供繭スルヤウニナツテ來ヨウト思フノデアリマス、サウスルト産業組合ハ法規ノ下ニ買入確保ハ絕對ニ許サレテ居リマセヌノデ、設備ト原料繭ノ確保ト云フコトニ問題ガ起リ、繭ヲ確保スルコトニ努力セネバナラヌコトニナツテ來ルト思ヒマス、ダカラドウシテモ私ハ將來産業組合製絲ガ本當ニ供繭義務ヲハツキリシテ、サウシテ經營シテ、或ル少數ノ産業組合ハ蠶種製造カラ製絲販賣マデ、一貫シテ産業組合ノ精神ニ基イテ行クコトガ出來ヨウト思ヒマスケレドモ、サウデナイト段々此ノ供繭ガ減ツテ來テ、終ヒハ産業組合法ニ依ツテハ其ノ製絲ガ經營出來ナイヤウニナツテ來ヨウト思フ、サウ云フ場合ニハ今日ノ法制ノ下デハイカスノデアリマスガ、營業製絲デモナイ製絲家カ或ハ共同組合施設ノヤウナ形ニ於テ、是等産業組合製絲ノ落ブレタト云フト惡イカモ知レマセヌガ、其ノ行詰ツタモノニ對シテ製絲製造業ヲ許可サレルト云フコトニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハサウ云フ製絲ヲ營マシメラレルコトニナルノデアルカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス、詰リ營業製絲ノヤ

ウナ製絲ヲ經營スル道ヲ開ケテヤラナケレバ、其ノ設備ガ廢タツテシマフコトニナリハシマセヌカ

○吉田政府委員 御説ノヤウナコトモ考ヘラレマスガ、ソレハ産業組合ノ方針カラ申シマシテ、理窟申シマス困難ナノデ營業製絲ノヤウニ買取ツテ代金マデ拂ツテ線絲スルト云フコトニナリマス、現在ノ産業組合製絲デナクテ、地盤ノ或ル程度固イ營業製絲ト云フ形ニナルト私ハ思ヒマス、サウ云フ風ニ向イテ行クト云フコトデアレバ、何モ之ヲ拒ムト云フ意思ハ持つテ居ラヌノデアリマス、今モ申シマスヤウニ積極的ニ改組サセテ營業製絲ニシテシマヘトカ、サウ云フヤウナ決マツタ方針ヲ此ノ際執ツテ臨ム、一本ノ方針デ組合製絲ニ臨ンデ行ク、斯ウ云フ態度ハ執ラナイト云フダケデアリマシテ、無論改組シタ方ガ宜シイト云フコトデ、此ノ際營業製絲ニ改組ラシ、或ハ轉向スルト云フヤウナコトハ、何モ私共ハ之ヲ拒ム意思ハ持タナイノデアリマス、ヤツテ此ノ儘續ケテ行キタイト云フ者ガアルナラバ、強ヒテ之ヲ營業製絲ニ改組シロ、斯ウ云フ考ヘヲ決メテ臨ムト云フコトハナイト云フコトヲ先程カラ申シテ居ルダケノコトデゴザイマス

○小山(邦)委員 重ネテ御尋ネシマスガ、局長ノ御話ニ依リマシテ普通ノ蠶蠶家ト、組合製絲ニ所屬シテ居リマス蠶蠶家トノ間ニ對スル受入金ニ大シタ差ガナイデアラウト云フ御話デアリマシタ、差ノナイコトヲ吾々モ亦望ムノデアリマスガ、ドチラノ蠶蠶家デモ安心シテ其ノ蠶蠶ヲ通ジテ職域奉公ノ出來ルヤウニサセテ置クコトガ宜イノデ、隣リノ蠶蠶家ト此方ノ蠶蠶家トガドチ

ラガ利潤ガ多イカト云フヤウナコトヲ考ヘサセルコト、詰リ利潤追求ヲ止メテ只管ニ職域ニ奉公シロト言ツテ置キナガラ、組織ヲ其處ヘ持つテ行カナイデハナイカ、若シ局長ノ仰セラレル如ク差ガナレバ結構デス、アツタラドウスルカ、ソレガ産業組合ニ屬スル方ガ少クテモイカヌシ、多クテモ結構デハナイ、同ジコトノ方ガ結構ナノデアル、少イヤウナ場合ガ出來テ來マス、ドウナルカ、サウ云フヤウナ場合ニハ一體其ノ産業組合ハドウ處理スルノデアリマスカ、是ハ監督ヲナサル側トシテ、成行ニ任セテ置クト云フモノデアリマス、是ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマス

○吉田政府委員 現在ト雖モ無論絲值ノ差ガ公定サレテ居ル譯デハアリマセヌカラ、特ニ組合製絲ガ營業製絲ト違ツテ繭ノ配分金ガ多イ場合モアリ、少イ場合モアルノデアリマス、今後ハ現在ヨリハ餘程其ノ點ガ少クナルト云フノデアリマシテ、是ハ苟クモ産業組合ヲ作ツテ自分達ダケデ製絲シヨウト云フヤウナ氣持デ初メカラヤツテ居ルコトデアリマスカ、ソコニ理論的ニ申シマスレバ甲乙ナシ、又實際問題トシテモサウ今マデノヤウニ絲值ノ上リ下リニ依ツテ配分金ガ決マルト云ツタヤウナ組合製絲ト、繭ノ出來タ時ニ仕切ツテシマフ營業製絲トノ間ニ開キガアルヤウニ今後ハ開キハナイモノト思フノデアリマス、一掛デアルトカ半掛デアルトカ、サウ云フ微細ナ點ハアルカモ知レマセヌガ、エラク違フト云フヤウナコトハ今後ハナイノデアリマシテ、此ノ點カラ蠶蠶家ニ非常ナル惡影響ヲ及ボスト云フヤウナコトハ、私ハ比較的少イノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、從

來ノヤウニ絲ノ相場ニ依ツテ或ル時ニハ營業製絲ニ賣ツタ方ガ非常ニ有利デアル、或ル時ニハ組合製絲ニ賣ツタ方ガ非常ニ有利デアツタト云フヤウナ場合ニ於テモ、今日相當ニ出來テ居ル組合製絲ノコトデアリマスカ、今後ハ從來ノヤウナ不均衡ト云フコトハ制度ノ上カラモ餘リ起キテ來ナイコトニナツテ居ル、假令ソコニ不均衡ガアリトスルモ、極メテ微細ナ關係ニシカ過ぎナイガラウト思ヒマスガ故ニ、斯様ナ關係ガ假令多少ナリトモアリマシテモ、ソレハ蠶蠶家全體ニ對シマシテ非常ナ妙ナ惡結果ヲ惹起スト云フヤウナコトニハナラナイデ済ムノデハナカラウカ、且又若シソレガ厭ヤダト云フヤウナコトニデモナリマシテ改組スルト云フコトデアリマスレバ、ソレハ何モ差支ヘナイコトデ、ソレハ私ノ方トシテハ主トシテ當事者ノ意思ニ依ツテ動イテ行クノヲ見テ行ツテ宜イノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ現在ノ所デハ見テ居ルノデアリマス

○羽田委員 只今ノ小山サン、森サン達ノ御話ヲ承ツテ、政府ノ答辯ヲ承ツテ見マシテモ、如何ニモ何カ奥齒ニ物ガ挟マツテ居ルト云フ感ジヲ受ケルノデアリマス、大體此ノ法案ハ、申スマデモナク日本ノ蠶絲界ニ取ツテモ或ハ蠶蠶家ニ取ツテ、數十年ノ「アメリカ」依存ノ企業的ナ經營、投機的ナ經營カラ着實ナル經營ニ移ラウト云フ、國內製品トシテノ自給自足主義ヲ確立シヨウト云フ建前ニアルノデハナイカト思フノデアリマス、全ク革命的ナ法案ト言ツテモ宜シイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ大キナ法案ヲ出ス以上ハ、ヤハリ本ヲ正シ、土臺ヲ正シテ來ナケレバナラヌト思フ、何ト

云ツテモ産業組合製絲ト云フモノハ先程カラノ政府ノ答辯カラ言ヒマシテモ、寧ロ此ノ國策ノ會社ノ中ニ統合シナケレバナラヌ時ガ來テ居ルト私ハ思フノデアリマス、先程ノ御答辯ニ依ルト、現狀ノ儘デ此ノ儘ヤツテ行クノダト云フコトデ、如何ニモ迫力ト見透シノナイヤリ方デハナイカト思フ、私ハ産業組合製絲ニ付テハ更ニ檢討ヲ致シマシテ、寧ロ此ノ一貫統制ノ線ニ沿フ力強イ所ノ——何ト云ヒマス、蠶絲對策ヲ樹テルト云フカ、纖維對策ヲ樹テルトコトガ、今後ノ國防國家ノ上ニ於テノ重要ナル點デハナイカト思フノデアリマスガ、一體農林省ハ日本ノ蠶蠶業トカ、或ハ製絲業ト云フモノヲドウ云フ見地デ導イテ行クノカ、所謂纖維資源ヲ確保スル自給自足主義デ行クノカ、或ハ外國ノ關係デアリマスカラ、餘リモノハハツキリモ申セマセヌガ、出來ルダケ「アメリカ」ニ依存シテ行ク積リカ、或ハ纖維不足ノ日本トシテハ寧ロ是ヲ出來ルダケ生絲ト云フモノヲ生産費ヲ安クシテ大衆化シテ、國內纖維トシテノ自給方針ヲ確立スル意思カ、其ノ邊ヲ能ク承ツテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 此ノ緊迫致シマシタ國際情勢ニ對處致シマシテ、吾々ト致シマシテハ蠶絲業ノ將來ニ付キマシテハ餘程考ヘラガツチリト決メナケレバナラヌ、ソコデ極端ニ申シマスレバ、輸出ト云フモノハモウ危イノダカラ放棄シテシマフ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方モハツキリシタ意見トシテ立チ得ルト思フノデアリマスガ、是ハ私共トシテハ面白クナイ、斯様ニ考ヘマシテ、今マデノヤウニ輸出一點張り、輸出ニ全部依存スルト云フ考ヘ方ヲ此ノ際適當ニ

改メマシテ、一面ニ於テ御話ガアツタヤウ  
ニ、國內纖維不足ノ際デアアルカラ無論  
此ノ方ニモ相當ニ頼ルト云フ考ヘ方ヲ取リ  
ツツ、ソレダケ從來輸出ニ依存シテ居ツタ  
所謂凭レ掛リ方ヲ少シ掛方ヘ分ケル、サウ  
シテ身體ノ重味ガ片足ニ凭レ掛ツテ居ツタ  
狀態ヲ兩足ニ或ル程度重味ヲ分ケテ置イ  
テ、將來凭レ掛ツテ居ツタ足ノ足場ヲ引繰  
返サレタ場合ニ、身體ノ全體ガ轉落スルコ  
トノナイヤウニ、直チニ身ヲ交ハシテ左足  
カラ右足ト身體ノ重味ヲ變ヘルコトガ出來  
ル、斯ウ云フ態勢ヲ整ヘテ置キタイト云フ  
ノガ現在ノ制度デアリマス、隨ヒマシテ今  
後ノ蠶絲業ハ輸出ニ付テハ出來ル限リ努メ  
ツツ、片方ニ於キマシテ國內ノ消費ニ相當  
重點ヲ置クト、斯ウ云フ考ヘ方デ進ンデ居  
ルノデアリマス

○羽田委員 大體ノ考ヘ方トシテハ現狀ト  
シテハ其ノ邊ガ政府トシテ然ルベキカト思  
ヒマスガ、産業組合製絲ノ問題ニ付テ更ニ  
モウ一點承ツテ置キタイコトハ、今後産業  
組合製絲工場ト云フモノヲ新設スルコトヲ  
政府ハ許サル意思デアアルカドウカ、之ヲ  
承リタイ

○吉田政府委員 先程申シマシタヤウニ、  
是ハ今後ノ新設ト云ツタヤウナコトハヤラ  
セナイ、要スルニ出來上ツタモノヲ壊ス必  
要モナカラウ、斯ウ云フコトヲ先程モ申シ  
マシタガ、左様ナ考ヘ方デ進ミタイと思ヒ  
マス

○羽田委員 此ノ問題ハ其ノ程度ニ致シテ、  
十分ニ農林省トシテハ大局ニ眼ヲ注イデ、  
大キナ流れガ流レル時デアアルカラ、其ノ先  
驅的ナ使命ヲ持ツタ組合製絲ノ小サナ流れ  
ト云フモノヲ此ノ大キナ流れノ中ニ吸收ス

ルト云フ方向デ、更ニ御研究ヲ願ヒタイト  
思フノデアリマス

次ニ御伺ヒシタイコトハ只今局長モ言ハ  
レマシタガ、日本ガ一ツノ轉換期ニ來テ居  
ル、兩足ヲ掛ケテ居ツタノヲ今度ハ是正シ  
ナケレバナラス、サウ云フ時機デアアルカラ、  
今後サウ云フ指導方法ヲ進メテ行キタイ、  
斯ウ云フコトデアリマシタガ、此ノ際ソレ  
ニ付キマシテハ繭ノ用途別ノ生産方針ヲ一  
體ドウ云フ方向ニ持ツテ行カレルカト云フ  
コトヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、例ヘ  
バ八千萬貫ノ内輸出ニ二十五萬貫、國用絲  
ニ三十萬貫、製絲向ケニ十五萬貫ト云フコ  
トデズウツ答辯ガアツタヤウデアリマス  
ガ、ソレノ原料繭ニ付テハドウ云フ用途別  
ニシテ生産方針ヲ持ツテ行カレルカ、此ノ  
計畫ノ概要、又指導方針ヲ承リタイ

○吉田政府委員 出來上ツタ繭ヲ用途別ニ  
仕分ケテシテ、ソレノ生絲ニスルモノ、或  
ハ繭ノ儘デ碎クモノト云フヤウナ仕分ケヲ  
シテ用途ニ向ケルト、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持  
ツテ居ルノデアリマス、今仰セニナリマシタ  
ノハ、繭ノ用途別生産ト云フ御言葉ガアリ  
マシタガ、ソレハ何カ違ツタ種類ノ繭ヲ作  
ル計畫ヲ今考ヘテ居ルノデハナカラウカト云  
フ考ヘ方カラカト思フノデアリマスガ、現  
在ハ無論繭ノ儘デ碎クモノニ付キマシテハ  
初メカラサウ云フヤウナ目途ヲ以テ品種ヲ  
定メテ行ク方ガ宜イノデハナイカト云フ考  
ヘハアリマスガ、是ハマダノ研究モ要ス  
ル點モゴザイマスカラ、モウ少シ斯様ナ致  
シ方ハ時ノ經過ヲ經テヤルノガ適當デハナ  
カラウカト思ヒマス、差當リノ問題ト致シ  
マシテハ、繭トシテハ現在生絲ニナル原料  
ヲ原則トシテ造ル、但シ生絲ニシテモ宜シイ

シ繭デ碎イテ短纖維ニシテモ宜シイ、兩股  
掛ケ得ルヤウナ品種ヲ選ブコトハ考ヘテ居  
リマスガ、絲ニスレバ絲ニナルト云フ繭ヲ  
以テ原則トシテ生産サセテ、其ノ中デ生絲  
ニスルモノヲ幾ラ、短纖維ニスルモノヲ幾  
ラト云フヤウニ、斯ウ云フ風ニ計畫ヲシテ、  
消費ト申シマスガ、生絲ノ生産、短纖維ノ  
生産計畫ヲ立テテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ  
考ヘテ居ルノデアリマスガ、幾ラニ致シマ  
スカハ是亦モウ少シ内地需要ノ年度近クニ  
行キマシテ見透シテ立テ、サウシテ見積リ  
違ヒノナイヤウニ、出來ルダケ正確ニ見透  
シテ付ケテ、之ニ依ツテ蠶絲委員會會決  
定シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ  
マス、無論吾々私的ニハ今色々ナコトヲ考ヘ  
居ルト申シマスガ、意見ハアルノデアリマ  
スケレドモ、此處デ數字ニ付キマシテハッ  
キリ申上ゲルヤウナ、確定的ナモノハ何等  
持ツテ居ナイノデアリマス、御承知ノヤウ  
ニツイ先頃マデハ、内地ノ消費ガ非常ニ少  
クテ、製絲家ノ方ハ困ルノト訴ヘテ居ツ  
タ、一箇月モ前ニハ非常ニヤカマシカツタ  
ガ、最近ノ新聞ヲ見マス、内地ノ方モ相當  
賣レ出シテ居ルヤウナ模様デ、生絲ノ値モ  
上ツテ居ルト云フコトヲ私聞イテ居リマス、  
斯様ナ關係デ始終實情ガ變リマスノデ、成  
ベク年度ノ近クニ參リマシテ、正確ニ見透  
シテ付ケテ、斯様ナ計畫ハ立ツベキデア  
ラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○羽田委員 此ノ綿繭ト申シマスガ、短纖  
維ニ向ケルニ適スル繭ハ、一體本年度ニ於  
テドノ位生産スル計畫デアアルカト云フコト  
ハ、實ハ蠶絲業者ガ非常ナ關心ヲ持ツテ居  
ル譯デアリマス、蠶絲局長ハ出來ルダケ年  
度ニ近マツテト仰セニナリマシタガ、大體

半年カ一年位前ニ、來年度ノ生産計畫ヲ立  
テ準備ヲシテ行カナケレバナライ譯デア  
リマス、然ルニ出來ルダケ近マツテト云フ  
ヤウナコトデアツテハ、如何ニモ業界ガ動  
搖ヲ致シテ居ルト云フヤウニ、私ハ見テ取  
ツテ居ル譯デアリマス、一體綿繭ハ今年度  
ニ於テドレダケ生産スル計畫ヲ持ツテ居  
レルノデアリマスガ

○吉田政府委員 短纖維用トシテ今日吾々  
ガ考ヘテ居リマスモノハ、究極ニ於テ綿繭  
式ノモノガ宜イノデヤナイカト云フコトヲ  
考ヘテハ居ルノデアリマス、併シ現在ノ狀  
態ニ於キマシテハ、マダ是ハ相當ニ品種ノ  
改良モシナケレバナラス、又養蠶家方面ニ  
於キマシテモ、之ニ飼ヒ慣レルト云フヤウ  
ナ經驗ヲ得サセルト云フコトモ、私ハ必要  
デハナイカト思ヒマスノデ、直チニ之ヲ以  
テ適當生産ヲサセルト云フヤウナコトハ、  
マダ適當ナ段階ニハ至ツテ居ラスト思ヒマ  
スノデ、毛羽繭其ノモノデ短纖維ヲ造ラセ  
ルト云フ考ヘ方ハ、マダ餘程先ヘ行ツテヤ  
ルベキデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、  
此ノ方ハ唯試驗的ト申シマスガ、一面ニ於  
テ養蠶家ニモ或ル程度希望ニ應ジテ經驗ヲ  
得サセルト云フ程度デ進メテ行ク、是位ナ  
考ヘシカ持ツテ居リマセス、是ハ數年來多  
少斯ウ云フ意味デヤツテ居リマスノデ、或  
ル程度諒解シテ居ルヤウナ者モアルヤウデ  
アリマスカラ、成ベク廣ク經驗ヲ得サセル  
ト云フ意味ニ於テヤラシテ見ル、サウ云フ  
譯デ先ヅ今ノ所種百萬蛾アタリヲ用意シテ  
居リマス、併シ是モ必ズ作ラセル、強制的  
ニヤラセルモノデナイコトヲ、一ツ御諒解  
ヲ願ヒタイと思ヒマス

○羽田委員 要スルニ試驗時代デアツテ、

政府トシテハソレヲ漸進的ニヤツテ行ク、  
斯ウ云フ方針デアアルコトハ大體分リマシタ、  
次ニ私ノ御尋ネ致シタイノハ、輸出向生絲  
ノ製絲工場ト云フモノハ、一體大工場ヲ  
中心ニスルノカ、或ハ中小ノモノニ對シ  
テモ相當ナル繭ヲ割當テ方針デアアルカ、  
所謂重點主義デ行クノカ、或ハ平均的ニ  
行クノカ、其ノ方針ヲ一ツ承リタイノデア  
リマス

○吉田政府委員 此ノ輸出絲ノ割當ノ問題、  
或ハ輸出製絲製造家ノ指定ノ問題ニ付キ  
マシテハ、其ノ設備モ一ツ考ヘナケレバナ  
ラス問題デアリマス、ソレハ技術ト申シマス  
カ、從來檢査ヲ受ケマシタ時ノ成績等カラ  
考ヘマシテ、優良絲ヲ引キ得ル立派ナ技術  
ノアル工場デアアルト云ツタヤウナ所モ考ヘ  
ナケレバナラス問題デハナカラウカ、且又  
輸出絲ヲ引イテ見タリ、引カヌデ見タリス  
ルト云ツタヤウナモノデナシニ、ズツト永  
年續テヤツテ居ルト云フヤウナ所モ、十  
分ニ考慮ニ入レナケレバナラスノデハナイ  
カ、斯様ナ點カラ考ヘマシテ、相當私共ト  
シテハ廣イ範圍ニ於テ試驗ヲ致シマシテ、  
之ニ一定ノ輸出見込數量ト申シマスカ、ソ  
レガ決マリマシタラ、ソレヲ割當テ行ク  
ト云フ風ニシタ方宜イ、斯様ニ考ヘテ居  
ルノデアリマスガ、マダドウ云フ方式デ選  
定スルカト云フコトハ、目下色々技術者ノ  
方面ト案ヲ研究シテ居ル程度デアリマス

○羽田委員 其ノ點ハ諒承致シマシタ、次  
ニハ羊毛代用ノ短纖維ノ問題デスガ、是ハ  
全ク新シイ用途デアリマス爲ニ、或ハ又新  
シイ方法デアリマス爲ニ、寧ろ此ノ特許ヲ  
中心トシテ新シイ國策會社ヲ造ルト云フヤ  
ウナコトモ——例ヘバ木炭ノ會社ヲ特許ヲ

中心トシテ造ラウトシテ居ルヤウナ、アア  
云フ國策會社ト云フモノモ、一應ハ考ヘラ  
レルノデアリマスガ、此ノコトニ付テハ政  
府ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマスカ

○吉田政府委員 短纖維ノ問題ニ付テ、  
切離シテ國策會社ト云ツタヤウナコトハ、  
今何ニモ私ハ計畫ヲ致シテ居ラナイノデア  
リマス、今後相當此ノ方面ニ力ヲ入レル必  
要カラ、斯様ナ仕事ニ從事スル人が相當大  
規模ニヤリ得ルダケノ心構ヘナリ、準備ヲ  
シテ貰フヤウナコトハ、至極結構デアリマ  
スガ、此ノ仕事ノ爲ニ獨立シテ國策會社ト  
云フヤウナモノハ、何モ今ノ所考ヘテ居ラ  
ナイコトヲ申上ゲテ置キマス

○羽田委員 ソレカラヤハリ同様ノ問題デ  
アリマスガ、短纖維ニ向ケラレル千五百万  
貫ノ繭ヲ、日本繭織維工業有限會社、斯ウ  
云フ會社ニ何カ一元的ニ流シテ行クト云フ  
ヤウナ話ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、サ  
ウ云フ方針デアリマスカ

○吉田政府委員 イヤ、何モ此ノ會社ニ、ド  
レダケノ仕事ガ出來ルカ分リマセヌカラ、  
相手ヲ誰ニスルカト云ツタヤウナコトハ、  
無論考ヘテ居リマセヌ、最モ適當ナサウ云  
フ會社モアリマセウシ、或ハ羊毛業者、所  
謂毛織物ヲ造ル業者ニ御願ヒスル場合モア  
リマセウ、斯ウ云ツタ廣イ範圍ニ於テ造ツ  
テ呉レル所ヘ向ケルト云フ考ヘデアリマシ  
テ、勿論誰ノ所ヘ賣ルナドト云フ考ヘハ私  
ハ毛頭アリマセヌ

テル者ニハ、出來ルダケ便宜ヲ與ヘ又割當  
デモシテ行ク、斯ウ云フ風ニ諒解シテ宜シ  
ウゴザイマスカ

○吉田政府委員 其ノ通りデアリマス、併  
シナガラ斯ウ云フコトガアルノデアリマス、  
「セリシン」定着ノ技術的ノ問題ト致シマシ  
テ私共聞イテ居ルノニ、是ハ方法トシテハ  
二十數種アリマス、色々藥品其ノ他ニ於  
テ二十數種アルノデアリマス、是ガバラ／＼  
ニナリマシテ、「セリシン」定着ヲ致シマシテ  
モ本當ニガツチリ定着スル方法モアリマス  
シ、不完全ナモノモアルヤウデアリマス、  
定着ニハ違ヒナイガ、色々方法ガアルヤウ  
ニ聞イテ居リマス、是ガバラ／＼ニナリマ  
シテ、サウシテ完全ニ行ク「セリシン」定着  
ノ方法ニ依ルノト不完全ナモノトガアリマ  
シテ、却テ仕事ヲ始メタシヨツバナカラ之  
ヲ使フ人ノ非常ニ信用ヲ失墜スルト言ツタ  
ヤウナコトノナイヤウニドノ方法ガ宜イ  
カ、又實際問題トシテ資材其ノ他ノ關係カ  
ラ、現狀ニ於テドウ云フヤリ方が一番宜シ  
イカト云ツタヤウナコトヲ能ク考ヘナケレ  
バナラス問題ト思ヒマス、斯様ナコトカラ  
餘リニバラ／＼ニ、不統制ト申シマセウカ、  
サウ云フコトデハ私ハ適當デナイコト  
ニナルト思ヒマスノデ、斯様ナ「セリシン」  
加工ヲヤリマスル方面ノ業者ニ付キマシテ  
ハ、何等カノ形デ斯ウ云フ一ツノ統制ヲ執  
ルヤウニ、要スルニ纏マリガ出來ルヤウニ、  
バラ／＼デ少シツツ競争的ニ勝手ニヤルト  
云フヤウナ形デハिकासデハナイカ、斯様  
ナ氣持ハ持ツテ居ルノデアリマス、併シ之  
ヲ一ツノ會社ニ對シテ其ノ會社ト特約ヲス  
ルト云フヤウナコトハ、或ハサウ云フコト  
ニシタ方宜シイト云フコトニナレバ別デ

アリマスガ、今ノ所デハソシナ意味デハ何  
モ考ヘテ居リマセヌコトヲ申上ゲテ置キマ  
ス

○羽田委員 「セリシン」定着ノ第一工程ト  
云フモノハ、モウ普通ノ製絲工場ノ設備サ  
ヘアレバ、要スルニ屋根ノアル工場ト、桶  
ト、「ボイラー」ト、斯ウ云フモノサヘアレバド  
シナケチナ小サイ工場デモ出來ルト云フコ  
トヲ私聞イテ居ルノデアリマスルガ、第二  
工程ニ行ツテ初メテ技術的ニモ亦設備ニ於  
テモ相當複雑ニナツテ參ル、其ノ時ニ於テ  
初メテ今御心配ノヤウナ點ガ現ハレルノデ  
アルト思フノデアリマス、デアリマスカラ  
私ハ今回ノ蠶絲統制ノ結果ト致シマシテ、  
全國ノ製絲工場ト云フモノハ相當遊バナケ  
レバナラス設備ガ出來テ來ルノデハナイカ、  
隨テ大小ヲ問ハズ、斯ウ云フ「セリシン」定  
着ノ第一工程ノ部面ニ付テハ、是等ノ人達  
ノ失業防止ト設備ヲ遊バセナイト云フ見地  
カラ出來ルダケ多クノ小工場モ「セリシン」  
定着ノ第一工程ヲサシテ、其ノ製品ヲ今度  
ハ第二工程ノ設備ノアル例ヘバ羊毛紡績ト  
カ綿絲紡績ト云フヤウナ方面ノサウ云フ紡  
績工場ト云フヤウナモノヲ使ツテヤツテ行  
ク、サウシテ出來ルダケ此ノ設備ト失業者  
ヲナクセシメルト云フヤウナ方向ニ善處シ  
テ戴キマスレバ、此ノ統制ノ結果トシテ影  
響ヲ受ケル所ノ中小ノ工場ト云フモノノ救  
濟ノ一助ニモナルノデハナイカト私ハ思フ  
ノデアリマス、政府ノ御考ヘヲ承リタイノ  
デアリマス

○吉田政府委員 其ノ點ハ全ク同感デアリ  
マシテ、仰セノヤウナ考ヘ方デ進ミタイト  
云フコトハ、是マデモ御質問ノ方ニハ申シ  
テ居ルノデアリマス、或ハ被ルコトアルベ

キ中小製絲ノ人達ガ製絲家ノ方面デノ打撃ト申シマスガ、サウ云フコトヲ極力少クスルト云フ考ヘカラ申シマシテモ、サウ云フ風ニ致ス方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考ヘデ居ルノデアリマス

○羽田委員 此ノ小サナ工場ノ問題ニ關聯シテ、一寸今ノ話トハ違フノデアリマスガ、今回ノ釜數整理ニ於キマシテハ、大體今動イテ居ル所ノ設備ヲ中心ニシテ、ソレヲ標準ニシテ整理ヲスル、マア石炭ガナイトカ、其ノ他ノ事情デ以テ——ソレモ自分ノセイデナク運輸上ノ立場カラ石炭ノ不足ヲシテ居ルトカ、電力ノ不足ヲシテ居ルトカ云フヤウナ立場デ以テ釜ヲ休マシテ居ルモノモ相當アルノデアリマスガ、今回ノ此ノ釜數整理ノ結果ト致シマシテ、是ハ製絲聯合會デ此ノ間聞イタ所ニ依ルト、サウ云ツタ休ンデ居ルモノハ一切ヤラナイ、運轉シテ居ル、生キテ居ル釜ダケヲ標準ニシテ整理ヲシテ行ク、斯ウ云フヤウデアリマスガ、何レ聯合會カラ農林省ニ此ノ認可ヲ受ケニ參ルデアリマセウガ、設備ト云フモノモヤハリ或ル程度加味シテ戴ク譯ニハ行カヌノデセウカ、其ノ點ヲ承ツテ置キマス

○吉田政府委員 私マダ製絲聯合會決メマシタ釜數整理ノ問題ニ付テノ内容ノ詳細ハ實ハ承知致シテ居ラスノデアリマスガ、何モ現在動イテ居ルモノダケニ付テ何割ト云フヤウナ計畫ヲシテ居ルノデハナカラウト思ヒマス、休ンデ居ルモノ、或ハ封印シテ居ルモノ、其ノ他現在動イテ居ルモノニモ及ンデ、全體トシテ何割ト云フヤウナコトガ計畫サレテ居ルモノト承知致シテ居ルノデアリマス

○羽田委員 今ノ御話ノヤウニ一ツ善處シ

テ戴キタイト思フノデアリマス

最後ニ私ハ生絲検査所ノ問題ニ付テ一寸伺ヒタイノデアリマスガ、政府ハ今回ノ此ノ統制會社法案ノ實施ト並行致シマシテ、從來五箇所ノ生絲検査所ニ更ニ六箇所殖ヤシテ、全國デ十一箇所作ルト云フ御話デアリマスガ、今回ノ此ノ法案ノ内容ヲ成ス所ノモノヲ見マシテモ、國用絲ノ國內需要ト云フモノニ非常ニ重點ヲ置イテ居ルト云フコトハ明瞭ナ事實デアリマス、隨テ今マデハ輸出生絲ヲ中心トシテ居リマスカラ、横濱トカ神戸或ハ其ノ他ノ精巧ナ規模ノ大キナ検査所ヲ置クト云フ譯デアツタノデアリマスガ、國內絲ト云フコトニナリマス、從來ノ小サナ工場ニ於テスラモ自分ノ所デ検査ヲスル設備モ持ツテ居ラス、要スルニ乾燥ノ度合トカ「デニール」トカ簡易ナ検査ヲスルト云フコトニナリマス、輸出生絲検査所ノ如キ規模ガ大キク、設備モ大キク、人モ充實シテ居ルト云フヤウナモノノ必要ハナイノデハナイカ、寧ロ簡易ナモノヲ出來ルダケ生產地ニ近イ所ニ澤山作ツテ、サウシテ運賃其ノ他ノ諸掛リ等ノ無駄ヲ省イテ、國內ノ織屋ノ方ニ直ダ行クト云フヤウナ方向ヲ取ルコトコソ望マシイノデハナイカト思フ、隨テマア差當ツテ六箇所新設ト云フ意味デアリマセウガ、寧ロ私ハ出來ルダケ多クノ検査所ヲ、相當量纏マル生產地デアアルナラバ設置スルト云フヤウナ方向ヘ向ケテ行ツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、政府ノ御考ヘハ如何デアリマスガ

○吉田政府委員 生絲ノ検査ニ付キマシテハ、輸出絲ハ申スニ及バズ、國用ニ供セラレル生絲ト致シマシテモ、最近デハ漸次織物業者ノ要望モアリマシテ、信用ノ置ケル檢

査ノ希望ガ殆ド生絲ノ方ニ集マツテ來テ居ルヤウデアリマス、殊ニ輸出織物等ニ付キマシテハ、相當ノ精密ナ検査ヲシタ絲ヲ使ツテ行ク方ガ宜シイト云フコトデ、斯ウ云フ方面カラモ相當此ノ要望ガアルヤウデアリマス、銘柄取引ト云ツタヤウナコトガ國內デハ原則ニナツテ居ツタノデアリマスガ、最近デハ之ヲ検査成績ニ依ツテ安心シタ品質ノ生絲ヲ得タイ、斯ウ云フ要望ガ相當織物方面ニモアルヤウニ感ゼラレルノデアリマス、斯様ナ關係カラ致シマシテ、検査ノ問題ニ付キマシテハ、大體出來得ル限リ横濱神戸ニ國家ノ設備モアルコトデアリマス、此處デ集メテ所謂信用ノ置ケル——他ノ方デヤル信用ガ置ケヌト云フノデハアリマセウガ、完備致シタ検査所デ検査ヲ出來得ル限リヤルノガ先ヅ考ヘタイコトデアアル、ソレカソレダケドウセ全部ノ生絲ト云フコトマデイカス、且又横濱、神戸ヘ持ツテ來テ強ヒテ検査シナケレバナラヌ必要ノナイヤウナ種類ノ生絲モ相當アルト思フノデアリマスガ、斯様ナ生絲ニ付テハ出來ル限リ無駄ナ經費ヲ出サス、或ハ今御話ニナリマシタヤウナ生產地或ハ消費地ト云ツタヤウナ荷ノ集マルベキ所デ検査スルト云フコトハ色々關係カラ見テ適當デアラウ、斯様ニ考ヘマシテ是等ノモノヲ検査致シマスル爲ニ、何レハ國內ノ生絲ノ検査所ノ整備ト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、今何箇所ニスルトカ、何處ニスルトカ云フコトハ是カラ制度ガ出來マシタヲ篤ト事情ヲ考究致シマシテ決メタイト思ツテ居リマス、マダ具體的ノコトハ今此處デ申上グル状態ニナツテ居リマセヌコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○羽田委員 併シ豫算デハ何箇所生絲検査所ヲ設ケルト云フ要求ハアルノデアリマセウ

○吉田政府委員 豫算ノ方ハ補助金トシテ三十萬圓ト云フ豫算ニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ一應單ニ豫算ノ上デ假定シタ單價ノ位ト云フコトデ決メテ居ルノデアリマスカラ、豫算ハ其ノ金額ノ範圍内デアリマスガ、場所ハ必ズシモ豫算ノ數字ニ依ラヌデモ宜シイカト思ヒマス、隨テ多少少クシテ大キナモノニスルトカ、小サイモノヲ澤山ニスルトカ云フコトハ、今後具體的ナ問題トシテ研究シタイト思ヒマス

○羽田委員 然ラバ其ノ經營ノ主體ハ國立デハナイノデスネ

○吉田政府委員 是ハ會社ノ事業ト云フコトニシタ方ガ宜イノデヤナイカト云フ考ヘラ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハ此ノ會社ガヤルトナリマス、自己検査ノヤウナコトニナレバ理窟ノ上デハ不正ノヤウデアリマスケレドモ、此ノ會社ハ殆ド政府ト表裏一體トナル國策會社デアアル、政府ノ代行機關ノヤウナモノデアリマスガ、自分ニ都合ノ好イヤウナ検査ヲサセルト云フコトハアリ得ナイト思ヒマス、サウ云フ風ニ致シタイト思ヒマス

○最上委員 一寸關聯シテ——今農林當局ノ御話デ検査所ノ設置箇所及ビ數等ニ付テマダ決マラナイト云フ御話デアリマスガ、從來政府ガ色々各種ノ豫算ヲ出ス場合ニ於テハ大體內定シテ居ルト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、既ニ今日各地方ニ於テ此ノ検査所ノ設置問題ニ付テ大運動ガ持チ上ラントシテ居ルヤウナ形勢ガアルノデアリマスカラ、若シ是等ノコトガ發表出來ルナラ

バ、斯ウ云フ地ニ内定スルト云フヤウナコトヲ發表シタラ宜イト思フノデアリマス、若シモ此ノ儘ニシテ置ケバ各地ニ於テ多少サウ云フヤウナ設置運動ガ起ルト云フコトモアルノデアリマス、ソレノミナラズ、二十七條ニ依レバ本會社ノ社長以下ノ役員ニ付テハ大體數ガ示サレテ居リマスガ、其ノ他會社ノ全貌或ハ各府縣ニ於ケル支所其ノ他人ノ問題等ニ付テモ大體分レバ之ヲ發表シテ戴クト非常ニ各地方ニ於ケル當業者等ニ於テモ便利ガ多イト思ヒマスカラ、政府ハ是等ノ問題ニ付テ發表出來得ルナラバ此ノ席上ニ於テ御發表願ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 先程來申シマスヤウニ、検査所ノ數及ビ場所等ニ付テハ全ク是カラ研究致シマシテ決メタイト思フノデアリマシテ、決シテ決マツテ居ルノヲ申上ゲナイノデハナイノデアリマス、決マツテ居ラスモノヲ申上ゲタリスルコトハ却テ私ハ混亂ヲ起サセルト思ヒマスノデ、全ク決マツテ居ラスコトヲ決マツテ居ラスト申シテ居ルノデアリマス

○松岡委員 議事進行ニ付テ私ハ委員長ニ御尋ネシタイノデアリマス、斯様ナコトヲ申上ゲタクナイト思ツタノデスガ、私ノ議員生活ハ長イトハ申シマセスガ、私ノ今日マデ經驗スル限リニ於テハ、委員會ニ於テ斯様ナ發言ノ亂雜ナ狀況ハ會テ見タコトガナイ、苟モ發言スル時ニ於テハ十分ニ研究ヲシテ之ヲ聽カナケレバナラス、其ノ法案ニ對シテノ信念ヲ持ツテ研究ノ結果ソコニ出テ來ルモノト思フノデアリマス、順番ガ來タ時ニ初メテ發言ヲスルノデアルガ、此ノ順番ニ依ツテ發言ヲ許サレタ後ニ於テ、再ビ三度或ハ四度ト發言ヲ許サレタ委員會ハ

私ハ會テ見タコトガナイ、此ノヤウナ工合ニシテ行ツタナラバ何時此ノ法案ガ終了スルカ、一ツノ問題ガ起ル度ニ會テ發言ヲシタ者ガ又出テ來ル、之ヲ許可スル、又問題ガ出タ時ニ又發言ヲ許可スルト云フコトデアッタナラバ、底止スル所ガ知レヤセヌデハナイカ、本問題ハ劃期的ナ問題デアルカラ、能ク條理ヲ盡シ國民ニ納得セシムルコトニ努メナケレバナラスト云フコトハ、私他ノ同僚諸君ト少シモ違ハナイノデアルケレドモ、ソコデ私ハ何モ翼贊會ニ關係ヲシテ居ラスケレドモ、所謂此ノヤウナ審議ノ狀況デアツタナラバ、翼贊議會デアルカ何ダカ分ラヌ(トンデモナイ話)ト呼ビ其ノ他發言スル者(リ)ソレデスカラ反對トカ反對デナイト云フコトデハナシニ、モウ少シ委員長ハサゾカシ御苦心ガアルデアラウト思フガ、發言ヲ許サナイト云フコトハ何ダカ委員長ガ言論ヲ封止スルヤウニ思ハレルノデ、御苦心ガアルコトト思フノデスケレドモ、吾々ハオ互ヒニ考ヘテ一刻モ早く終了セシメナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ私一人ダケノ問題デハナイト思フ、實ハ本日ハ多分質問ガ終了スルモノト密カニ期待シテ居ツタノデアリマス、全ク委員長トシテ御困リデアラウケレドモ、斯ウ云フ風ニ發言ヲ許可スル狀況ニナツテ行ツタナラバ、底止スル所ガ知レヤセヌト思フ、ソレデスカラ此ノ點ニ對シテ委員長ノ議事進行ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○高橋委員長 了承致シマシタ、松岡君ノ御心配、殊ニ委員長ニ御同情下サル點ハ感謝致シマス、併シナガラ委員長ガ冒頭ニ申上ゲタ通り、本案ハ重要ナ問題デアリマシテ、劃期的ナ大改革デアリマス、或ル委員

ハ之ヲ大革命ト唱ヘラレタ程重大ナ案件デアリマス、全國ノ蠶絲家、製絲家、蠶絲關係ノ方々ハソレノ利害關係ヲ持ツテ居ラレマシテ、其ノ理解ヲ得ル爲メ、疑問ヲ解カンガ爲メ、毎日雲集シテ居ルト申シテモ過言デナイ位ニ代表的ノ人々ガ集ツテ運動シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトデアリマスカラ、隨テ細密ニ互ツテ疑點ヲ確メテ置キタイト云フ委員諸君ノ御努力ハ又諒トシナケレバナラナイト思フノデアリマス、或ハ偶ニハ例外モゴザイマシテ殆ド重複シテ居ルヤウナモノモゴザイマス、併シナガラ委員長ノ聽イテ居ル範圍ニ於テハ何レモ御尤モノコトデ、蠶絲業ノ重要ナル案件ニ付テ質問ヲ發セラレルト云フコトヲ考マシテ、敢テ制限モセズニ發言ヲ許シテ居ル次第デアリマス、此ノ點モ御諒承ヲ願ツテ置キマス、併シナガラ私ハ何時此ノ委員會ガ終了スルノカ見透シガ付クマイト云フ御疑念ニ對シテハ御同意ガ出來ナイ、私ハソレノ成案ヲ持ツテ委員會ヲ進行シテ居ルト云フコトヲ一ツ松岡君ニ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松岡委員 私ハ委員長カラ一遍モ御注意ガ出タコトヲ聞カナイ、今日マデ一遍モ御注意ガナイノデスカラ、其ノ點ヲ私ハ今多分出ルダラウト思ツテ期待シテ居ツタ、斯様ナ狀況デアリマスカラドウゾ委員諸君ニ於カレテモト云フヤウナ點ヲ委員長ニ於テモ御注意ガアツテ宜カリサウナモノダト思ツテ委員長ノ助ケ船ニ私ハ申上ゲル、此ノ點ダケ申上ゲマス

○高橋委員長 了承致シマシタ

○羽田委員 只今松岡君ノ御發言ノ中ニ此ノ姿ガ翼贊議會ヲ汚スガ如キ言ガアリマシ

タ、是ハ不穩當デアルト思ヒマス、皆サンガ眞面目ニヤツテ居ルコトニ對シテ、如何ニモ何カ慌デヤルコトガ翼贊議會デアアル、斯ウ云フ風ナ御發言ノヤウデアリマスガ、質スベキハ質シ、聽クベキハ聽イテ、サウシテヤルコトガ翼贊議會ノ本質ダト思フノデアリマス、意地ノ惡イコトデナクシテ、眞正面ニ取組ンデヤルコトハ、此ノ法案ノ重要性ニ鑑ミテ當然ノコトダト思フ、其ノ意味ニ於テ私ハ松岡サンハ先輩デ恐縮デアリマスガ、翼贊議會ヲ汚ス云々ノ言ハ速記録カラ取消サレンコトヲ希望シマス

○最上委員 議事進行ニ付テ——只今松岡サンガ翼贊議會云々ト例ヲ引イテ色々申サレマシタガ、恐ラク私ガ會テ一回此處デ質問シテ、其ノ後ニ於テ再ビ茲ニ關聯質問ヲシタコトニ付テ、何等カ議事進行ニ付テ申サレタト私ハ思フノデス、私ハ今検査所ノ問題ヲ農林當局ニ御注意シタノデアリマス、ナゼナラバ、今全國ニ於テ少クトモ六箇所ナラ六箇所ノ検査所ガ殖エルト云フ場合ニ於テハ、各地ニ運動ガモウ起ツテ居ル、現ニ私ノ方面ニモ運動ガ起ツテ居ル、サウ云フヤウナ場合デアリマスカラ、若シ分ツテ居ツタナラバ、之ヲ發表シテ下サイト云フコトヲ聽イタノデアツテ、決シテ私ハ故意ニ此ノ議事ヲ延バス爲ニヤツタノデナイト云フコトダケハ、松岡委員ニ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス

○羽田委員 今ノ問題ニ付テハ、松岡サンニ於テ後デユツクリ御考ヘニナツテ、然ルベク善處サレタイト希望致シマス

モウ一ツ御伺ヒシタイノハ、此ノ統制會社ガ出來マシタノニ對シテ、此ノ統制會社ヲ監督スル爲メ、例ヘバ日本發達電會社ヲ作ツタ、之

ニ對シテ監督官廳トシテ電氣廳ト云フヤウナ外局ヲ作ツタノデアリマスガ、農林當局ハ此ノ監督ノ爲ニ一ツノ局ヲ設ケル、或ハ外局ヲ設ケタルト云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、ソレヲ次官ニ御伺ヒ致シマス

○井野政府委員 只今ノ蠶絲局ノ機能ヲ十分發揮シテ參リマスレバ、其ノ必要ハナイト考ヘマス

○羽田委員 只今ノ次官ノ言明ヲ得マシテ私ハ満足致シマス、兎角役所ハ何カ法案ガ出ルト直グニ又局ヲ作ツタリ、人員ヲ殖ヤシタリシテ、徒ラニ國費ヲ無駄ニ使ヒ、二重監督、三重監督ト云フヤウナ虞ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、ドウカ只今ノ次官ノ御話ノヤウニ、是ハ今ノ機能ヲ出來ルダケ發揮セシメテ、新シク局ヲ作ツタリ

或ハ課位ハドウカ知リマセスガ、局ヲ作ルヤウナコトハナサラヌヤウニ善處ヲ願ヒタイノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○高橋委員長 宮澤君

○宮澤(胤)委員 私ハ同僚諸君カラ多數ノ質問ガアツテ、大部分ハ明瞭トナリマシタノデ、幾分明カデナイ點ノ數箇所ニ付キマシテ、簡單ニ質問ヲシタイト思ヒマス、先ヅ生産費ノ點デアリマスガ、簡單ニ申上ゲマスガ、會社ノ買收スル繭價ノ生産費ノ中ニハ、農家ニ利潤ヲ認メルノデアリマスカ、今日マデハ農家ノ利潤ト云フモノハ、モウ生産費ノ中ニ殆ド認メラレテ居ラナイノデアリマス、認メルトスレバ、ドノ位ノ程度ニ認メルノデアリマスカ

(委員長退席、森(幸)委員長代理着席)  
○吉田政府委員 生産費ニ付キマシテハ、相當生産費ト云フコトニ致シタイト考ヘテ

居リマス、色々經費ヲ積算致シマシタモノ或ル程度ノ利潤——ト云ツテ宜シイカドウカ分リマセスガ、或ル程度ノ含ミヲ含シテ計算ニ依ツテ生産費ヲ決メルノガ妥當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ドノ程度ト云フコトハ私共研究シテ居リマスガ、何レハ委員會御決定ニナルコトと思ヒマス、唯氣持ハサウ云フヤウナ氣持ヲ持ツテ居リマス

○宮澤(胤)委員 方針トシテハ利潤ヲ認メル、斯ウ承知シテ置キマス

次ニ是ハ繭價協定委員會ト云フモノヲ作ツテ協定スルノデアリマセウガ、是ハ春繭或ハ夏秋繭等ヲ一年ヲ通ジテヤルノデアリマス、或ハ其ノ間ニ幾度カ繭價ヲ變ヘテ行クト云フコトヲオヤリニナルノデアリマス

○吉田政府委員 蠶絲委員會デ以テ斯様な點、生産計畫ノ點、或ハ價格ノ決定ノ點ハ決メテ參ルノデアリマシテ、隨テ今豫定シテ居リマスノハ一度ト云フ考ヘデゴザイマス、併シ色々事情ニ依リマシテ、更ニ變更スルトカ、修正スルトカ云フヤウナ必要ガ生ジテ來ル場合モアラウト思ヒマスカラ、ソレハサウ云フ必要ノ生ジテ來タ時ニハ、又別ニ開イテ行クト云フコトニナラウカト考ヘルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 ソレカラモウ一ツ生産費ノ點デ、製絲家ノ繭絲生産費ハ輸出生絲、國用生絲、座繰絲ヲ別々ニ定メルノデアリマセウカ、其ノ大體ノ標準ヲ何處ニ置クノデアリマスカ ソレカラ之ニ對スル只今ノ利潤ハドノ割合デ之ヲ認メルノデアリマスカ

レカラ國用生絲ノ生産費ト云フモノハ、是ハ別ニ考ヘテ行クノガ妥當デハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ材料等ニ付テハ、現ニ絲價安定委員會ノ資料トシテ大體作ツテ居リマスノト、ソレカラ製絲工場等カラノ各種ノ生産費ヲ、非常ニ廣イ範圍ニ於テ取ツテ居ルモノモアリマスノデ、是等ノ點ヲ十分資料トシテ一ツノ案ヲ作ツテ、是亦生産費ト同様ニ蠶絲委員會ニ諮リマシテ御決定ヲ願フト云フコトニナル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 其ノ利潤ハ今ノ所政府デハドノ位ノ割合デ認メテヤラウカ、其ノ割合ハ決マラナイ、唯蠶絲委員會ノ決定ニ任スト云フコトデアリマス

○吉田政府委員 其ノ通りデアリマス

○宮澤(胤)委員 ソレカラ輸出生絲ヲ自由取引シテ居リマス、此ノ點ニ付テハ私共意見ヲ異ニシテ居リマスガ、私ハ何モ述ベマセス、政府ノヤリ方ニ依ル輸出生絲ノ自由取引ヲスル場合ノ製絲家ノ損益、配分ノ狀態ヲ、詰リ例ヲ舉ゲテ言ヒマス、儲カツタ分ノ中會社ガ幾ラ取ツテ製絲家ニ幾ラ分ケテヤルト云ツタヤウナコト、又標準價格カラ下ニ出タラドノ位マデハ損サセルトカ、ドノ位マデハ損サセナイトカ、ドノ位ノ儲ケハ取ラセルト云フヤウナコトガ明瞭ニナツテ居リマセスカラ、假ノ例デ宜イデスカラ金額デ例ヲ舉ゲテ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス——御相談ニナツテ居ルヤウデスガ、一ツ次官カラデモ宜シイノデス、此處デ御話下スツタカラ絕對ニ責任ヲ持ツト云フヤウナ意味ダナク、コンナ風ニ考ヘルト云フコトヲ一ツ御話願ヘバ宜イト思ヒマス

○井野政府委員 具體的ニ例ヲ申上ゲマス

トソレガ政府當局ノ考ヘノヤウニ取ラレマスカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、是ハ唯ドウ云フ考ヘ方カト云フコトヲ申上ゲマスガ、輸出生絲ト國用生絲トハ今蠶絲局長カラ申上ゲマシタヤウニ加工費ハ違フモノト計算致シマス、併シ繭元ハ兩方トモ同ジニ賣リマシテ、サウシテ國用生絲ノ方ハ其ノ加工費ヲ加ヘタモノト利潤ヲ加ヘタモノヲ以テ會社ガ買上ゲル、輸出生絲ノ方ハ問屋ヲ通ジテ輸出商ニ賣ル譯デアリマスカラ、其ノ賣リマス相場ニ依ツテ一定ノ限度ヲ或ル程度マデ決メテ置キマシテ、其ノ限度ニ即應シタ部分ヲ會社ガ金額トシテ引取ル、詰リ繭元デハ同ジ値デ賣リマスガ、輸出生絲ノ方ハ高クモ賣レル譯デアリマシテ、高ク賣レタ或ル部分ハ會社ガ取ル、或ル部分ハ輸出生絲ノ製絲家ガ取ル、斯ウ云フ風ニ御考ヘ願ヒタイ、其ノ部分ニ付テ絲價委員會ニ掛ケマシテ能ク御相談ヲ申上ゲル、斯ウ云フヤウニ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○宮澤(胤)委員 今ノ例ヲ今度ハ私ノ方カラ申上ゲマス、假ニ茲ニ千三百五十圓ト云フ標準價格ガアツテ、ソレ以下デナケレバ「アメリカ」ガ買ハナイト云フ場合ニハ、ソレ以下デモ或ル程度賣ラナケレバナラヌガラウト思フ、サウスルト其ノ千三百五十圓以下ニ賣ツタ場合ニハ、製絲家ガソレダケノ損失ヲ背負フ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ今ノ繭元ニ生産費ヲ加ヘテ、サウシテ利潤ヲ加ヘタモノ以上ニ百圓デモ二百圓デモ高ク賣レタモノノ中、幾割カハ絲價委員會デ決メテ會社ガ取ルモノト、ソレカラ製絲家ニ與ヘルモノト斯ウ云フ風ニ承知シテ宜イダラウト思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ

其ノ標準價格タル千三百五十圓ハ如何ニシテ決メルカ、其ノ決メ方ニ依ツテ輸出生絲ヲ取扱フ製絲家ハ損ヲスルコトガ多イ場合ト、得ヲスルコトガ多イ場合ト出來ル譯デアリマス、其ノ價格ヲ決メルコトト、ソレカラソレガ非常ニ安クナツタラドノ程度デ賣止メヲシテ賣ラセナイカト云フヤウナコトハ會社ガヤルノカ農林省ガヤルノカ、其ノ統制ノ方法ハドウ云フヤウニスルノカト云フ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○井野政府委員 此ノ會社ガ引取ル最低價格ヲ會社自體デ決メル譯デアリマス、ソレハ無論政府ガ認可スルノデアリマスガ、其ノ價格以下ニ下レバ其ノ價格デ以テ會社ハ輸出生絲ヲ引取ル、例ヘバ今御話ノヤウニ千三百五十圓ナラ千三百五十圓デ賣レバ、會社ハトシノニ行クト云フ場合ヲ御例示デアリマシタガ、其ノ時ニハ繭元ハ千三百五十圓ニ引合フ、繭元デ輸出生絲ヲ挽ク製絲會社ガ買ツタコトニナル、サウシテ千三百五十圓デ賣レバトシノニ行ク譯デアリマス、其ノ場合最低價格ト云フモノガ或ハ千二百圓ニ決マルカ、千五百圓ニ決マルカ、千二百圓ニ決マツタドスレバ、千二百圓デ會社ハ引取ルト云フコトニナル、デスカラ其ノ場合ニハ百五十圓ノ危險ハ詰リ製絲會社ガ持ツコトニナル譯デアリマスカラ、其ノ値開キハ出來ルダケ狭ク致シタイ、併シ今度高値ニナツタ時、例ヘバ千三百五十圓ヨリ千五百圓ニナツタヤウナ時ニハ、千三百五十圓ト千五百圓ノ間ノ百五十圓ニ付テ或ル程度會社モ取り、ソレカラ今度ノ統制會社モ取ル、斯ウ云フ風ニナル譯デアリマス

○宮澤(胤)委員 サウスルト絲價委員會ガ

ソレ等ノ値段ヲ皆決メルノデアリマスカラ、大體サウデアリマス

○宮澤(胤)委員 ソレカラ番ニ「アメリカ」ノミナラズ、是カラ國外ノ影響ニ依ル絲價及ビ國內ノ其ノ他ノ纖維トノ關係ニ於テ生絲ノ需給カラ來ル數量トカ、或ハ生産費ト云フモノニ、幾ラ計畫生産デアツテモ、此ノ影響ハ來ルト思ヒマス、例ヘバ「アメリカ」ノ生絲ノ値段ガ非常ニ安クナツタトカ、他ノ方面ニモ賣レナイ、國內ニ於テモ他ノ纖維トノ比較デ生絲ハドウモ高クテイカヌ、モツト下ゲナケレバナラヌト云フヤウナコトニナツテ來ルト、製絲家若シクハ農家ノ利潤ダケハ取上ゲテ見テモ、マダソレ以下ニ食込ムト云フ場合ガ一時的ニハナイトモ限ラヌト思ヒマス、ソレハ計畫生産デスカラ、五年モ七年モ先ニナレバ桑園ノ整理モヤラセルシ、ソレニ從ツテ適切ナル方法ヲ講ジマスケレドモ、過渡的ニハ其ノ負擔ガ相當ニ來ル、此ノ負擔ハ會社ヲシテ負擔サセルカ、會社ダケデナク國家自ラ其ノ背後ニ居ツテ、或ハ國家ノ損失ニ依ツテ會社ダケノ負擔ニサセナイデヤルノデアリマスカ、此ノ點ハドウ御考ヘデアリマスカ

○吉田政府委員 生絲ガ賣レナクナツテ値ガ下ツテ來タト云ツタヤウナ場合ニハ此ノ會社ガ買取リマス、而シテソレガ捌ケナイト云フヤウナ場合ト思ヒマスガ、サウスレバ是ハ會社ノ荷溜リニナルカラ、斯様な場合ニハ絲價安定施設ノ特別會計デ一定量以上ニ荷ガ溜ツタヤウナ場合ニハ之ヲ受ケル役割ヲ致シテ居ルト云フコトニナルノデアリマシテ、斯様なコトガ何年モノ繰返サレルト云フコトデアリマスレバ、今御話ニナツタヤウニ是ハ全體的ニ賣レナイモノヲ

造ツテ居ル産業ト云フコトニナリマスカ

ラ、減反トカ云フコトヲ將來考ヘナケレバナラヌカト思フノデアリマスガ、一時的ノ問題ト致シマシテハサウ云フコトニナリマシテ、國家ノ特別會計デ物ノ形デ肩替リスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 サウ云フ場合ニ於テハ、會社ニ對シテ甚ダシイ損失ハ來ナイト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○井野政府委員 其ノ通りデアリマス

○宮澤(胤)委員 次ニ座繰製絲ノ原料ノ配給ヲ受ケルコトヲ如何ナル方法デヤルカ承リタイノデアリマス

○吉田政府委員 座繰製絲ノ如キハ比較的規模ノ小サイモノデアル場合ガ多イノデアリマシテ、昨日モ申シマシタガ、斯様な人達ニハ成ベク原料ノ購入「ブロック」ヲ作ツテ、之ニ全體トシテ割當テテ、内部ニ公正ニ分ケテ賣ヒタイト云フ行キ方デ行キタイト思フノデアリマス、座繰製絲ハ上繭ヲ餘リ使ハナイデ、中下繭ヲ使ツテ居ルノガ相當多イト思フノデアリマス、中下繭ノ取扱ハ、此ノ會社デ一手ニシナイト云フ考ヘヲ、今持ツテ居ルコトヲ先日來申上ゲマシタガ、隨ヒマシテ是ハ配給會社カラ行クコトニナルト思ヒマス、ソレデハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、大キナ製絲家ノ金ノアル方デ買取ラレルト云フヤウナ虞モアリハシナイカト思ヒマスノデ、何處其處ノ方面ヘ持ツテ行ケト云フヤウナ指圖ヲスルヤウナ方法モ考ヘナケレバナラヌノデハナイカ、ソレガ巧ク行カナケレバ、集荷ダケハ繭絲業者ヲシテ集荷サセテ、會社ガ一手ニ買取ツテ、公平ニ分ケテヤルト云フヤウナ方法ヲ執ラザルヲ得ナイコトト思ヒマスノデ、サ

ウ云フ弊害ガナイ限リハ、繭絲業者ヲシテ從來ノ通りヤル方ガ宜イト考ヘテ居リマス

○宮澤(胤)委員 私ノ「チヨイ」ノ聞イタ所デハ、政府ノ御方針ガマダ決ツテ居ラヌヤウデアリマス、今ノ御話デ一應分ツタヤウニ思フノデスガ、實際ハサウデハナイト思フカラ、念ヲ押シテ置クノデスガ、中ニ等繭ハ會社デ扱ハナイト云ツテモ、之ヲ自由取引ニサセルト云フ意味デハ、恐ラクナカラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ自由取引ニサセタラ、今日はダケノ非常チ統制ヲ行ハウト云フ時ニ、中下繭ダケヲ自由取引ニサセルコトニナレバ、非常チ混亂ガ起ルト思ヒマス、同時ニ繭絲業者其ノ他ヲシテ、集荷配給ヲサセルコトハ必要ダト思ヒマスガ、ソレハ計畫ノ下ニ自由取引ヲサセルカサセナイカ、此ノ點ヲハツキリ御伺ヒ致シマス

○吉田政府委員 現在ノ繭ノ賣買業者ヲシテ集荷ヲサセテ配給サセルコトニナルト、會社ガ關與シナイデ宜シイコトニナル、集荷ヲサセテ會社ガ一手ニ買取ツテ、會社ニ於テ公平ニ分ケテヤルト云フコトニナレバ、配給ノ以後ハ會社ガヤル、斯ウ云フコトガ出來ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ、サウ云フコトヲヤラナイデ置イテ、會社デ買取ル關係ニモ入ラナイデ置イテ、一定ノ指圖ヲシテ、何處ソコニ配給シロト云フヤウナ形デヤラセルト云フ途モアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ途モ考ヘラレルノデアリマス、今日上繭其ノ他大多數ノ問題ニ付キマシテハ、此ノ會社デ取扱フコトデモアルカラ、弊害ガナイ限リニ於テハ、中下繭ノヤウナモノハ、品質ノ決定其ノ他ニ非常ニ面倒モアルカラ、差支ヘナイ限リニ於テハ、中下繭ハ集荷配給ヲ業者ニヤラセテモ

差支ヘナカラウ、但シソレニハ今申シマシ  
タヤウニ、中下藩ハ座繰製絲ノ方ニ多ク行  
ク虞レガアリマスノデ、今宮澤サンノ御心  
配ニナツタノモ、ソレダラウト思ヒマスガ、  
配給ガ公平ニ行カヌヤウナ心配ガアリハシ  
ナイカト云フ點デアリマス、其ノ點ハ指圖  
ヲスレバ宜シイト云フコトデアレバ、其ノ程  
度、大概宜イデハナイカト考ヘテ居ルノ  
デアリマス

○宮澤(胤)委員 是ハ私ノ意見カモ知レマ  
セヌガ、大體今局長ノ御話ノ中ノ、中下藩  
ノ座繰製絲ノ原料ハ、集荷配給トモ藩絲商  
ヲシテヤラセタラ宜イト云フコトハ、私モ同感  
デアリマス、併シソレデアルカラト云ツテ、  
自由ニ何處ヘデモ持ツテ行ツテ賣ラセルト  
ナルト、ドウシテモイケンイト思ヒマスガ  
ラ、組合或ハ政府ニ於テ配給ノ計畫ヲ立テ  
テ、其ノ計畫ニ從ツテ集荷配給ヲヤラセル  
ト云フコトニナラナケレバイケンイト思ヒ  
マスガ、此ノ點ハドウ御考ヘニナリマスガ

○吉田政府委員 私ノ申上ゲテ居ルノモ其  
ノ考ヘナノデアリマス、要スルニ之ヲ自由  
勝手ニヤラセルト、行ク所ヘ行カナイデ、  
必要ナ所以外ノ所ヘ行ク虞レガアリマスガ  
ラ、配給統制デアリマスカラ、指圖スルト  
申上ゲタノハ、サウ云フ意味デ申上ゲテ居  
ルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 ソコデ其ノモウ一ツ本ニ  
ナル座繰ノ釜數、座繰商ハ今ノ所許可制ニナ  
ツテ居ラナイ、自由デアルト思ヒマスガ、  
是ハ許可制ニシテ、今後其ノ増減ハ制限ス  
ルノデアリマスカドウカ

○吉田政府委員 座繰製絲ニ付テハ、此ノ  
法律ニ於テ「蠶絲業ヲ營マントスル者」ト云フ  
條文デ、許可制度ヲ設ケテアルコトハ御承

知ト思ヒマスガ、アレニ依ツテ座繰ノ製絲  
ニ付テ、許可制度ヲ立テタイト云フ考ヘヲ  
持ツテ居ルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 サウナレバ結構ダト思ヒ  
マス、ソコデ斯ウ云フ問題ガ起ルノデアリマ  
ス、例ヲ舉ゲテ言フト、埼玉縣デ出ル中二  
等藩ハ、埼玉縣ニ於ケル藩絲商ニ組合ヲ作  
ラシテ、集荷配給ヲサセル、斯ウ云フコト  
ニナルト、埼玉縣ノ中下藩ノ集荷配給ヲ、  
長野縣ノ藩絲商組合ニサセルト云フコトニ  
ハイクマイト思フ、ソレハ一縣若クハ數縣  
デ「ブロック」デモ作ラシテヤルノデアリマ  
スカドウカ

○吉田政府委員 斯様ナ物ノ流レニ付テハ、  
從來ノ實際ノ狀況等ヲ能ク考慮シマシテ、  
其ノ實情ニ餘リ間違ヒノナイヤウナ基礎ノ  
下ニ、方法ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居リ  
マス

○宮澤(胤)委員 ソレハ趣旨ハ非常ニ御尤  
モデアリマスガ、實際問題トシテハ、此ノ  
趣意ヨリハモツト進ンデ居ルノデアリマス、  
詰リ御趣旨ヨリモ形ノ上ニ現ハレツツアル  
ノデアリマスカラ、其ノ形ヲドウスルカト  
云フコトガ、業者ニ取ツテ非常ニ大キナ問  
題ニナルノデアリマス、今問題ニナツテ居  
ル所ハ、局長ノ御話ニ依レバ、埼玉縣ノ中  
下藩ヲ長野縣ノ商人ガ今マデ取ツテ來テ居  
ツタナラバ、長野縣ノデモ何處ノ商人デモ、  
自由ニ取引ヲサセルト云フ御考ヘデアルト  
承知シテ宜シウゴザイマスガ

○吉田政府委員 長野縣ノ藩絲業者ガ埼玉  
縣ノ養蠶家ノ藩ヲ買ツテハイクナイト云フ  
コトハ、私言フ必要ハナイノデ、從來ソコ  
デ買ツテ居ツタラ、ソレヲ取扱ツテ宜シイ  
デハナイカト思ヒマス

○宮澤(胤)委員 サウスルト、是ハ非常ナ  
競争ガ起ツテ、統制ニ反スルノデハナイカ  
ト私ハ思ヒマス、實際問題トシテ、例ヘバ  
埼玉縣ニ藩絲商ガナイ場合トカ、或ハ其處  
ニ扱フダケノモノガアルトスレバ、其處ノ  
藩絲商ニ今マデ扱ツテ居ツタモノヲ扱ハス、  
若シ扱ツテ居ル分量ガ少クテ、長野縣カラ  
行ツテ居レバ、長野縣ノ者モ埼玉縣ノ藩絲  
商ノ中ニ入レテ扱ハセル、埼玉縣ノモノヲ  
座繰ナラバ座繰ニ使ツテ、殘ツタモノガ今  
マデ長野縣ニ來テ居レバ、何等カノ藩絲商  
ノ團體ヲ通ジテ、其ノ分ダケハ長野縣ヘ持  
ツテ來テ消費サセルト云フヤウナ計畫ヲ立  
テテ、今度ノ仕事ハ其ノ計畫下ニ於テ藩絲  
商ニ取引ヲ行ハセル、集荷、配給ヲ行ハセ  
ルヤウニシナケレバ、全體ノ統制ノ上ニ影  
響ヲ及ボスト思ヒマスガ、是ハ今ノ局長ノ  
御話デスト、藩絲商ニハ非常ニ有難イヤウ  
ナ、何處デデモ自由ニ買ヘルヤウニ同ヘル  
ガ、實際問題トシテハ色々支障ガ起ツテ  
來ルト思ヒマス、其ノ點ハ如何デアリマス  
カ

○吉田政府委員 現在デモ各藩絲商ハ何モ  
縣内ノモノダケ取扱ツテ居ルト云フコトハ  
ナイノデ、藩絲商ノ多イ所ニ於テハ、其ノ  
人達ハ隣縣其ノ他ヘ行ツテ藩ノ商ヒヲシテ  
居ルト思フノデ、商賣ノ舞臺ハ何モ縣ニ限  
ラレテ居ルコトハナイト思ヒマス、隨テ相  
當藩絲商ノ多イ縣ノ者ガ他ノ縣ニ出テ行キ  
マシテ中下藩ノ買集メテ來テ、サウシテ商  
賣ヲシテ居ルモノト思フノデアリマス、隨  
テ假令此ノ會社ガ買フニ致シマシテモ、長  
野縣ノ藩絲業者ノ集メルノハ長野縣以外ノ

モノダケ集メテ持ツテ來イト云フヤウニシ  
テハ、却テヲカシイト思フ、從來ヤツテ  
居リマス商賣ノ舞臺ハ其ノ儘デ宜シイ、ソ  
レヲ變ニ切ツテ見ルト寧ロ誰モ買ヒニ來ナ  
イ縣ガ出來タリスルンデヤナイカト思ヒマ  
ス

○宮澤(胤)委員 能ク分リマシタ、分リマ  
シタガ、私ハナゼ斯ウ申上ゲルカト云フト、  
今局長ノ御話ニナルコトハ藩ノ取扱業者ニ  
取ツテハ非常ニ宜イヤウニ考ヘルノデスガ、  
結局ハ座繰業者ノ原料確保ト云フ立場カ  
ラ言フト是ハ業者ヲ制約スルノデアリマス、  
隨テ今カラ此ノ計畫ヲ立テテ藩絲業者ニモ  
安定ヲ與ヘ、座繰業者ニモ其ノ原料ノ配給  
ヲ受ケルコトニ安定ヲ與ヘテ行クト云フコ  
トニシナイト非常ナ混亂ガ起ルノデアリマ  
スカラ、其ノ點ヲ明カニシテ置クコトハ、  
斯ウ云フ劃期的ノ法案ヲ實施スル上ニ於テ  
非常ニ必要ダト思フノデアリマス、只今局長  
ノ御話ノ通り藩絲商ノナイ縣ニ入ツテ行ケ  
イト云フヤウナコトハ是ハ困ルノデアリマ  
スカラ、ソコハヤハリ何處ノ藩絲商ナラバ  
這入レルトカ、ドウ云フ風ニスルトカ是ハ  
ハツキリシテヤル、又今日ノ時局ニ於テ中  
間業者モ其ノ位ノ覺悟ハシテ居ルノデアリ  
マス、サウ無茶ナコトハ言ツテ居ナイノデ  
アリマスカラ、ソレダケノコトハハツキリ  
サセテ置クト云フ御方針ヲ執ルコトガ必要  
ダト思フノデス、政府ノ案ハマダ定ツテ居  
ナイヤウデアリマスガ、サウ云フ風ニ萬遺  
漏ナクヤツテ戴キタイト思フノデアリマス  
ソレカラモウ一ツ座繰業者ヲシテ原料ノ  
配給ヲ受ケル爲ニ共同施設組合ヲ結成サセ  
ルト云フコトデアリマスガ、ソレハ結構ダ  
ト思ヒマス、唯共同施設組合ニ加入スルニ

〔森(幸)委員長代理退席、高橋委員長着  
席〕

○吉田政府委員 現在デモ各藩絲商ハ何モ  
縣内ノモノダケ取扱ツテ居ルト云フコトハ  
ナイノデ、藩絲商ノ多イ所ニ於テハ、其ノ  
人達ハ隣縣其ノ他ヘ行ツテ藩ノ商ヒヲシテ  
居ルト思フノデ、商賣ノ舞臺ハ何モ縣ニ限  
ラレテ居ルコトハナイト思ヒマス、隨テ相  
當藩絲商ノ多イ縣ノ者ガ他ノ縣ニ出テ行キ  
マシテ中下藩ノ買集メテ來テ、サウシテ商  
賣ヲシテ居ルモノト思フノデアリマス、隨  
テ假令此ノ會社ガ買フニ致シマシテモ、長  
野縣ノ藩絲業者ノ集メルノハ長野縣以外ノ

モノダケ集メテ持ツテ來イト云フヤウニシ  
テハ、却テヲカシイト思フ、從來ヤツテ  
居リマス商賣ノ舞臺ハ其ノ儘デ宜シイ、ソ  
レヲ變ニ切ツテ見ルト寧ロ誰モ買ヒニ來ナ  
イ縣ガ出來タリスルンデヤナイカト思ヒマ  
ス

○宮澤(胤)委員 能ク分リマシタ、分リマ  
シタガ、私ハナゼ斯ウ申上ゲルカト云フト、  
今局長ノ御話ニナルコトハ藩ノ取扱業者ニ  
取ツテハ非常ニ宜イヤウニ考ヘルノデスガ、  
結局ハ座繰業者ノ原料確保ト云フ立場カ  
ラ言フト是ハ業者ヲ制約スルノデアリマス、  
隨テ今カラ此ノ計畫ヲ立テテ藩絲業者ニモ  
安定ヲ與ヘ、座繰業者ニモ其ノ原料ノ配給  
ヲ受ケルコトニ安定ヲ與ヘテ行クト云フコ  
トニシナイト非常ナ混亂ガ起ルノデアリマ  
スカラ、其ノ點ヲ明カニシテ置クコトハ、  
斯ウ云フ劃期的ノ法案ヲ實施スル上ニ於テ  
非常ニ必要ダト思フノデアリマス、只今局長  
ノ御話ノ通り藩絲商ノナイ縣ニ入ツテ行ケ  
イト云フヤウナコトハ是ハ困ルノデアリマ  
スカラ、ソコハヤハリ何處ノ藩絲商ナラバ  
這入レルトカ、ドウ云フ風ニスルトカ是ハ  
ハツキリシテヤル、又今日ノ時局ニ於テ中  
間業者モ其ノ位ノ覺悟ハシテ居ルノデアリ  
マス、サウ無茶ナコトハ言ツテ居ナイノデ  
アリマスカラ、ソレダケノコトハハツキリ  
サセテ置クト云フ御方針ヲ執ルコトガ必要  
ダト思フノデス、政府ノ案ハマダ定ツテ居  
ナイヤウデアリマスガ、サウ云フ風ニ萬遺  
漏ナクヤツテ戴キタイト思フノデアリマス  
ソレカラモウ一ツ座繰業者ヲシテ原料ノ  
配給ヲ受ケル爲ニ共同施設組合ヲ結成サセ  
ルト云フコトデアリマスガ、ソレハ結構ダ  
ト思ヒマス、唯共同施設組合ニ加入スルニ

ハ十釜ヲ單位トスル業者ト云フヤウナコトガ傳ヘラレテ居リマスガ、ソシテ標準ガアルノデアリマスガ、ナイノデアリマスガ

○吉田政府委員 共同施設組合ノ問題ニ付テ十釜ヲ單位トスルト云ツタヤウナコトハ

何モ私達ノ承知シテ居ル所デアリマセス、先程申シマシタ座繰業者ニシテ、一定ノ監督ヲ要スルヤウナモノ、——極ク小サイモノハ別デアリマスガ、十釜程度以上ノモノニ付テ許可制度ニシタラドウカト云ツタヤウナコトハ、是ハ私モ實ハ知ラナイノデスガ、係ノ方デ研究シテ居ル所ガアルサウデアリマスガ、何カサウ云フコトガ誤リ傳ヘラレテ居ルノカト思ヒマス

○宮澤(胤)委員 座繰業者ハ座繰業者トシテ地方のニ一ツノ組合ヲ作ラセテ、其ノ組合ニ原料ノ配給ヲ受ケ、又其ノ組合デ出來タ絲ヲ會社ニ買ツテ貰フト云フコトハ必要ダト思フノデス、ソレハソレデ宜イト思ヒマスガ、十釜ヲ單位トスルト云フコトニナルト、假令一釜デモ現在許可ヲ得テヤツテ居ル者ハ將來、許可制ニナリマス配給ヲ受ケラレナイ譯デス、十釜ノコトハ誤リ傳ヘラレテ居ルモノデアルト私モ思ヒマスガ此ノ點ハツキリ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス、ソレカラ今日百姓ガ家デ取ルモノ、是ハ自家用デスカラ入ツテ居リマセス、サウデナイ今全國數万ニ上ル此ノ座繰業ヲ副業トシテ、是デ以テ收入ヲ得テヤツテ居ル者ノ爲ニハ原料配給ノ爲ニ共同施設組合ヲ作ラセ、其ノ組合ヘ今繭絲商ガ買ツテ來タ繭ヲ計畫のニ配給シテヤル、斯フ云フコトデナイトイケナイト思フ、此ノ點ハ私時間ヲ節約スル爲ニ詳シク申上ゲマセスガ、今私ガ申上ゲタヤウナ考ヘ方デオヤリニナル、

ト斯ウ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○吉田政府委員 配給ノ場合ニ十釜以下ノモノニ配給シナイト云フ考ハ毛頭持ツテ居リマセス、此ノ點ハハツキリ申上ゲテ置キマス

○宮澤(胤)委員 ソレカラ今度繭絲商ニ取扱ハセル中下繭モヤハリ掛目ヲ決定シテ、其ノ掛目ニ依ツテ取引サセルモノト思ヒマスガ、是モ中央ニ於ケル蠶絲委員會ニ於テ決定スル、斯ウ考ヘテ宜イノデアリマスカ

○吉田政府委員 中下繭ニ付キマシテ品質ノ問題ニ付キマシテハ非常ナ困難ノ問題モアリマスカラ中央ノ蠶絲委員會デ何掛ト云ツタヤウナコトヲ決定メテモ非常ニ難カシイ問題デハナカラウカト思フノデアリマス、非常ニ是ガ片方ノ上繭ヨリモ相場ガ出ルト云フ妙ナ形ニナルナラバ是ハ抑ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、何掛ト上繭ノ價格ヲ定メルヤウナ風ニ明確ニ中央決定メルト云フコトハ物ヲ見タ上デナケレバ中難カシイ問題デハナカラウカ、是ハ専門的ニ何等カ標準デモ定メテ置イテ、ソレ以上ノ價格ノ取引ヲ制限スル、斯ウ云フヤウナ方法デ行クヨリ外仕方ガナイモノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 併シ是ハ現在中下繭ト云ヒマシテモ御承知ノ通り玉繭ト二等繭、若シクハ選除繭ノ一部ガ入ルト云フノデ、大體ノ掛目ハ今定マツテ取引サレテ居ルノデスカラ、之ヲ掛目ヲ定メテヤラナケレバ今ノ買溜、買アセリ、色々ナ事柄ガ起ツテ座繰業者及ビ繭絲商ノ間ニモ非常ニ混亂ガ起ルト思フ、ソレカラモウ一ツ伺ヒマスガ、此ノ座繰ノ取ツタ絲ハ無論此ノ會社ガ買フノデアリマセウカラ、其ノ會社ノ買フ値段

ハ定マルノデスカラ、其ノ値段カラ推シテ行ツテ大體ノ生産費竝ニ掛目ト云フモノハ定マリ得ルト思フカラ定メテヤラナケレバイカヌト思ヒマスガ、全ク値段ヲ自由ニサセヨウト云フ御考ヘデアリマスカ

○吉田政府委員 今ノ御説ノ通り何モ自由ニスルト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマセスガ、中繭ハドウカ知リマセスガ、下繭ト云フヤウナ非常ナ複雑ナモノニ付テ品質ノ正確ナル決定ガ出來ルカドウカ、手デ觸ツテ見マシテ分ルヤウナモノハ出來ルモノナラ掛目ヲ定メルガ宜シイト思ヒマス、是ハ餘程専門家方面ノ意見ヲ徵シマシテ、是等ノ賣買ニ付キマシテ公正ナ方策ヲ立テテ行キタイト考ヘテ居リマス

○宮澤(胤)委員 此ノ點ニ付テハ政府ニ定マツタ御考ヘガナイヤウデアリマスカラ私ノ意見ヲ簡單ニ申上ゲマスガ、ヤハリ是ハ會社ガ買上ゲル生絲ノ値段ハ必ズ之ヲ定メルコト、ソレカラ座繰業者及ビ繭絲商或ハ生産者ノ團體ヲ集メテヤハリ中下繭ノ價格ノ掛目ノ決定ヲシテヤラナケレバイカヌト思ヒマス、此ノ機關ハ別ニ政府デ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス、サウシテソレヲ基ニシテ會社ノ買入値段モ定メネバナラヌト思ヒマス、ソレハ自ラ大體ノ標準ハ定マツテ居リマスカラ、是ハ政府ニ於テ御考ヘ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ機械製絲ノ選除繭ハドウ云フ風ニ扱ハセルノデアリマスガ、是ハ繭絲商ヘデモ渡シテ中下繭ト同ジニ扱ハセルノデスカ、或ハ其ノ機械製絲自身ガ自由ニ處理シテ宜イノデアリマスガ、ドウ云フ風ニ扱ハセルノデアリマスガ

○吉田政府委員 機械製絲ニ一旦上繭トシテ渡シタモノカラ選除致シマシタ繭ニ付キ

マシテハ、ソレハ機械製絲ノモノトシテ宜シイト思フノデアリマス、併シ斯様ナ繭ハ、或ハ製絲家ニ於テ相當澤山アツテ不必要ダト云ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ或ハ會社ニ於テ取ツテ會社ノ手デ配給ヲシテヤルト云フノモ宜カラウト思ヒマスガ、現在ノヤウナ中下繭ノ取扱ヲ今申シマシタヤウナ方法デヤリマスナラバ、其ノ形式ニ依ツテ流ス、斯ウ云フコトモ宜カラウト考ヘルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 是ハ非常ニ難カシイ問題ト思フノデス、國用製絲カラハ選除繭ハ大シテ出ナイノデスガ、輸出製絲カラハ相當出ルト思ヒマス、ソレデ出タモノハ座繰業者ノ手其ノ他一部ハ國用ノ方ニ廻ルノデアリマスカラ、是ハヤハリ政府ニ於テ此ノ會社ヲシテ適當ニ扱ハセテ配給業者ノ手ニ渡シテ、サウシテソレヲ計畫的ニ座繰其ノ他ニ配給スル方ガ宜イト思ヒマス、是ハ私ノ意見トシテ申添ヘテ置キマス

ソレカラモウ一ツハ、是ハ昨日カラ問題ニナツテ居リマシタ小製絲ノ原料ノ配給ヲ受ケル五百釜、大體ノ標準ハ其ノ五百釜デ組合ヲ作ラセ、「ブロック」ヲ作ラセテ、サウシテソレガ會社カラ繭ノ配給ヲ受ケル、此ノ組合ニドノ程度ノ權能ヲ持タセルカ、資金モ此ノ組合ハ唯配給ノ割當キリデ、買入代金ナドハ製絲家ガ直接會社ニ納メルノデアリマスガ、或ハ配給各「ブロック」「ブロック」ノ理事者デモ御作りニナツテ、其ノ組合ヲ通ジテ會社ニ納メルト云フ方法ヲ執ルノデアリマスガ、ドウ云フ方法ニ依リマスガ

○吉田政府委員 「ブロック」ヲ作リマスノハ、唯物ヲ配ルノニ相手方ノ數ヲ少クスルト云フバカリデナシニ、賣買契約、所謂會

社トノ絲ヲ賣リ繭ヲ買フ、斯ウ云フ行爲ガアル譯デアリマスノデ、其ノ相手方ヲ契約ノ相手方トシタイ、要スルニ契約ノ相手方ヲ數少クシタイ、斯ウ云フ建前デアリマスカラ、金ノ支拂、賣買契約ノ當事者トシテハ組合ガナツテ参リタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、其ノ中ノ何十人カガ一緒ニナツテ五百釜程度ノ「ブロック」ヲ作ツタトスレバ、其ノ組合デ共同購入致シマシタ繭ハソレハテンデニ分ケルト思ヒマスガ、會社トノ契約關係ニ於キマシテハ、其ノ組合ガ當事者ニナツテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○宮澤(胤)委員 サウシマス、其ノ組合ハ無論法人格ヲ有スルモノデアラネバナラスト思ヒマスガ、法人格ヲ有シ若シハソレハ出資ノ組合ニスルノデスカラ、會社ニシテモ宜イノデスガ、ソレハドウ云フ御取扱ニナサルノデアリマスカ

○吉田政府委員 是ハ現在蠶絲共同組合ト云フ法制ノ組合ガアリマスノデ、其ノ法制ノ組合ヲ作ツテ貰ハウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○宮澤(胤)委員 ソレカラ之ニ對シテハ前ニ質問ガアツテ、會社カラニ割カ三割ノ頭金ヲ取ツテ繭ヲ貸セテヤル、サウシテ絲ヲ取ル、斯ウ云フコトデアリマスガ、現在中小製絲ノ極クヒドイノニナリマス、繭絲商カラ只デ原料ヲ貰ツテ絲ヲヤルト言ツタヤウナ賃扱ノヤウナ形モアリマス、一割位ノ頭金デ大概ヤツテ居ルモノガ多イノデアリマスカ、二割、三割トナルト金融上非常ニ困ツテ來ル、尤モ今度ハ相當安定シテ來マスカラ、銀行アタリカラノ融資モ相當出來ルカトハ思ヒマスケレドモ、併シ非常ニ困ツ

テ來ル、斯ウ云フコトニナリマスノデ、是ハ一割ト云フ位ナ頭金デ會社カラヤラセルト云フヤウナ譯ニハ行カナイノデアリマスカ、ソレ等ハ會社ガ出來テカラノ實情ニモ應ズルノデアリマセウカ、大體ノ御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○吉田政府委員 ソレハ無論今後モウ少シ實情ニ即シテ方法ヲ研究シテ見タイト思ヒマス、今モ御話ノ通り、作ツタモノハ必ズ賣レルコトニナリ、而モ賣レル値段マデモ決マツテ居ルト云フ製品ヲ作ルコトニナリマスカラ、從來金融業者カラ到底融通ヲ受ケルコトノ出來ナカツタヤウナ種類ノ人達デモ、今後ハサウデハナクナルヤウニ私モ思フノデアリマシテ、餘程事情モ變ツテ來ルコトト考ヘラレマス、其ノ實情ニ應ジマシテ方法ヲ立テテ行キタイ、無理ヲ強ヒテ見タ所デ出來ヌコトハ出來ヌノデアリマスカラ、決シテ無理ナコトハシナイデ、實情ニ合フヤウニ計畫ヲ立テテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 私ノ質問ハ大體是デ凡ソ終リデアリマスガ、唯一ツ、私ハ今度ノ統制ト云フモノハ蠶絲業ニ取ツテ劃期的ノコトデアツテ、恐ラク此ノ委員會ニ於テ質疑應答シタコトノ骨組ニハ政府ノ言明通り行ツテ戴カナケレバナラスト思フノデスガ、實際ノ運用ハ中々此處デ口デ言ツタ通りニハ行カナイ、先ヘ行ツテ相當變ヘテ行カナケレバナラストモアルノダラウト思フノデアリマスガ、根本ノ建前トシテ此ノ輸出生絲ノ自由取引ノ點ハ、是ハ屢々各議員カラ申上ゲテ居リマスカラ私ハモウ此處デ申上ゲマセヌガ、政府ト吾々トハ大分考ヘ方ガ違ヒマス、是ハ諸君措イテ、此ノ會社ヲ圓滑ニ運用ス

ルニハ非常ニ強力ナ權限ヲ持ツタ所ノ活動ノ範圍ヲ此ノ會社ニ與ヘナケレバイケナイト思ヒマス、例ヘバ發送電ノヤウニ電氣廳ト云フモノガアツテ、發送電ヲスツカリ規則デ縛リ上ゲテシマツテ、サア是デ動ケト言ツテモ動カレナイ、隨テ是ハ關係官廳デアル農林、商工兩省ガ色々ナ規則ヲ作ツテ此ノ會社ヲ縛リ上ゲテ、サウシテ此ノ會社ニ働ケト言ツテモ中々是ハ働ケナイ、寧ロ此ノ會社ヲ元ニシテ、サウシテ社會ノ廣イ眼カラ監督スル、監督官廳ガ直チニ監督スルト云フヤウナ強イ考ヘデナクシテ、會社ニ非常ナ自由手腕ヲ振ハセルト云フコトニ於テ一元化ノ效用ト云フモノガ出來テ行ク、其ノ意味カラ言ツテ、輸出生絲ノ自由取引ナント云フモノハ私ハ絕對ニイケナイト思フノデスガ、ソレハ此處デ議論ヲシテ居ツテハ長クナリマスカラ止メマスガ、其ノ他ノ部面ニ於テモ會社ニ絕對權ヲ持タセテ、例ヘバ養蠶家ニ對スル種ノ配給、ソレカラ會社ガ養蠶家カラ繭ヲ買取ル其ノ手續、代金ノ支拂、之ヲ製絲家ニ配給ヲシテヤル其ノ代金ノ取立、出來タ生絲ヲ會社ガ受取ツテ之ヲ配給スル、賣渡ス、斯ウ云ツタヤウナコトヲ今考ヘテ居ル機構デスラ、ト行クト思ツタ私ハ大變ナ間違ヒダト思フ、中々サウハイイカナイ、ソコデ會社ガ臨機應變ニ、モウ間ニ合ハナイ所ハ今マデノ資金モ幾ラデモ取入レテヤル、今年ハ此ノ部面ハ仕方ガナイ、長野縣ナラ長野縣ハ從來ノ機構デヤラシテ置イテ、來年一ツ變ヘルトカ云ツタヤウナ自由裁量ヲ廣ク會社ニ與ヘテ置カナイト、是ハ運用ヲ誤ルト思フノデアリマス、ソレデ此ノ點ハサウ云フ風ニ組立テ行カナケレバイケナイシ、又今

問題ニナツテ居ル中間業者、種ノ賣買業者ニシロ、繭絲商ニシロ或ハ其ノ他ノ中間業者ト云フモノモ、此ノ會社ガ自分ノ賣子ヤ買子ヲ使フヤウニ自由ニ一ツ使ツテ見テ、サウシテ二年、三年經ツテ此ノ統制ガ段々慣レテ行ツテ、不必要ニナレバ其ノ間ニ轉職モサセ、又色々ニ組入レラレルモノハ組入レテヤルト云ツタヤウナ心持デ此ノ會社ニ絕對權ヲ持タシテ行クト云フ風ニシナイト、私ハ旨ク行カナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ承リタイト思ヒマス

○吉田政府委員 此ノ運營ガ敏活、圓滑ニ參リマスルコトハ最モ大事ナコトデアリマスルノデ、何モ役所デ以テ此ノ會社ノ活動ヲ、或ハ最モ「スムーズ」ニ物ノ運ブヤウナ宜イ考ヘテ持ツテ居ルノニ、形式ニコダハツテサウ云フコトハ罷リナラスト云ツタヤウナ筋ノ通ラナイ監督ヲスル意思ハ毛頭持ツテ居ラスノデアリマス、寧ロ此ノ會社ト政府トガ一緒ニナリマシテ、最モ融通ノ利イタ常識ニ適ツタ運營方ヲヤツテ行クベキデアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○宮澤(胤)委員 私ノ質問ハ是デ終リマスガ、私ハ此ノ委員會ヲ通ジテ政府ニ此ノ案ノ基礎トナルベキ色々ナ運用其ノ他ニ付テマダ考ヘガ定マツテ居ラナイ所ガ多々アル、是ダケノ大キナ仕事ヲスルノデスカラ、是ハ無理ハナイト思ヒマス、唯實際問題トシテハ、今後は等ノ施設ヲ會社ノ成立ト共ニ行ツテ行カレルノデアリマセウガ、ソレニ當ツテハ屢々政府ガ言明サレマシタ通り、一ツ營業者ノ實際家ノ意見ヲ能ク聽カレテ、サウシテ之ヲ出來ルダケ織込デ、此ノ運用ノ完璧ヲ期シテ戴キタイト云フコト

ヲ申添ヘテ、私ノ質問ヲ終リマス

○高橋委員長 吉田賢一君

○吉田委員 色々ト重要ナ點ニ付テ質疑應答ガ交サレマシタガ、私ハ簡單ニ蠶絲對策ノ根本方針ノ二、三ニ付テ質疑ヲシタイト思ヒマス、此ノ法案ノ登場シマシタ所以ハ、是ハ申スマデモナク時局ノ緊迫ト、殊ニ對米關係ガ豫測ヲ許サナイヤウナ情勢ニナリマシタコトト、ソレカラ巨大ナル生産産業デアリ、又對米輸出ノ大宗ト言ハレルヤウナ、或ハ又隨分多數ノ農家ノ關係モアリ、或ハ製絲業其ノ他ノ從業者等ノ斯様ナ關係ガ、此ノ逼迫シタ時局ニ對應シテ、如何ナル新シイ方針ヲ以テ行カネバナラスカ、斯ウ云フ問題ニ當面シタノデ、ソコデ政府ハ本案ヲ御出シニナツタモノト信ジマス、ソコデ問題ハ輸出ヲ生命ト致シテ居リマシタ生絲ガ、或ハ全部的ニ輸出ヲ拋棄シナケレバナラスヤウナ事態ガ近ク招來スルカモ知レナイ、一面國內的ニ他ノ色々ナ纖維ガ用ヒラレテ居ルケレドモ、更ニ其ノ消化ヲ擴大強化致シマシテ、全部對米輸出ガナクナル場合ニ於テモ、殆ド其ノ生産ノ全部ヲ國內ニ於テ消化スルト云フ位ノ考ヘヲ持タネバナラス程、國內消化ノ問題ガ重要ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ソレニ付テ二、三御説明ヲ拜聽シタノデアリマスルガ、國內消化ノ對策ニ付テハ、次ノ數個ノ非常ニ困難ナ條件ガゴザイマス、ソレハ第一ハ一般物價ノ水準ニ對應シナケレバナナルマイト存ジマス、殊ニ此ノ低物價政策ハ、此ノ内閣ノミナラズ、戰時下ニ於キマシテ、是ハ當然ノ基本經濟政策デアリマシテ、今後モ是ガ堅持サレテ行クノハ當然ト存ジマス、ソコデ一方段々ト使用價值、即

チ耐久力ガ向上致シテ居リマス「スフ」等ニ比較スルト、ザツト只今三倍位ノ生絲ノ價值カト存ジマス、ソコデ此ノ情勢ニ直面致シマシテ、生絲ヲ現在及ビ將來對米輸出ガ全然ナクナルト云フヤウナコトモ豫想シテ、國內消化ノ強化擴大ヲ圖ルト云フノニハ、餘程ノ思切ツタ對策ヲ講ジナケレバナラスノデヤナイカト思フノデアリマス、就テハ國內消費對策ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○吉田政府委員 今後輸出ニモ頼ラナケレバナナイガ、一朝非常時ガ來タ際ニ餘程國內ニ重點ヲ置イテ考ヘナケレバナラス、政府モソレヲ考ヘテ居ルト認メルノデアアルガ、非常ニ困難ナコトガアル、ソレハ物價政策カラコソハ嵌込ムノニ非常ニ困難ガアリハシナイカト云フ、斯ウ云フ御趣旨ノ御質問ト伺ツタノデアリマス、現在ノ國內ノ從來ノ用途ニ於ケル織物ノ價格ニ付キマシテハ、今日原絲タル生絲ガ相當價値ガ下ツテ居ルノデアリマシテ、現在ノ絹織物ノ公定價格カラ比較致シマス、相當内輪ニナツテ居ルノデゴザイマス、無論購買力如何ニ依ツテ賣レル賣レヌハ決マルノデアリマスガ、低物價政策ノ現ハレトシテ公定價格ト云フモノガアリマスガ、其ノ公定價格ニ比較致シマス、現在ノ相場デハ相當マダ杜トリノアル價頃ニナツテ居ルノデアリマス、是非非常ニ高クシナケレバ、生産費ヲ償フコトガ出來ナイト云フ程ニ安イモノデモナイノデアリマシテ、現在ノ織物ノ公定價格カラ割出シマス、今日ノ絲相場デハマダ相當下ツテ宜イ状態ニアルノデアリマス、併シ斯様ナ縮緬デアルトカ御召デアルトカ云フヤウナモノハ、サウ多

ク今後使ハレルト云フヤウナコトヲ期待スルコトハ如何カト思フノデアリマスガ、少クトモ從來使ハレタ程度デ、今後餘程ノ變調ノナイ限りニ於テハ、先ヅ常態ニ復シテ實ハ消費サレテ行クモノト、斯様ニ見テ居ルノデアリマス、サウシテソレダケデハ無論内地消費デ全部ヲ消費スルコトハ出來マセヌカラ、爾餘ノモノハ短纖維トシテ所謂「スフ」トカ羊毛ニ一緒ニ使ハセル、斯ウ云フヤウナ用途ニ向ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今價值ニ付テ「セリシン」定着ヲシタ生絲ハ「スフ」ノ價值ノ二、三倍ト云フ御話ガアツタノデアリマスガ「スフ」ノ公定價格ニ比較致シマス、私ハ正確ニハ存ジマセヌガ、相當高イト思ヒマスガ、ソレヲ原料ニ致シテ見マス、原料代ノ二、三倍ト云フノハ、製品ニ作リマシタ場合ノ値開キカラ見マス、殆ド申スニ足ラス關係ニナツテ居ルノデアリマシテ、製品價格ノ公定値ト申シマス、中間ノ業者ノ間ノ收入ト云フモノニ僅カナ我慢ヲシテ貰ヒサヘスレバ「スフ」ノ代リニ繭ノ纖維ハ十分入り込ミ得ル、斯様ニ私共ハ見テ居ルノデアリマス

今日「スフ」、綿、羊毛其ノ他斯様ナ衣料原料トシテ、民需ニ向ケラレル數量ハ非常ニ窮屈ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ソコデ爾餘ノ方面カラ申シマスレバ、相當ニハ消費ハサレルノデアリマスガ、唯之ヲ一般ノ消費者ニ提供スル爲ニ、製造家ガ製造シテ、兎ニ角ヤツテ行ケルト云フヤウナ價格關係ト云フコトガ極メテ大事デアラウト思フノデアリマス、ソコデ成程「スフ」ノ價值ト「セリシン」定着ノ價值トヲ比較致シマスト、原絲トシテノ狀態トシテハ、片方ハ十錢シテ居ル、片方ハ三十錢シテ居ルト言ヘバ、三倍ニナツテ居ルト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ實價格差ハ二十錢シカナイノデアリマシテ、之ヲ何割カ混ゼマシテ、何レ最後ニ消費者ガ、ソレデ製造シタ洋服ナラ洋服ト云フモノヲ買ヒマス價值ハ「スフ」ニ致シマシテモ何十圓ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ原絲ノ差ハ二十錢ト云フ僅カナ差デアリマシテ、是ガ段々大キク計算サレテ參リマス、最後ノ消費者ニ取ツテハ非常ニ大キナルノデアリマスガ、此處ノ關係ヲ考ヘテ見マス、原絲ノ大元ノ所ノ價值ハ、二倍トカ三倍トカ言ヒマス、非常ニ高イモノニナルヤウニ思フノデアリマスガ、絕對價格ハ左程大キナモノデハナイ、之ヲ最後ノ洋服ナラ洋服一着分ノ生地トシテハ、何十圓ニ對スル何十錢ノ差デアルト云フコトデアリマスレバ、左程大キナ響キニナルノデハナイヤウニ思ヒマス、デスカラ此ノ點ハ、原絲ヲ安イモノヨリモ高イモノヲ使ツタダケ、製作ノ段階ニ於テ、或ハ中間取扱業者ノ段階ニ於テ少シ我慢シテ貰フトカ、ソレガ出來ナケレバ消費者二、三十錢ト云フモノヲ高ク

○吉田委員 サウスルト政府ハ万一日米戰爭ガ起ルト云フヤウナ時ニモ、「スフ」ヲ驅逐シ、「スフ」ノ使用部面ニ介入シテ行ツテ、相當消化ノ部面ヲ擴ガ得ラレルヤウナ御趣旨ノヤウデアリマスルガ、ソレナラバ萬一輸出ガ止マルト云フヤウナ時ニモ、生産ヲ相當大幅ニ切下グル、或ハ相當幅ノ價格ノ引下ナサネバナラス、サウデナケレバ國內消費ガ困難デアルト云フ風ニハ御考ヘニナラスノデアリマスガ

○吉田政府委員 無論生産費ヲ下グルト云フコトニ努力スベキハ當然デゴザイマスガ、

スルコトヲ我慢シテ貫ヒサヘスレバ、出來ルコトデアリノデアリマシテ、私共ハ此ノ點ニ付テ處スベキ方法ハアルモノト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○吉田委員 サウシマス只今ノ御答辯ニ依リマシテ、輸出不能ノ時ガ到來致シマシテモ、國內消費ニ振向ケラレルノダカラ、マア謂ハバソコハ大丈夫ダ、斯ウ云フ風ニ伺ツテ宜イノデアリマス、實ハ斯ウ云フコトヲ伺フ所以ハ、其ノ時ニ若シ莫大ナ手持品ヲ持ツテ損失ヲ生ジタリ、或ハ價格差ニ依ツテ不測ノ損失ヲ生ズルヤウナコトガアツテ、金融ニ、或ハ其ノ救済ニ相當國費ヲ用意シナケレバナラヌヤウナ事態ガ到來スルヤウナコトヲ惧レルカラデゴザイマス

○吉田政府委員 私共ハ一朝事ガアリマシタ際ニハ、一時的ニハ、今御話ノヤウニ會社ニ於テ或ル程度ノ荷溜リヲ拵ヘテ行クコトガアルト思フノデアリマス、之ヲ一定計畫ノ下ニ徐々ニ處分スル、要スルニ結局ニ於テ之ヲ處分スルコトニ付テハ、間違ヒナク出來ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ドカント來タ際ノ其ノ刹那ニハ、直グ右カラ左ニ處分スルコト云フコトハ不可能デアルト思フノデアリマス、計畫のニ之ヲ處分スルコト云フコトハ「アメリカ」ニ向イテ居リマス、絲ガ出ナクナツテ、ソレニ代ルベキモノガ短纖維ト云フ風ニ形ヲ變ヘテ内地ニ入り込ムト云フコトハ、結局是ハ出來ルモノト云フ風ニ見テ居ルノデアリマス

○吉田委員 是ハ國內消化能力ニ關聯シマスノデ、一應御尋ネシテ置キタイノデスガ、昨年以來政府ガ買上ゲマシタ生絲ノ量

ハ相當アルノデゴザイマス

○吉田政府委員 正確ナ數字ハ此處ニ持合セガゴザイマセヌガ、今ノ現狀デハ大體十一万俵——政府デ買ヒマシタノガ五万一寸餘デアリマス、帝國デ買ヒマシタノガ六万餘デアリマス、十二万足ラズ、斯ウ云フ數字ニナツテ居ルカト存ジテ居リマス

○吉田委員 ソレハ處理スル對策ヲ何カ御立デニナツテ居ルノデセウカ、或ハ之ヲ國內ニ流ス方法ニ付テハ方策ハナイモノデセウカ

○吉田政府委員 政府ガ買入レマシタノハ、今度立デマスル制度、或ハ以前カラモアツタノデアリマス、價格ノ調整ヲ圖ル制度トシテ、政府ハ相當數量ノ生絲ヲ保有シテ居ル必要ガゴザイマシタ譯ナノデアリマス、ソレデ先年持チマシテ、絲價安定ノ施設ヲ立デマシタガ、一昨年デシタカ、値ガ上ツタノデ、高値抑ヘノ爲ニ處分致シマシタ所ガ、全部ナクナツテシマツタ、其ノ高値抑ヘノ手段ヲ缺クニ至リマシタ爲ニ、此ノ制度ハ甚ダ不完全ナモノニナツテシマヒ、其ノ結果トシテ一昨年ノ暮カラ非常ニ値ガ上ツタ際ニ、之ヲ適當ニ抑壓スルノ手段ガ缺ケテ居ツタト云フヤウナ事柄ガアルノデアリマシテ、斯様ナ狀態ニ鑑ミマシテ、昨年來此ノ手持ヲ相當作ル必要ガアル、要スルニ値ヲ餘リニ高ク上ゲルト云フコトハ後ニ崇リガ來ル虞ガアルカラ、程々ノ所デ之ヲ抑壓スル必要ガアル、斯ウ云フ制度ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ高値ヲ抑壓致シマスル爲ニ、手持絲ヲ政府ガ相當持ツテ居ル必要ガアリマスノデ、其ノ保有絲ヲ買入レル爲ニ買ツテ居ルノデアリマス、此ノ數量ハ何万俵デ宜シイカト云フヤウナコ

トハ別問題ト致シマシテ、現在アル數量デ或ハ宜シイカモ存ジマセヌ、何レニ致シマシテモ相當手持ヲスル必要ガアリマスノデ、今持ツテ居リマスルモノハ、サウ云フ意味デ今後政府デ相當期間保有スルコト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデ、直チニ之ヲ處分スルト云フヤウナ考ヘデハナイノデゴザイマス

○吉田委員 國際關係ガ緊迫シマシタノハ昨年夏以來ト云フノデハナクシテ、漸次ニ參ツテ居ルノデアリマス、隨テ過日委員會デノ御説明ニ、輸出關係ニ於テ需要量ガ非常ニ潤澤デアルト云フ風ニ仰シヤツテ居リマシタガ、輸出ガ相當激減シテ居ルト云フコトハ容易ク想像サレルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ場合ニモ尙且ツ相當量ノ保有ガ政府ニ必要ダト云フノハ、ドウモ吾々素人ニハハツキリシナイノデアリマス、其ノ點如何デアリマス

○吉田政府委員 高値抑ヘヲ完全ニ致シマスルニハ餘計アレバアル程宜イノデアリマスガ、併シ餘リアリ過ギテハ、要スルニ無駄ダト云フヤウナコトニモナルノデアリマスガ、併シ多ケレバ多イ程高値ヲ抑ヘルノニ都合ガ宜イコトニナル、唯併シ事實ヨリ多ク持ツテ居ルト云フコトハ、ソレダケ經費ガ餘計掛ルコトニナルカラ、其ノ爲ニ不必要ニ多ク數量ヲ持ツテ居ルト云フコトハ宜クナイと思ヒマス、併シ現在持ツテ居リマスガ、ソレデハ非常ニ超過ニナツテ來ルノデハナイイカドウカト云フコトニ付テハ、マダハツキリトハ何モ言ヒ得ナイト思フノデアリマス、今後尙ホ絲價維持ノ爲ニマダ買ハナケレバナラヌヤウノ場合モアルカトモ存ジマスノデ、斯様

ナ結果トシテ相當手持ガアリマスレバ、今後適當ニ内地デ賣レヌヤウナ場合ニハ、著シク國家ノ損失ニナラヌヤウナ風ニ處理ヲ致シテ行キタイト云フ考ヘハ持ツテ居リマス、持ツテハ居リマスガ、ソレハ決シテ計畫のニ何等計畫デ處分スルト云フヤウナ、ソレヲ計畫的ニ判斷シテ行クト云フ考ヘデハナイノデアリマス

○吉田委員 需給關係ニ於キマシテ供給過剩ノヤウナ一般諸條件ノ多イ時ニ、只今ノ御説明ハドウモ私ニ合點ガ行カナイノデアリマスガ、一應左様ニ伺ツテ置クコトニ致シマス、ソコデ此ノ立法ノ狙ヒ所ト致シマシテ、將來ノ國內消化ノ問題ガ非常ニ樂觀的ニ私ニハ聞エルノデアリマスガ、一面國內消化ニハ相當重點ヲ置クベキデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ際經濟ノ諸種ノ必要カラ、當然外貨獲得ノ問題ガ重要ナ立案ノ基礎ニナツテ居ルト云フコトハ勿論デアラウト存ジマス、ソコデ勢イ過日來問題ニナツテ居リマス所ノ輸出生絲ノ扱ヒノ問題ニナツテ來ルノデアリマス、是ハソレレノ見解、御立場、主張等ニ依ツテ質疑應答ガサレマシテ相當明カニナツテ居リマス、多ク此ノ點ニ觸レル必要ハナイノデアリマス、唯併シナガラドウモ斯ウ伺ツテ居リマス、政府ニ於キマシテ最後ノ強力ナ決意、或ハ此ノ政策ニ對スル強キ信念、サウ云フモノガナシニ立案サレテ居ルノデハナイイデアラウカト云フヤウナコトモ感ゼラレマス、デアリマス、私ハ最後ニ其ノ一點ニ付テ御確信ノ程ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、私ノ所見ニ依リマスルト、此ノ問題ハ詰リ對外的ニハ外貨獲得ノ目的カラ貿易ノ振興ヲ圖ラナケレスナラ

ヌ、其ノ時ニハ高キ値段ト品質ノ優良デア  
ルコトガ望マシイコトデアリ、一方國內の  
ニ同一地域ニ於テ同ジ品種ノモノガ、物價  
統制ノヤカマシイ現在ニツツ價格ガアル、斯  
ウ云フコトガ國民ノ經濟生活ヲ混亂スル  
云フコトニナルノデハナイデアアラウカト云  
フ問題、併シ何レニシテモ國內ニ於キマシ  
テハ中庸ノ價格ト安定ガ求メラレテ居リマ  
ス、此ノ對外面ト對國內面ノ二ツニ付テ、  
今國策ガ一種ノ「デレンマ」ニ陥ツテ居ル、  
之ヲドウ調和シ、又兩全ヲ期スルカト云フ  
コトガ、結局時局ニ於ケル蠶絲國策ノ途デハ  
ナイカト思ハレル、結局其ノ點ニ付テ色々  
意見ガ岐レテ來ルノデハナイカト思フノデ  
アリマス、所ガ又一方實際ノ實情ニ付テ將  
來ヲ推測致シテ參リマスルト、統制會社ノ  
將來ノ實績ト云フモノモ、日發其ノ他近來  
簇出致シマシタ國策會社ノ成績等ニ鑑ミマ  
シテ、相當吾々ガ考慮致シテ居ラナケレバ  
ナラスノデハナイカト云フ點ガ一ツ、ソレ  
カラ一面國內のニ中庸ナル價格ガ維持セラ  
レ蠶絲關係ノ諸業ノ安定ヲ得ルト云フコト  
ニナリマシタラ、對外的ニハヤハリ「アメ  
リカ」ノ自由市場のナモノヲコナシニ持合ハ  
セテ居ルコトガ現實ニ貿易取引ニ於テ適切  
ナル途デハナイカト云フコトモ、是ハドウ  
云フ立場ニ立ツテ居ルト云フノデハナクシ  
テ、ドウモサウ云フ風ナコトモ考ヘラレマ  
ス、併シ之ニ付テハ所見ガ二ツアルヤウデ  
アリマスガ、詳シク知ラナイ私ニハ何レヲ  
希望スベキカト云フコトニ付テモハツキリ  
シナイノデアリマスガ、ドウモ或ハ自由市  
場ヲ持ツカ、絕對獨裁のナ一種ノ貿易局長  
ト申シマスガ、サウ云フヤウナモノデモ作  
ルト云フコトヲスルカ、或ハ輸出生絲ノ共

販調整會社トデモ言フベキモノデモ作ルベ  
キカ、サモナケレバ一種ノ自由市場のナモ  
ノヲコナシニ持ツコトガドウモ必要デハ  
ナイカト考ヘラレマス、ソレカラ品質低下  
ガ云々ニ付テハ、是ハ先年「マツチ」ガ統制  
サレマシテカラ、ドウモ頭ニ藥ノナイヤウ  
ナ「マツチ」ガ澤山出タリシテ、大分面喰ツ  
タリシタ實情ガアリマシテ、政府ハサウ云  
フ點カラ仰シヤルノカトモ思ヒマスガ、  
或ハ又今日ノ形式的ナ計畫經濟ガ色々叫バ  
レナガラ、ヤハリ實質ニ於キマシテハ營利  
主義のナ、自由主義のナ經濟生活ヲ皆ヤツ  
テ居ルト云フヤウナ矛盾ガ實際ニアルノデ  
アリマシテ、サウ云フヤウナ色々點カラ  
此ノ立案ヲサレタノデアリマスガ、然ラバ  
相當其ノ情勢ノ判斷ニ付テ御信念ガハツキ  
リシナケレバナラスノデハナイカト云フコ  
トガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ今後ノ對策  
ニ付テ研究シテ、確信ヲ得ルヤウニナツタ  
ラバ、全體ヲ一元的ニ統制スルコト云フヤウナ  
御答辯モアツタヤウニ思フノデアリマスガ、  
ソレナラバ若シサウ云フヤウナ場合ニハ、  
新シク立法シナクテモ、本法ノ範圍内ニ於  
テサウ云フコトガ實際ニ行ヒ得ルノデア  
ルカ、一元的ニ統制サレ得ルノデアルカド  
ウカ、其ノ二點ニ付テ一ツ御明答ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス

張シテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、理由  
ハ度々申上ゲマシタコトデ、御承知ニナツ  
テ居ルト思フノデアリマス、斯様ナ理由ニ  
於キマシテ、今日斯様ナ方法ヲヤルコトガ  
宜シイ、斯ウ云フ風ニ固ク信ジテ居ルモノ  
デゴザイマス、今後此ノ一本値デ會社ガ一  
手デ買ツテ、一手デ賣ルト云フノニハ、ソ  
レゾレ周圍ノ環境ガ變ツテ來ナイト旨ク行  
カヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデア  
マス、旨ク行カ行カヌカ、信念ガナイト  
云フノデハナク、環境ヲサウ云フ風ニ變ヘ  
テ掛ラナイト、現在ノ環境デ一手ニ買入レ  
一手ニ賣ルト云フコトヲヤツテハ、却テ逆  
效果ガアル、ソレデ今後サウ云フヤウナ點  
ニ付テ、改善スベキ點ハ改善スベキデア  
ル、サウ云フコトト相俟ツテ、理想トシテ  
ハ會社ガ買ツテ會社デ賣ツテ、其ノ値ガ維  
持出來ルト云フコトガ、極メテ理想的ナ狀  
態デアルカラ、ソレナラソレデ異存ハナイ  
ノデアリマスガ、今ノ狀態デ能クヤルニハ、  
其ノ環境ガ許サヌ、寧ロ環境ガ逆ナ結果ニ  
行ク狀態ニナツテ居ルト云フコトヲ申シテ  
居ルノデアリマス、今後ソレ等ノ點ヲ改善  
スルコトニ努力致シマシテ、出來ルナラバ  
買入一手販賣ヲヤツテ、尙且ツ何等ノ支障  
ナシニ思フヤウナ値ニ賣レテ、絲價モ安  
定シ、外貨モ獲得出來ルト云フコトニナリ  
マスコトガ、極メテ望マシイコトデアリマ  
スカラ、サウ云フ方向ニ向ツテ吾々モ努力  
シテ行ク積リデアルト云フコトヲ、申シテ  
居ル次第デアリマス、サウ云フ環境ニ變  
ル場合ニ、法律ノ改正ヲ要スルカト云フ問  
題デアリマスガ、御承知ノ通り四條ノ一項  
但書デ、命令デ以テ除外シテアリマスガ  
ラ、ソレヲ直セバソレデ宜イカト思ヒマ

ス

○吉田委員 最後ニ一點デケ御聽キ致シマ  
スガ、臺灣、朝鮮ニ付テハドウナリマスガ  
○吉田政府委員 外地ニ對シマシテハ適用  
ガナイノデアリマス

○吉田委員 是デ質問ヲ打切りマス

○高橋委員長 一寸皆様ニ御諮リシマスガ、  
先程羽田君カラ松岡君ノ議事進行ニ關スル  
發言ノ中ニ、一部分穩カデナイト認メラレ  
ル點ガアルカラ、此ノ取消ヲ委員長ヨリ要  
求シロト云フコトノ申出ガアツタノデ  
スガ、此ノ點ニ關シテハ松岡君如何デス  
カ

○松岡委員 先程ノ私ノ發言ハ速記ヲ見レ  
バ明カト存ジマスガ、關聯質問ノ續出ヲ、  
何故發言ヲ許可スルカト云フコトガ私ノ主  
體デアツテ、左様ニ發言シタモノデアリマ  
ス、羽田君ノ質問ガ從來ノ質問ト全ク重複  
セザル、新シイ質問デアツタト云フコトハ  
私ハ實ニ敬服シテ聽イタノデアリマス、然  
ルニ拘ラズ何ヲ穿達ヘタカ、御當人カラ私  
ニ取消ヲ要求スルナドト云フコトヲ聞イ  
テ、實ニ私自身ガビツクリシタ位デアリマ  
ス、左様ナ次第デアリマスカラ、何等取消  
ノ必要モナク、羽田君ニ於テコソ御取消  
アツテ然ルベキダト思ヒマス

○羽田委員 只今松岡サンノ御話ノヤウナ  
譯デ、全クノ誤解デアリ、同時ニ先輩ニ對  
シテ私ガ誤解ラシテ、トシダコトヲ申シマ  
シタカラ、其ノ點ハ御詫ビ申上ゲテ置キマ  
ス

○高橋委員長 ソレデハ圓滿ニ解決ヲ見ル  
ニ至リマシタ、明日ハ午後一時ヨリ開會致  
ス豫定ニナツテ居リマス、明日ハ發言ノ通  
告ノ殘リヲ全部結了シ又農林大臣ノ出席ヲ

求メマシテ、農林大臣ニ對スル質疑ノ殘ツ  
テ居ル方々全部ニ發言ヲ致シテ戴イテ、明  
日ハソレデ質問ヲ打切りタイト云フ意向デ  
委員長ハ議事ヲ進メタイト思ツテ居リマス、  
其ノ質問ヲ致シタ上デ或ハ委員諸君ノ懇談  
ヲ願フ機會ヲ作ルカモ知レマセヌガ、豫メ  
御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ今  
日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時散會

昭和十六年二月十九日印刷

昭和十六年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局